

# 「四国地域の活断層の長期評価（第一版）」で評価対象となった活断層で

## 発生する地震の予測震度分布（簡便法計算結果）

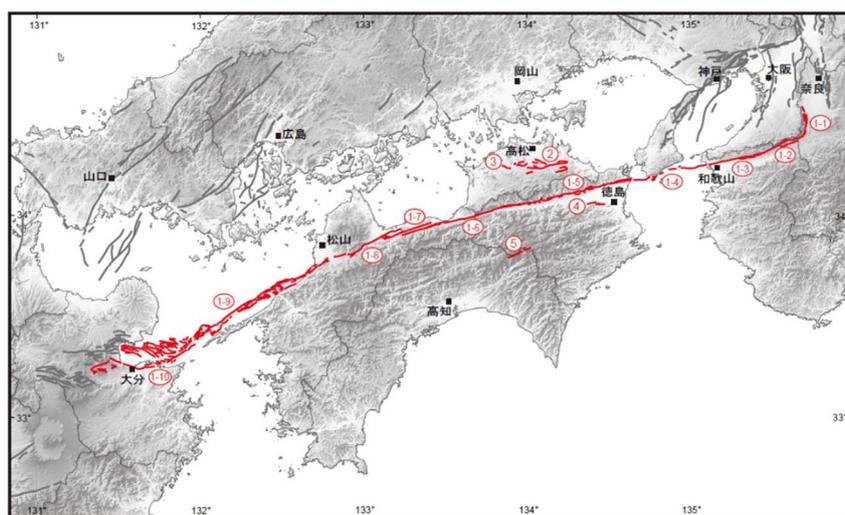
平成 29 年 12 月

地震調査研究推進本部事務局

地震調査委員会は、平成 29 年 12 月に「四国地域の活断層の長期評価（第一版）」（以下、四国地域評価）を公表しました。四国地域評価では、これまで長期評価を行ってきた基盤的調査観測の対象活断層（以下、主要活断層帯）を詳細な評価の対象とし、また長さが概ね 15 km 未満と評価された断層についても簡便な評価を行いました。

今回、評価が行われたそれぞれの活断層で発生する地震に対するイメージを持って頂くことを目的に、想定されている地震が発生した場合に、どの程度の揺れに見舞われる可能性があるかについて、計算を行いました。3 ページ目以降に、簡便法により予測震度分布を計算した結果を掲載しています。長期評価結果と併せて、防災対策の一助として頂ければ幸いです。

### < 予測震度分布図を掲載した活断層 >



| 断層帯名（区間名）                   | 発生確率 <sup>注1)</sup> | 断層帯名（区間名）                   | 発生確率 <sup>注1)</sup> |
|-----------------------------|---------------------|-----------------------------|---------------------|
| 1-1：中央構造線断層帯（①金剛山地東縁区間）*    | <b>Zランク</b>         | 1-8：中央構造線断層帯（⑧石鎚山脈北縁西部区間）*  | <b>S*ランク</b>        |
| 1-2：中央構造線断層帯（②五条谷区間）*       | <b>Xランク</b>         | 1-9：中央構造線断層帯（⑨伊予灘区間）*       | <b>Zランク</b>         |
| 1-3：中央構造線断層帯（③根来区間）*        | <b>Aランク</b>         | 1-10：中央構造線断層帯（⑩豊予海峡-由布院区間）* | <b>Zランク</b>         |
| 1-4：中央構造線断層帯（④紀淡海峡-鳴門海峡区間）* | <b>A*ランク</b>        | 2：長尾断層帯*                    | <b>Zランク</b>         |
| 1-5：中央構造線断層帯（⑤讃岐山脈南縁東部区間）*  | <b>Aランク</b>         | 3：上法軍寺断層**                  | <b>Xランク</b>         |
| 1-6：中央構造線断層帯（⑥讃岐山脈南縁西部区間）*  | <b>Aランク</b>         | 4：上浦-西月ノ宮断層**               | <b>Xランク</b>         |
| 1-7：中央構造線断層帯（⑦石鎚山脈北縁区間）*    | <b>Zランク</b>         | 5：網附森断層**                   | <b>Xランク</b>         |

(\*：主要活断層帯、\*\*：簡便評価した活断層)

注) 活断層における今後 30 年以内の地震発生確率が 3%以上を「Sランク」、0.1~3%を「Aランク」、0.1%未満を「Zランク」、不明（すぐに地震が起きることが否定できない）を「Xランク」と表記しています。地震後経過率が 0.7 以上である活断層については、ランクに「\*」を付記しています。地震後経過率は、最新活動（地震発生）時期から評価時点までの経過時間を、平均活動間隔で割った値です。最新の地震発生時期から評価時点までの経過時間が、平均活動間隔に達すると 1.0 となります。

<中央構造線断層帯の予測震度分布の計算について>

中央構造線断層帯の長期評価では、本断層帯は奈良県から四国地域を経て大分県へと延びる断層であり、地図で示したように全体を区間①（金剛山地東縁区間）から区間⑩（豊予海峡-由布院区間）の10区間に分割されます。また、区間②から区間⑩までの深部における断層の傾斜角は、中角度あるいは高角度が考えられると評価されています（長期評価では中角度の可能性が高いと評価されています。）。

これらの評価を受けて、予測震度分布は区間①から区間⑩がそれぞれ単独で破壊する場合と、区間①～区間②、区間①～区間③など隣り合う区間同士が同時に活動する場合の計算を行っています。さらに、それぞれのケースに対して断層の傾斜角が中角度の場合と高角度の場合の計算を行っています。一般的には中角度になるほど大きな揺れとなる地域が広がります。

なお、中央構造線断層帯は奈良県から四国地域を経て大分県へ延びる断層帯であり、このうち区間①、区間②、区間③、区間④、および区間⑩については四国地域外に位置しますが、全計算結果について掲載しています。

【中央構造線断層帯】

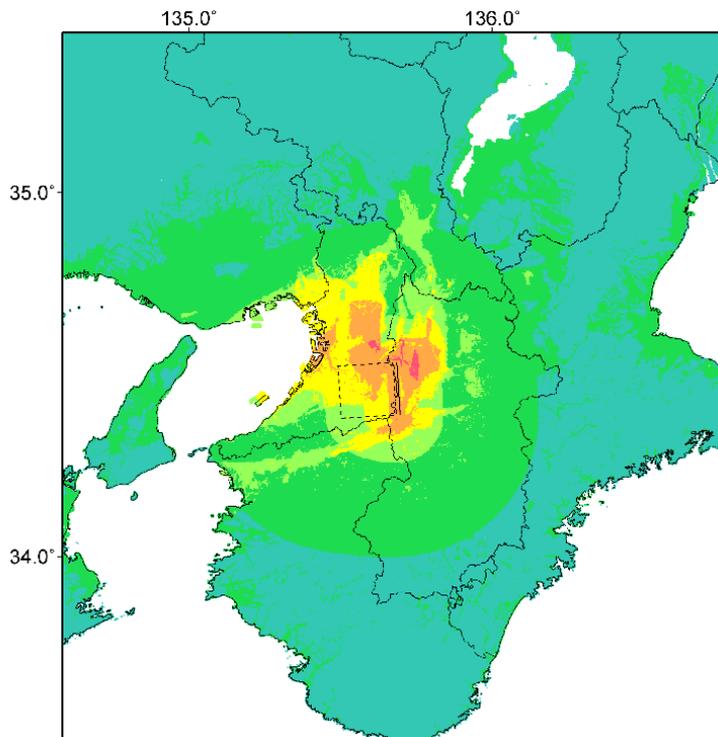
| 同時活動パターン | ページ | 同時活動パターン | ページ | 同時活動パターン | ページ | 同時活動パターン | ページ |
|----------|-----|----------|-----|----------|-----|----------|-----|
| ①単独      | 3   | ⑤-⑥      | 17  | ②-⑤      | 31  | ③-⑧      | 45  |
| ②単独      | 4   | ⑥-⑦      | 18  | ③-⑥      | 32  | ④-⑨      | 46  |
| ③単独      | 5   | ⑦-⑧      | 19  | ④-⑦      | 33  | ⑤-⑩      | 47  |
| ④単独      | 6   | ⑧-⑨      | 20  | ⑤-⑧      | 34  | ①-⑦      | 48  |
| ⑤単独      | 7   | ⑨-⑩      | 21  | ⑥-⑨      | 35  | ②-⑧      | 49  |
| ⑥単独      | 8   | ①-③      | 22  | ⑦-⑩      | 36  | ③-⑨      | 50  |
| ⑦単独      | 9   | ②-④      | 23  | ①-⑤      | 37  | ④-⑩      | 51  |
| ⑧単独      | 10  | ③-⑤      | 24  | ②-⑥      | 38  | ①-⑧      | 52  |
| ⑨単独      | 11  | ④-⑥      | 25  | ③-⑦      | 39  | ②-⑨      | 53  |
| ⑩単独      | 12  | ⑤-⑦      | 26  | ④-⑧      | 40  | ③-⑩      | 54  |
| ①-②      | 13  | ⑥-⑧      | 27  | ⑤-⑨      | 41  | ①-⑨      | 55  |
| ②-③      | 14  | ⑦-⑨      | 28  | ⑥-⑩      | 42  | ②-⑩      | 56  |
| ③-④      | 15  | ⑧-⑩      | 29  | ①-⑥      | 43  | ①-⑩      | 57  |
| ④-⑤      | 16  | ①-④      | 30  | ②-⑦      | 44  | 解説       | 58  |

【その他の活断層】

| 活断層      | ページ | 活断層    | ページ | 活断層       | ページ | 活断層   | ページ |
|----------|-----|--------|-----|-----------|-----|-------|-----|
| 長尾断層帯・解説 | 59  | 上法軍寺断層 | 60  | 上浦-西月ノ宮断層 | 60  | 網附森断層 | 61  |

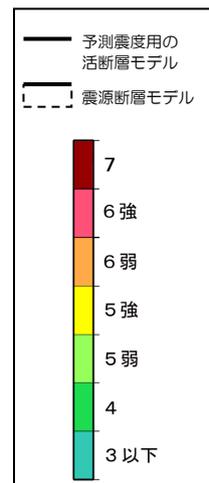
【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間①単独活動】



強い揺れになる地域の  
広がりを目安を示した  
ものです。実際は予測  
よりも大きな揺れにな  
ることがあります。

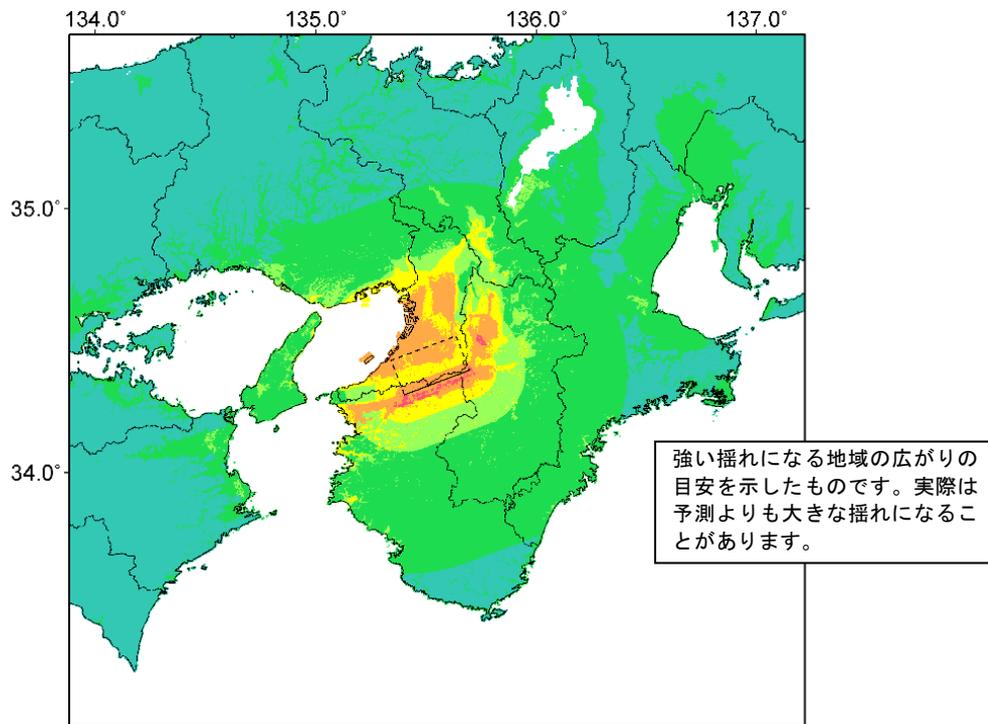
※区間①の断層の傾斜角は中角度のみと評価しているため、中角  
度の場合の計算結果のみを表示しています。



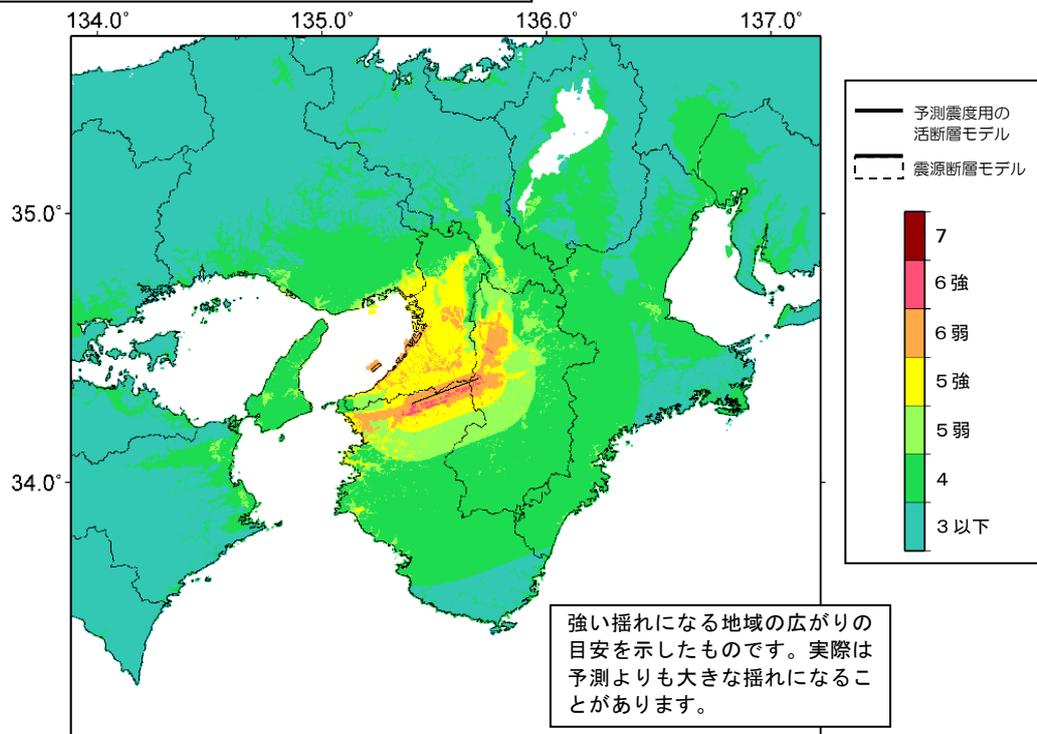
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間②単独活動】



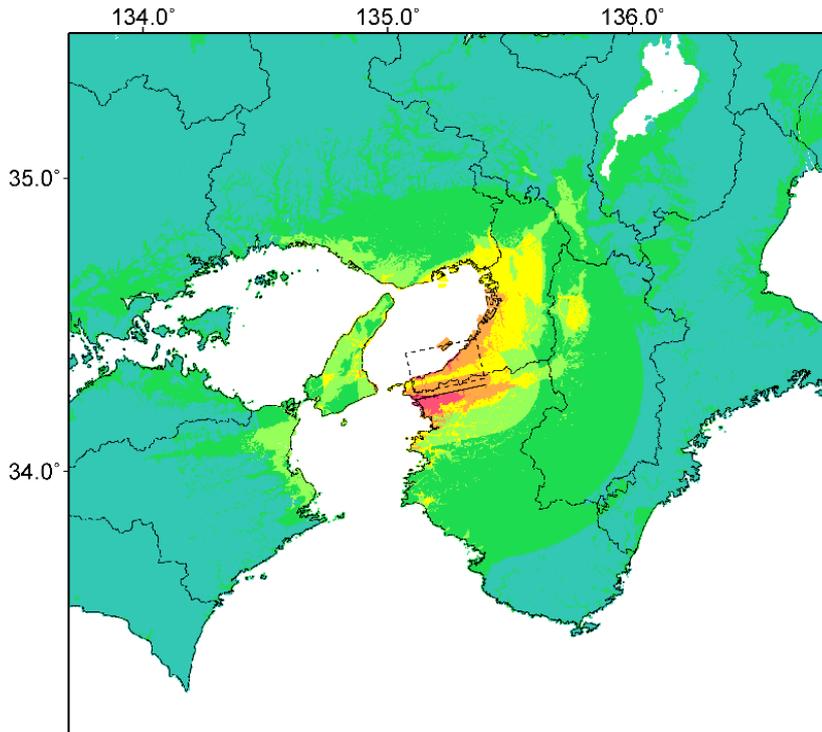
中央構造線断層帯（高角度）【区間②単独活動】



**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

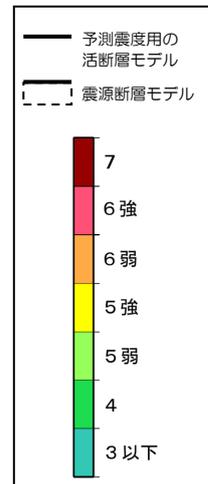
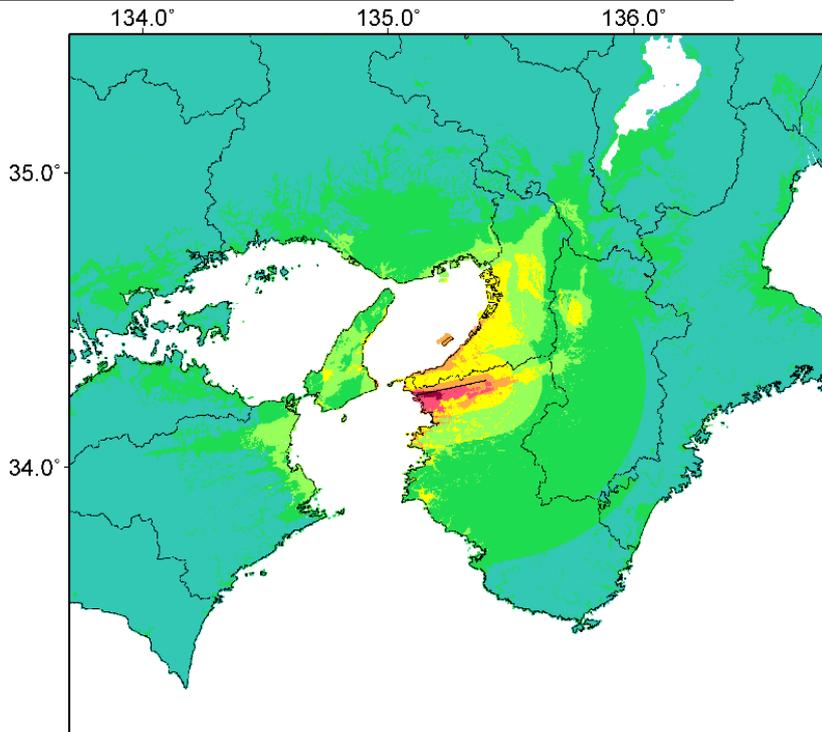
【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間③単独活動】



強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際  
は予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

中央構造線断層帯（高角度）【区間③単独活動】

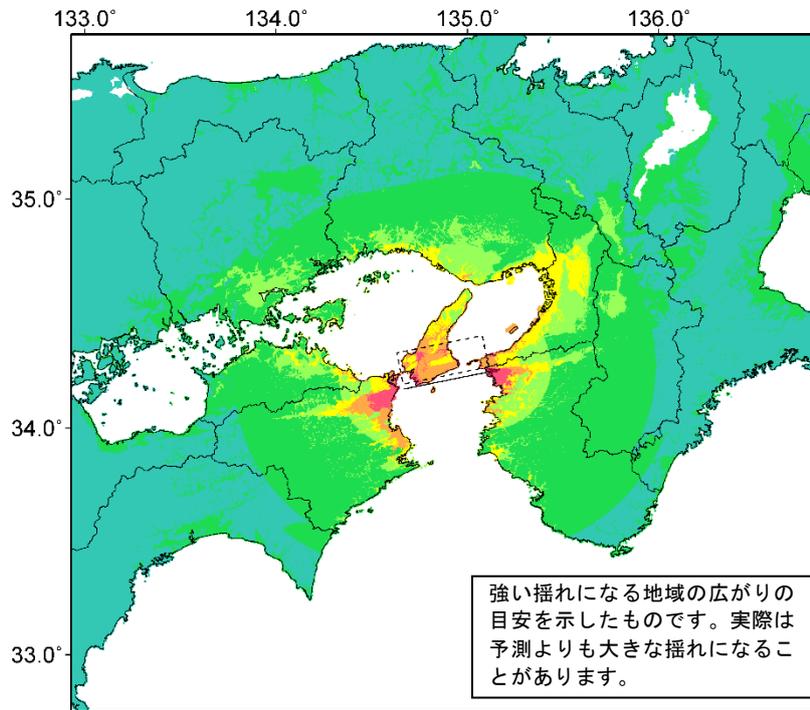


強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際  
は予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

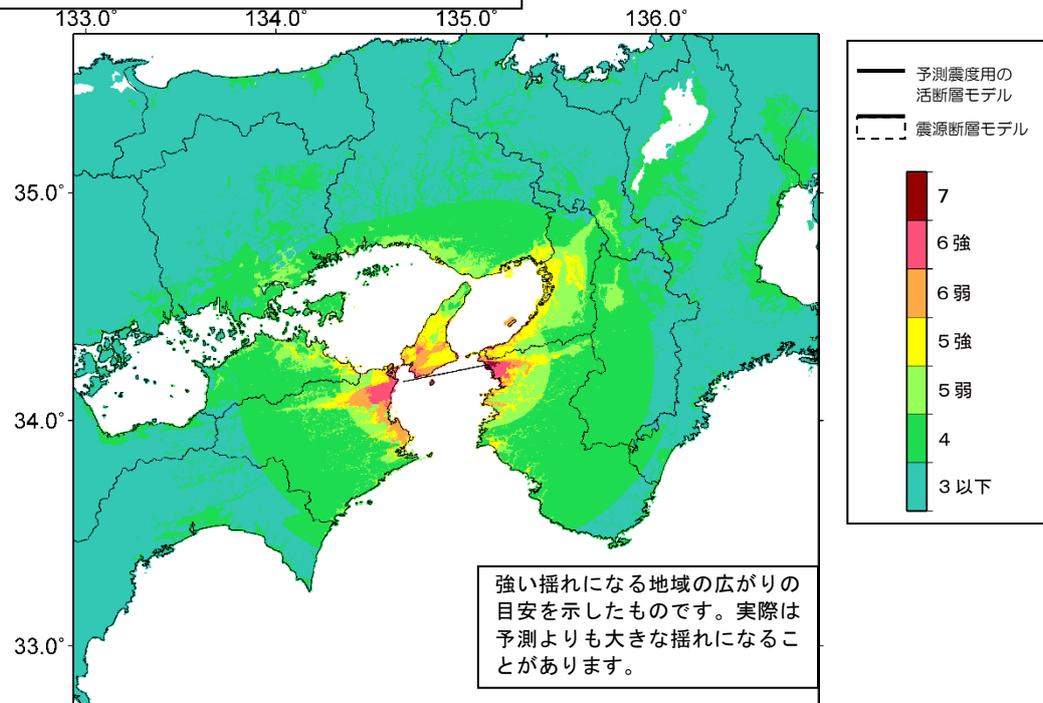
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間④単独活動】



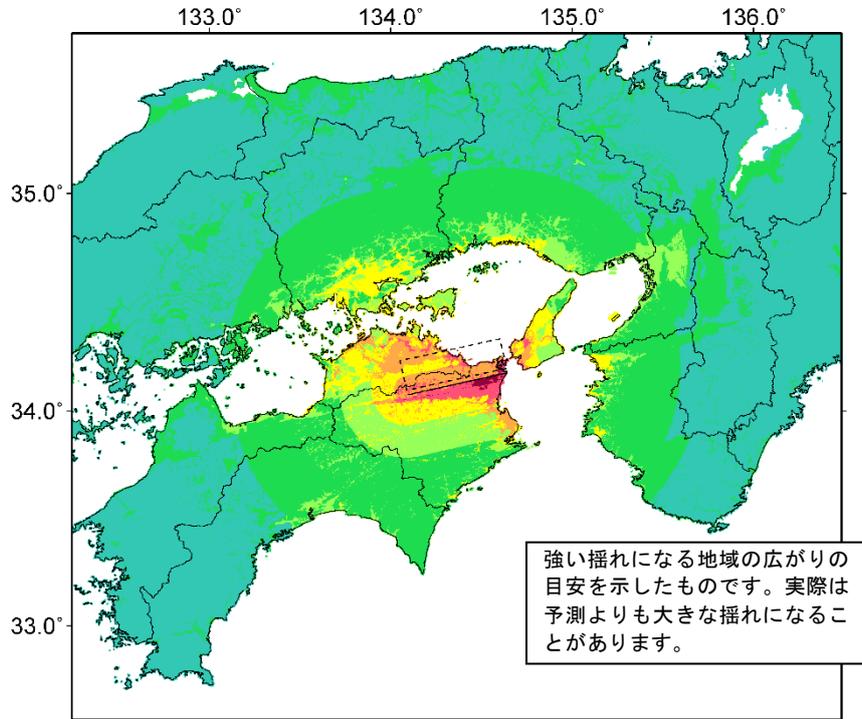
中央構造線断層帯（高角度）【区間④単独活動】



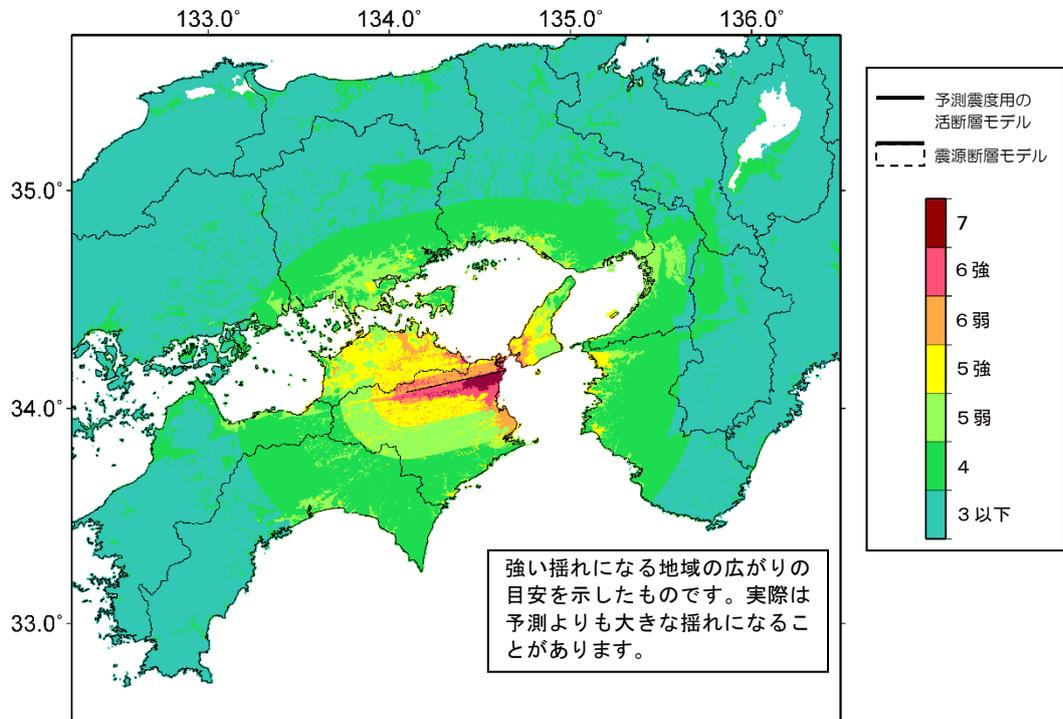
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑤単独活動】



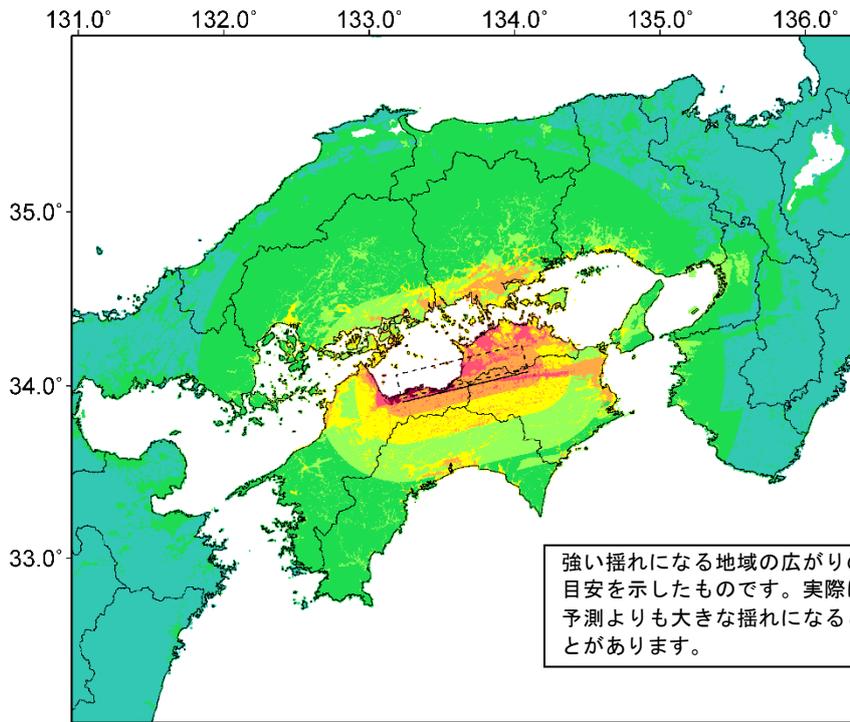
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑤単独活動】



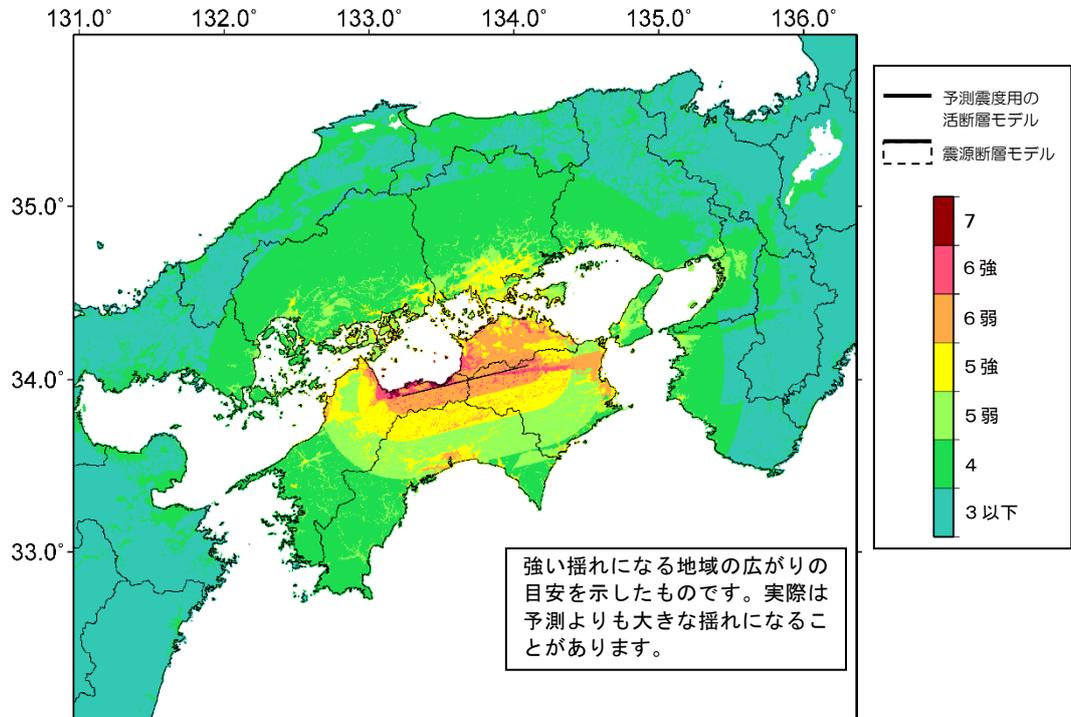
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑥単独活動】



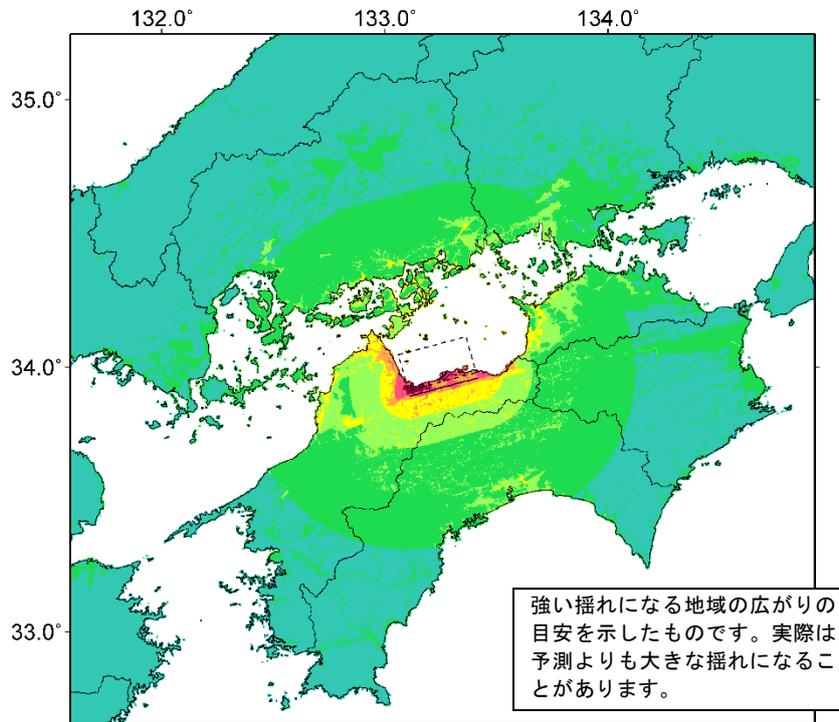
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑥単独活動】



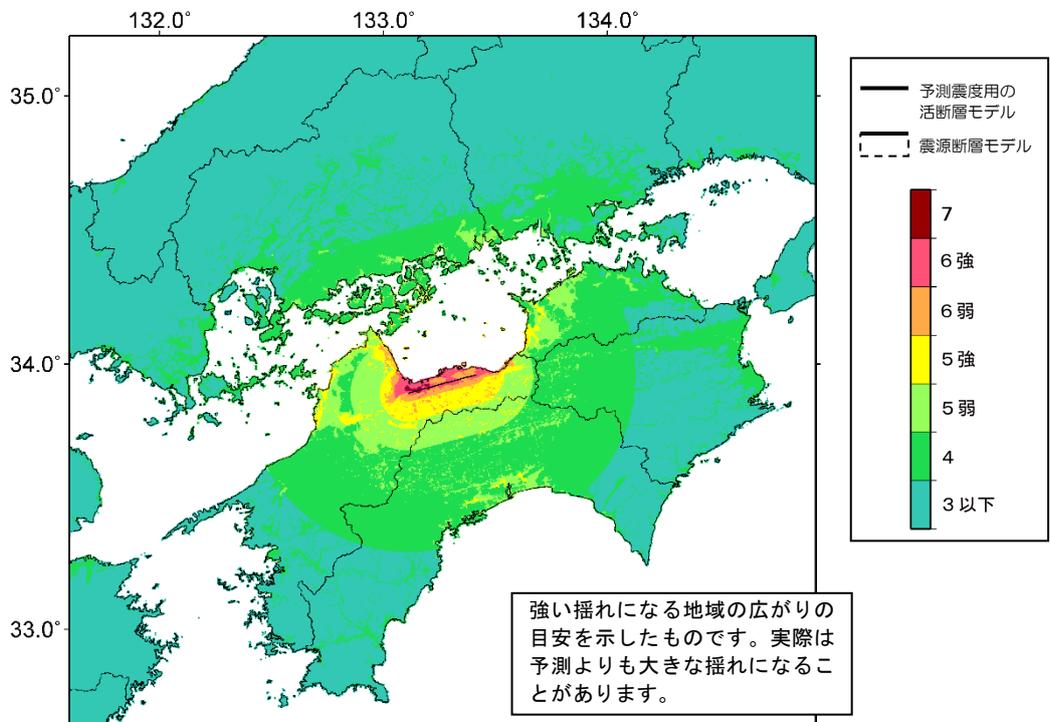
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
 震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑦単独活動】



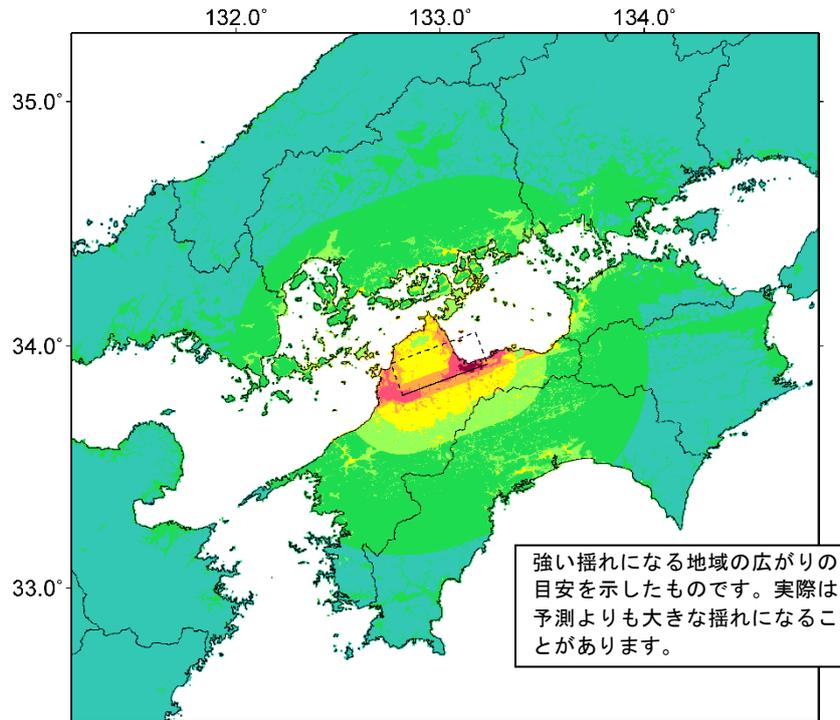
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑦単独活動】



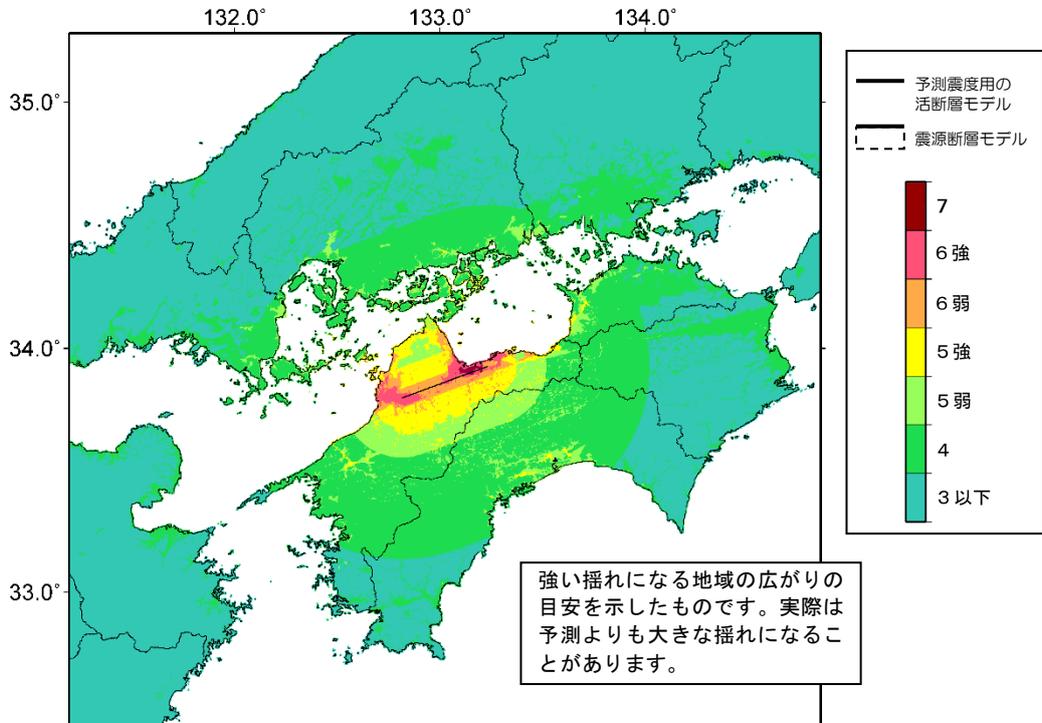
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑧単独活動】



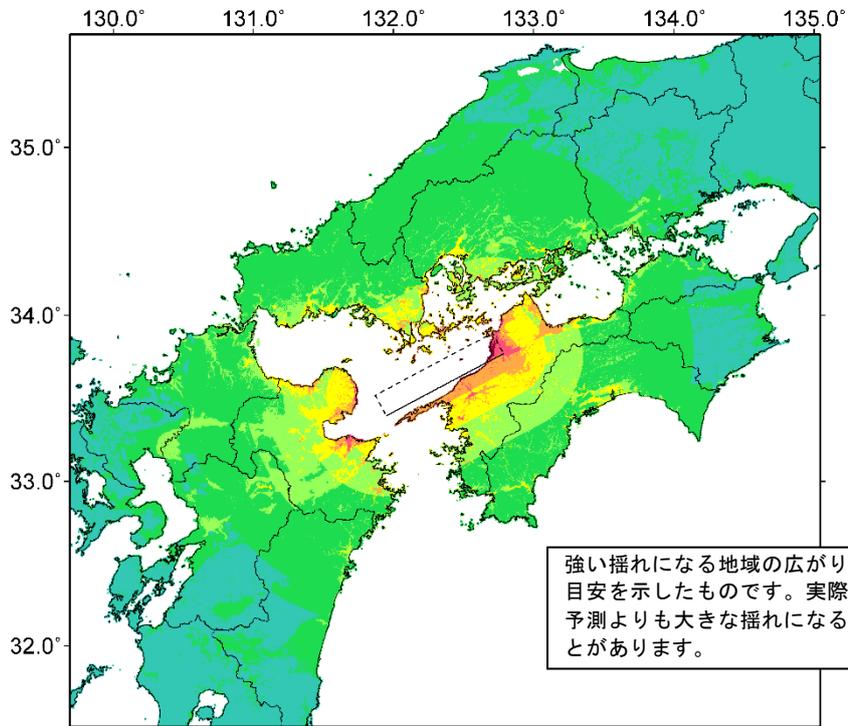
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑧単独活動】



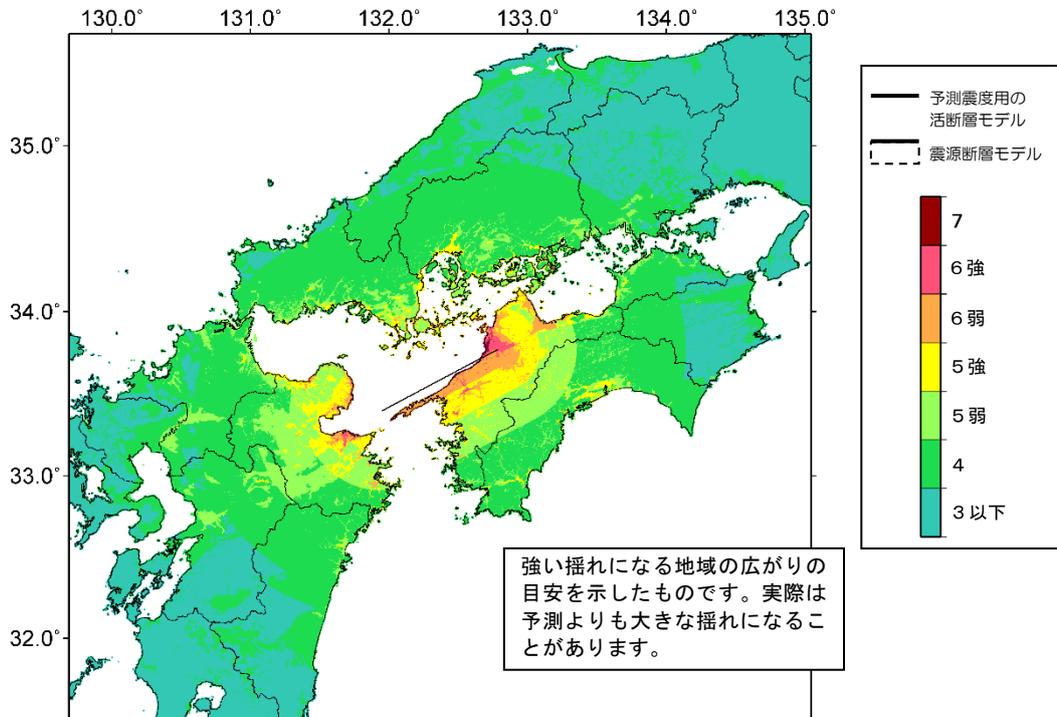
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間㊟単独活動】



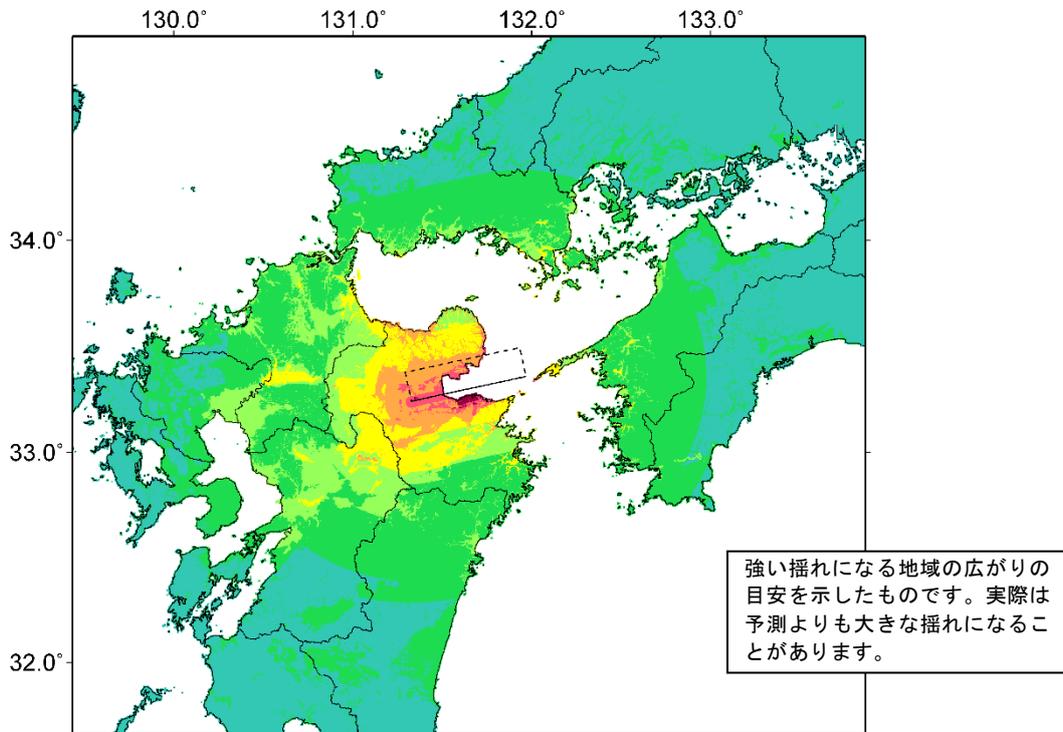
中央構造線断層帯（高角度）【区間㊟単独活動】



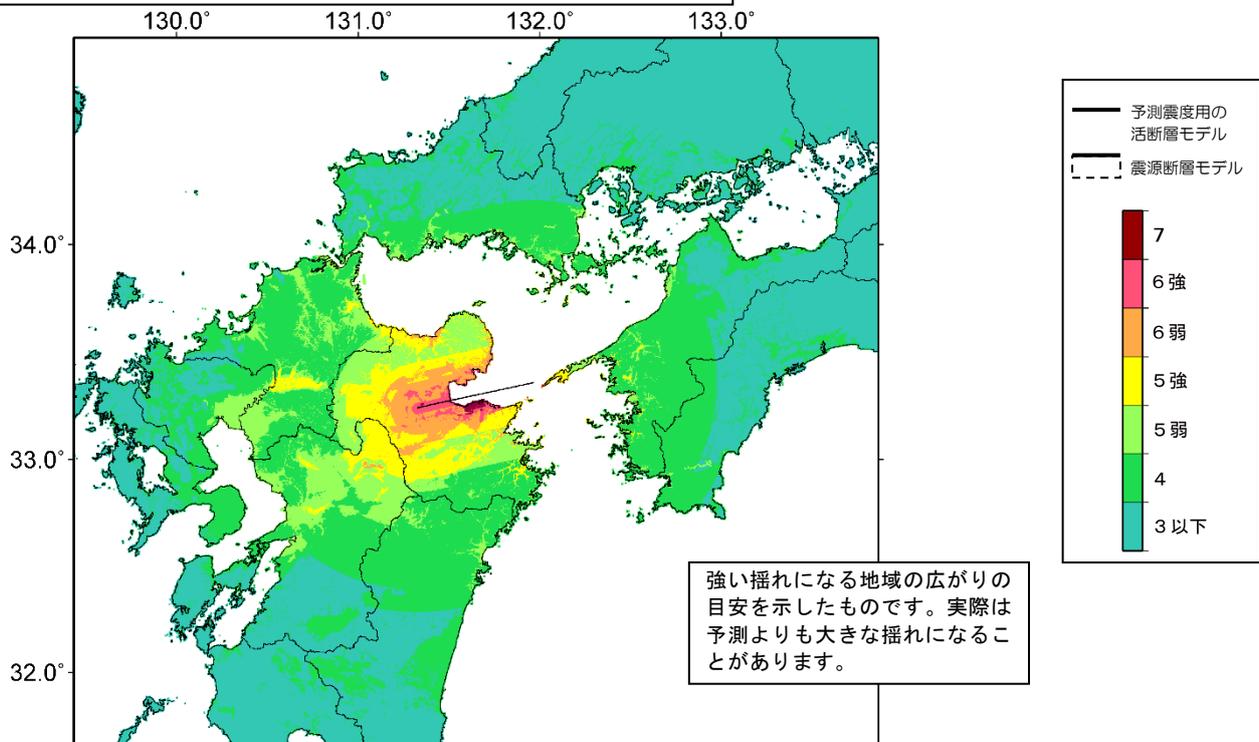
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑩単独活動】



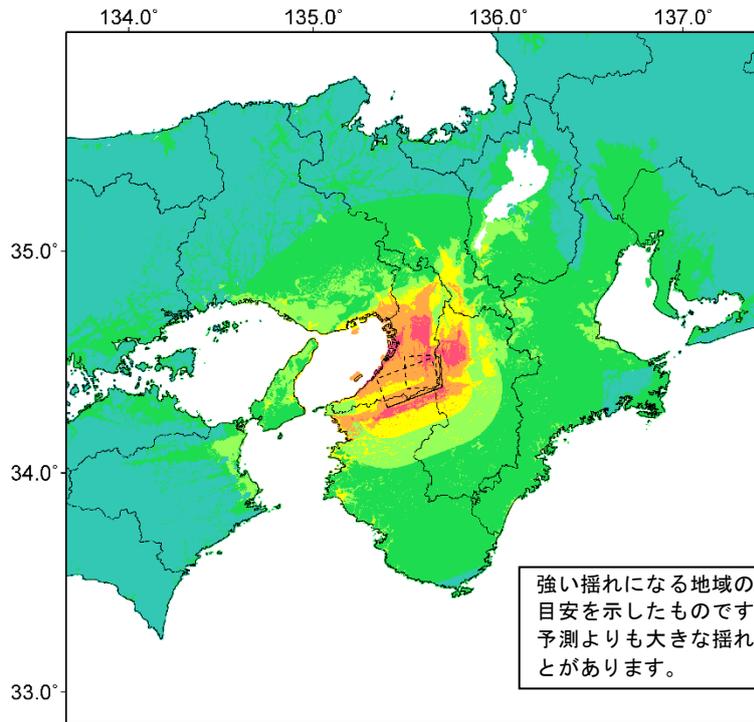
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑩単独活動】



**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

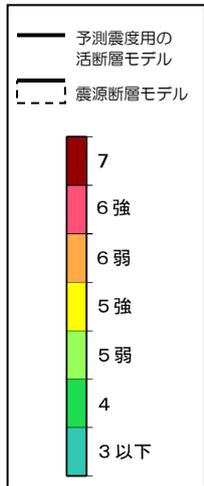
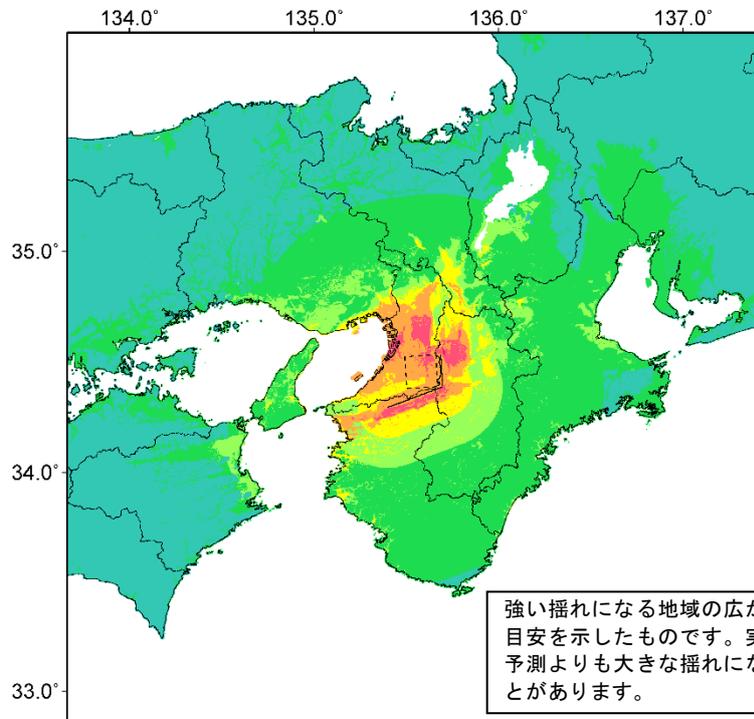
【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間①-②同時活動】



強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

中央構造線断層帯（高角度）【区間①-②同時活動】

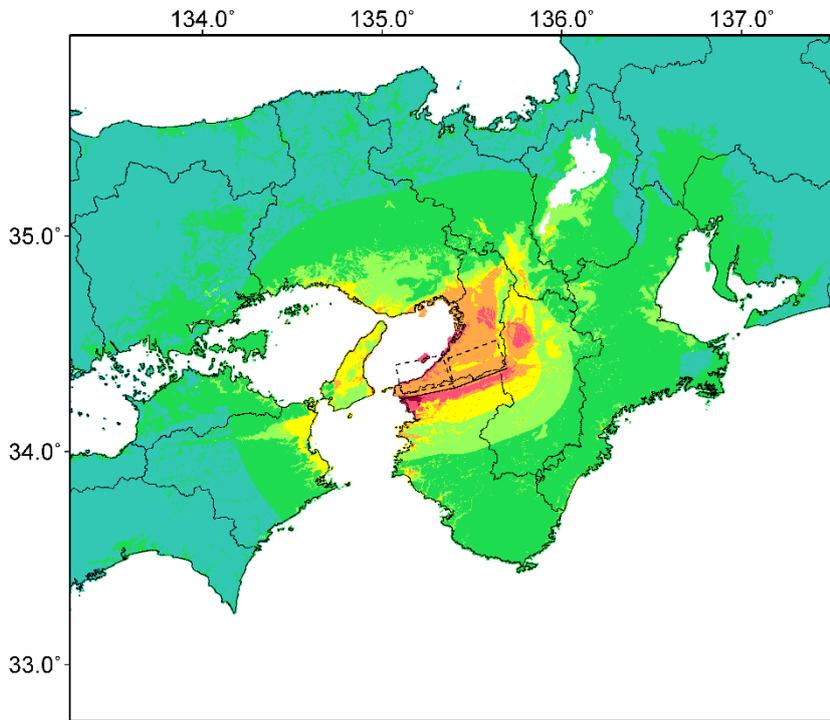


強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

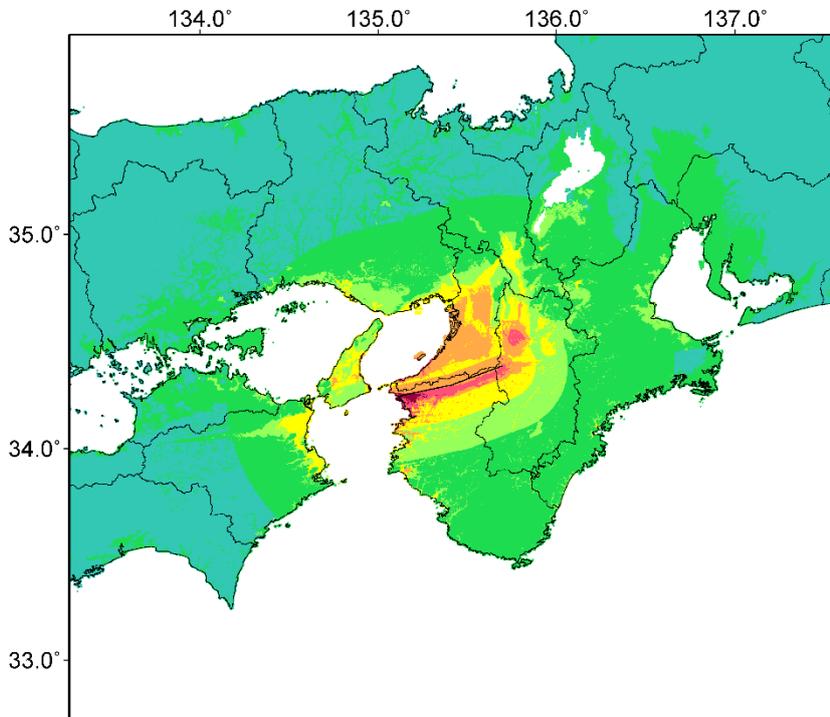
【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間②-③同時活動】



強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

中央構造線断層帯（高角度）【区間②-③同時活動】

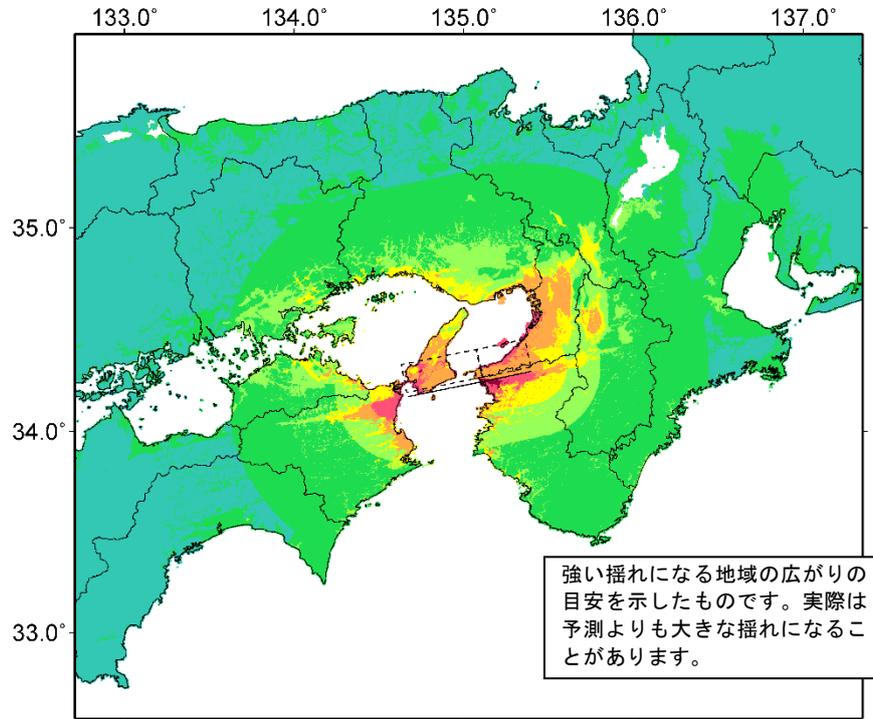


強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

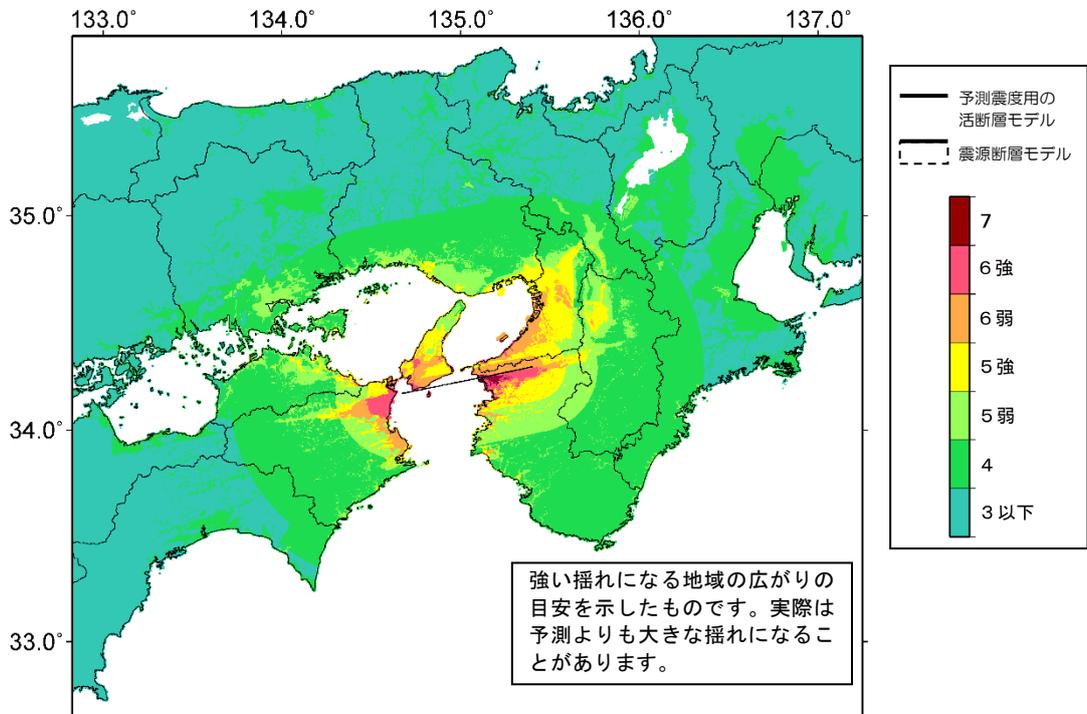
**活断層モデル** : 本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル** : 活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間③-④同時活動】



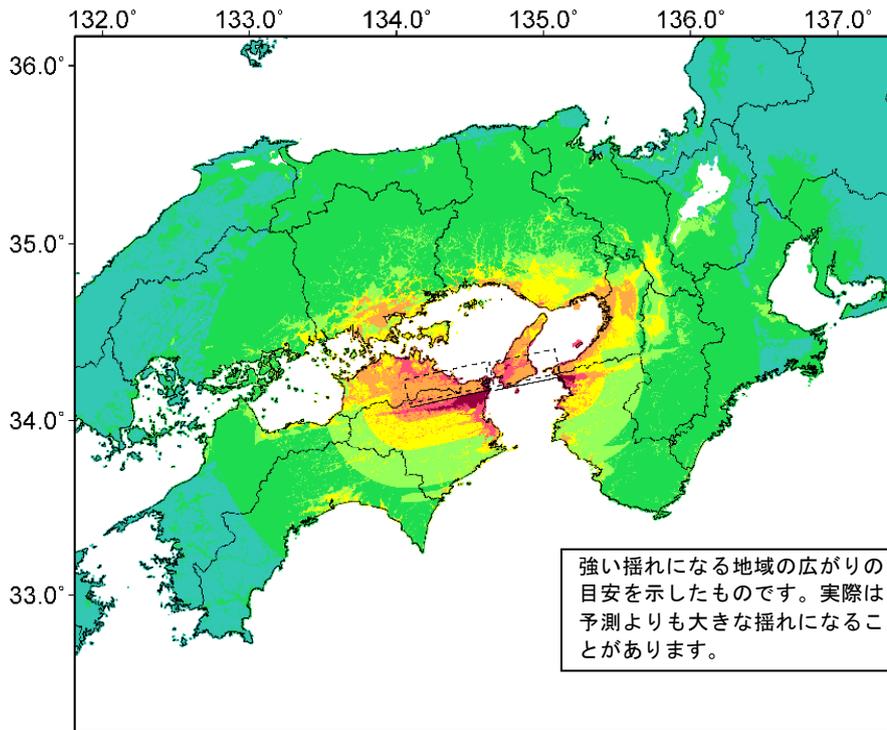
中央構造線断層帯（高角度）【区間③-④同時活動】



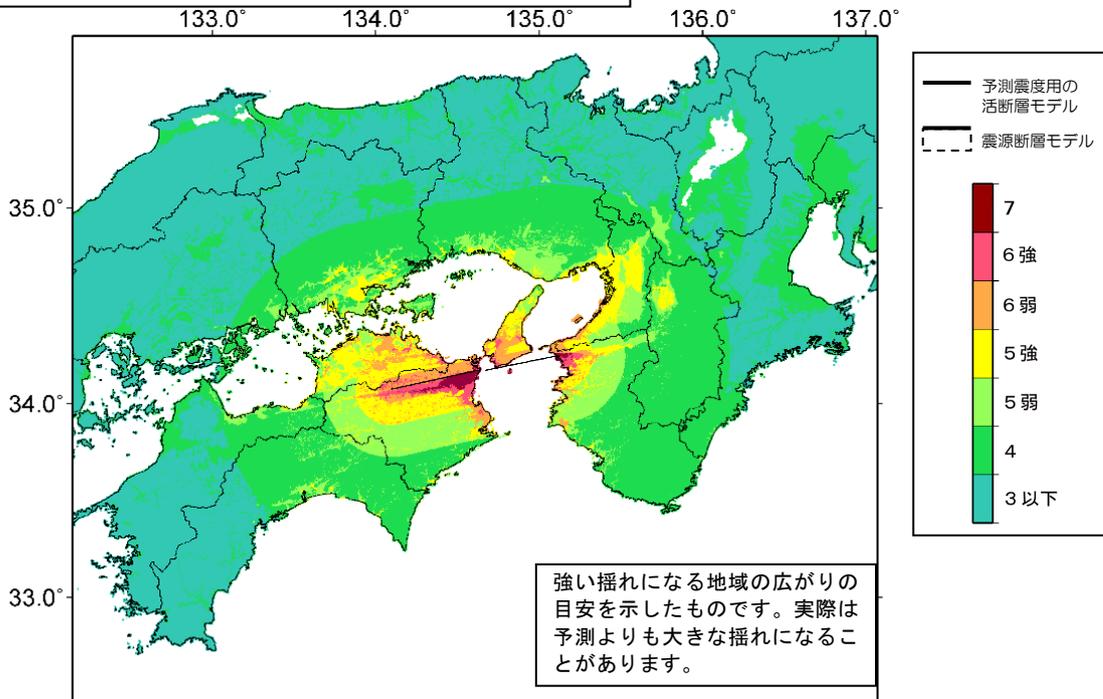
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間④－⑤同時活動】



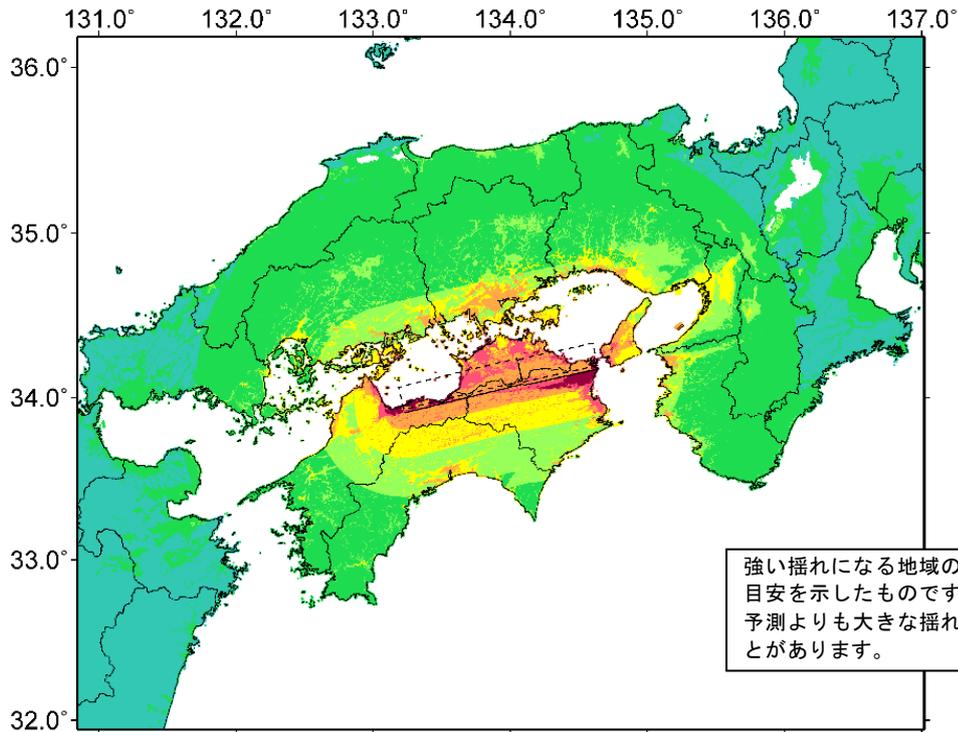
中央構造線断層帯（高角度）【区間④－⑤同時活動】



**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

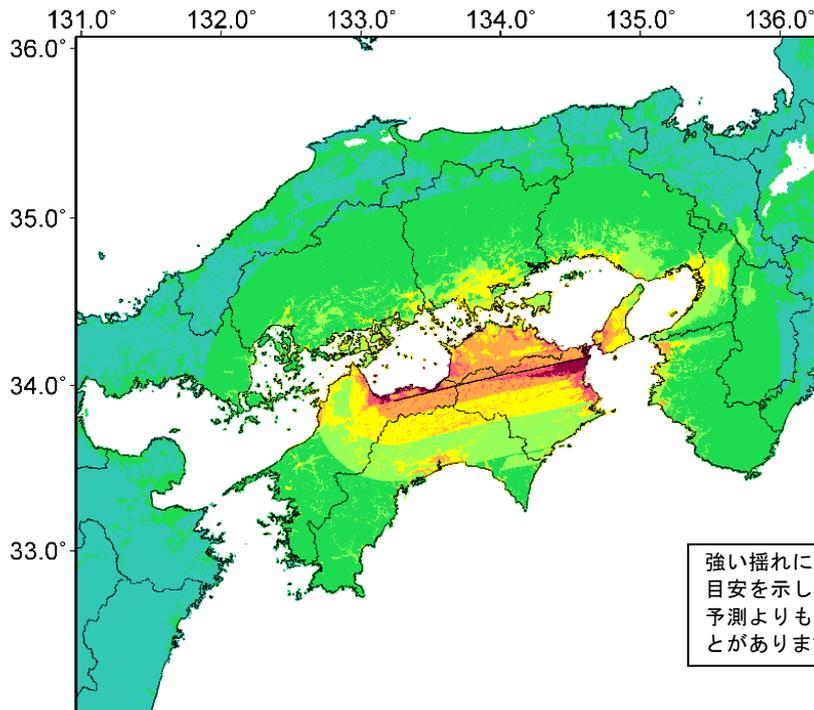
【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑤－⑥同時活動】

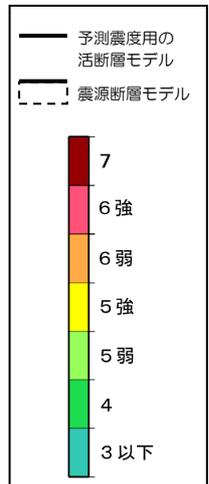


強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

中央構造線断層帯（高角度）【区間⑤－⑥同時活動】



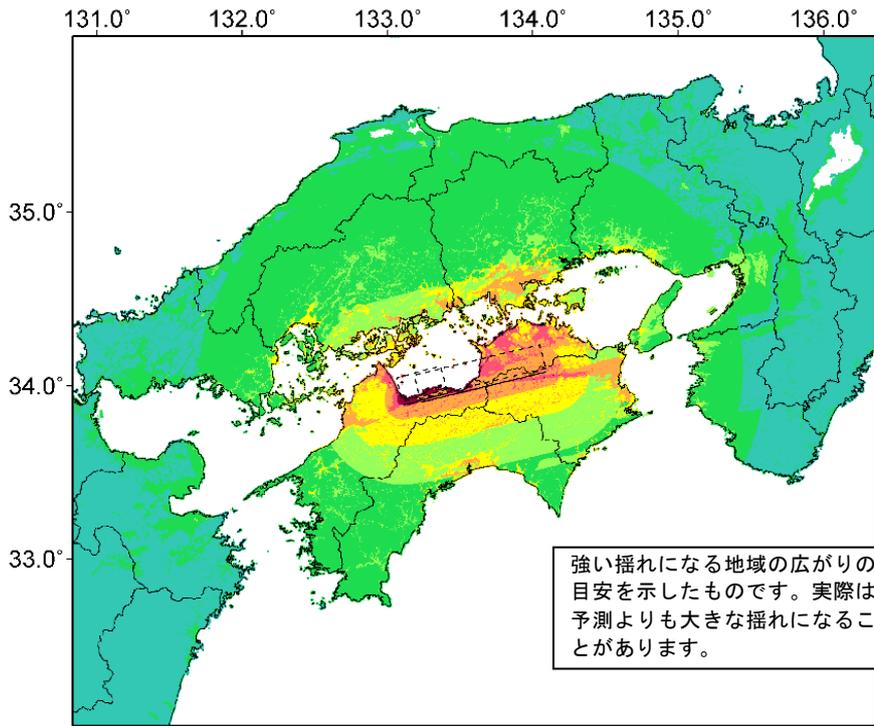
強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。



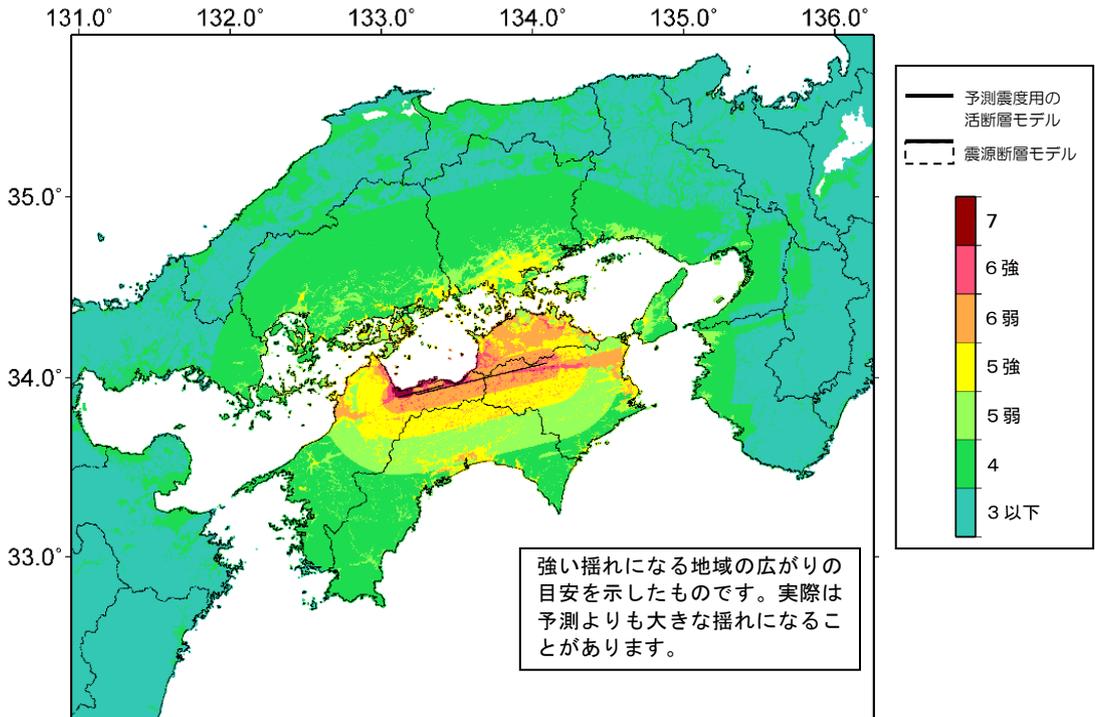
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑥－⑦同時活動】



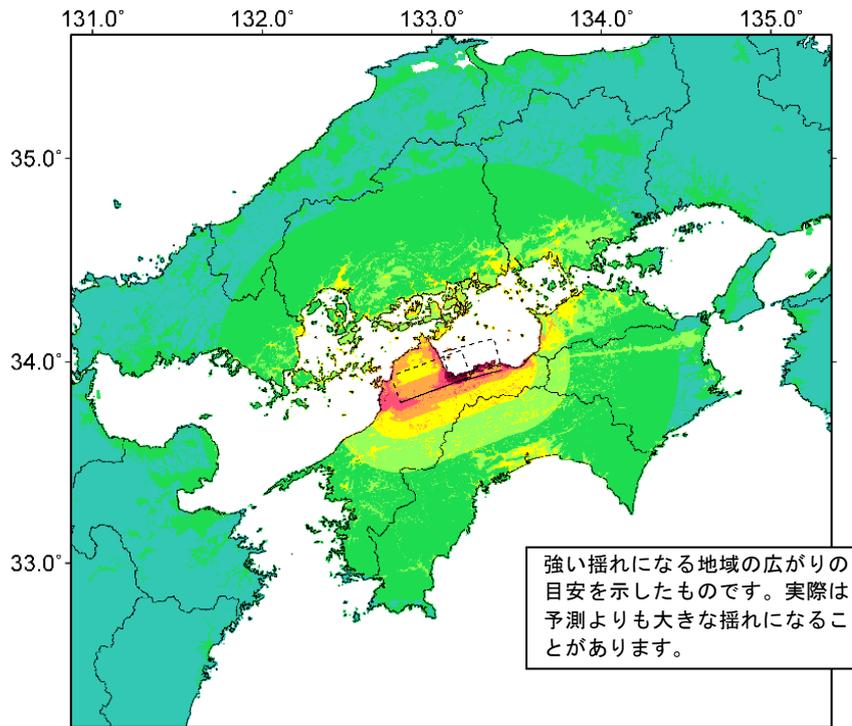
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑥－⑦同時活動】



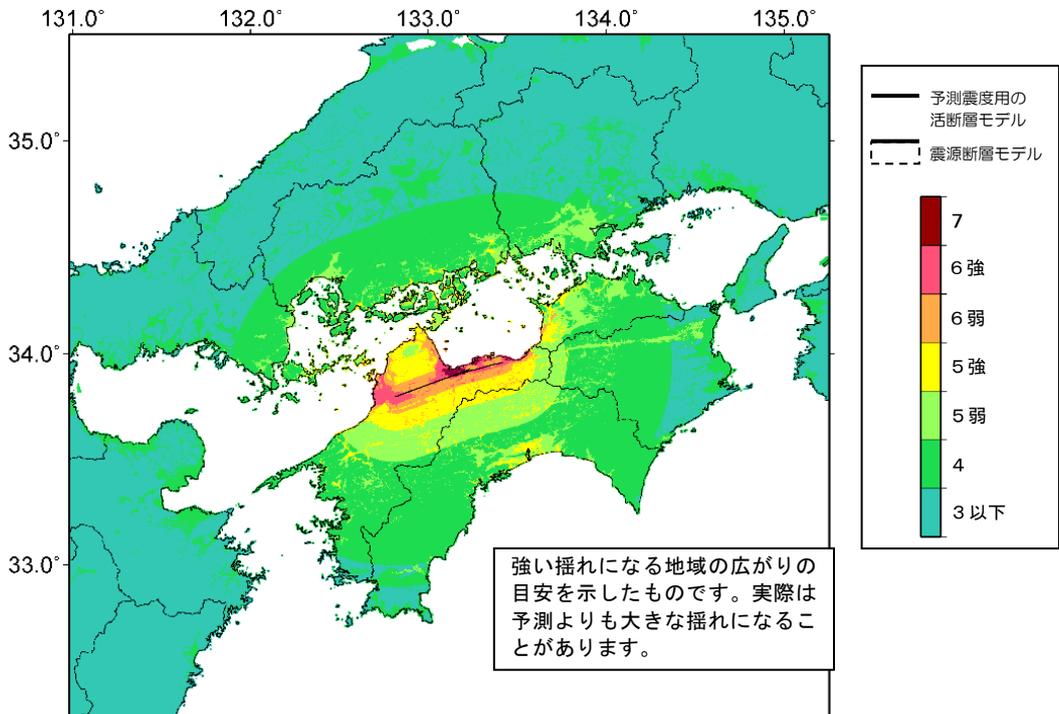
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
 震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑦－⑧同時活動】



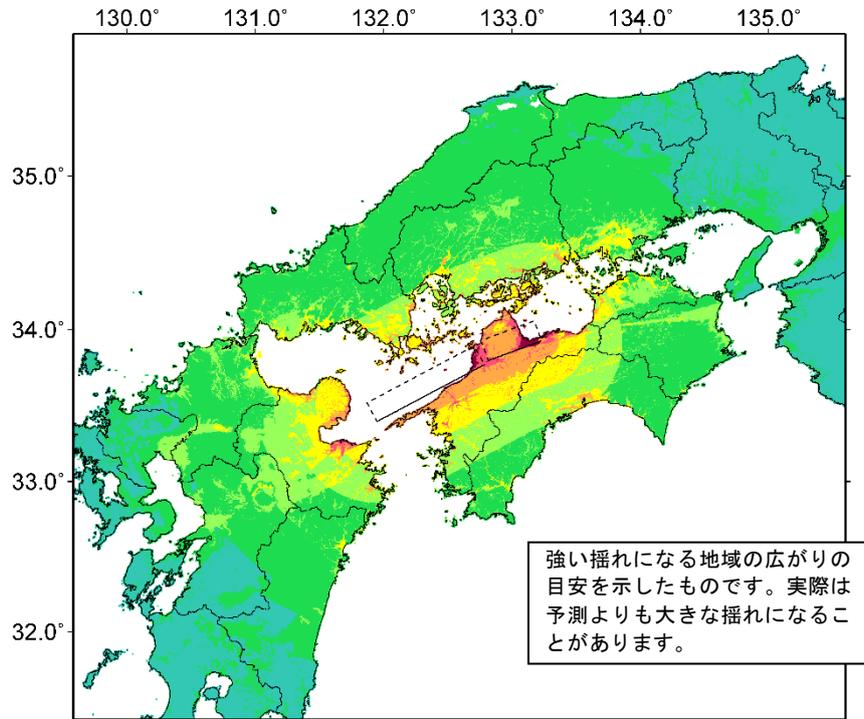
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑦－⑧同時活動】



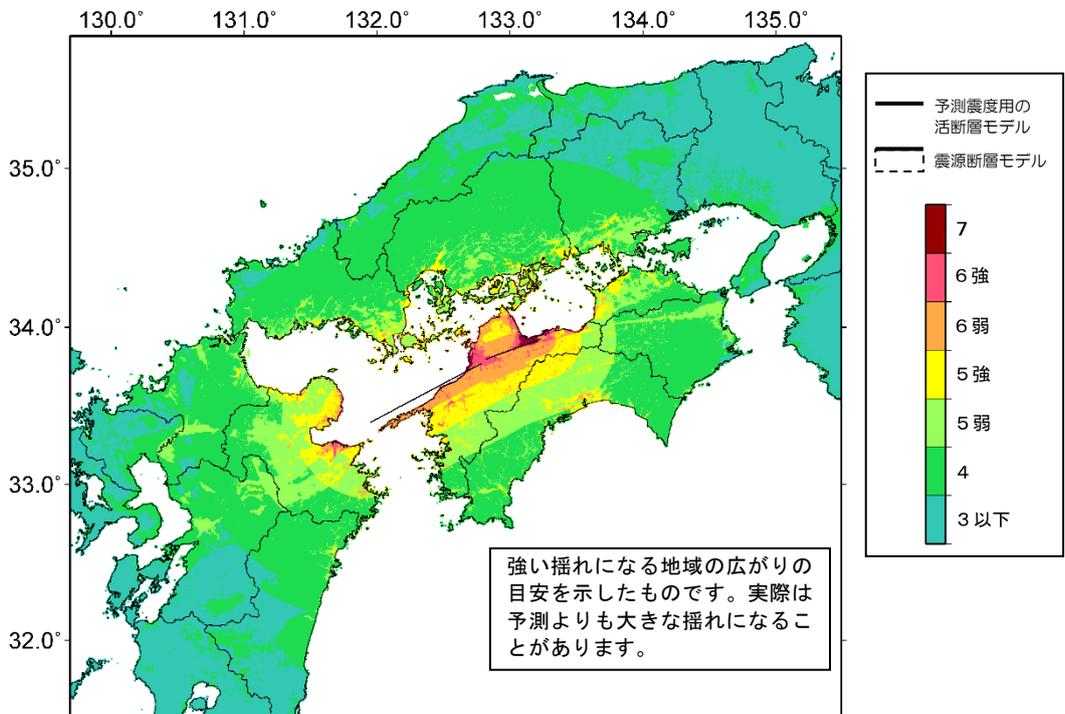
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑧－⑨同時活動】



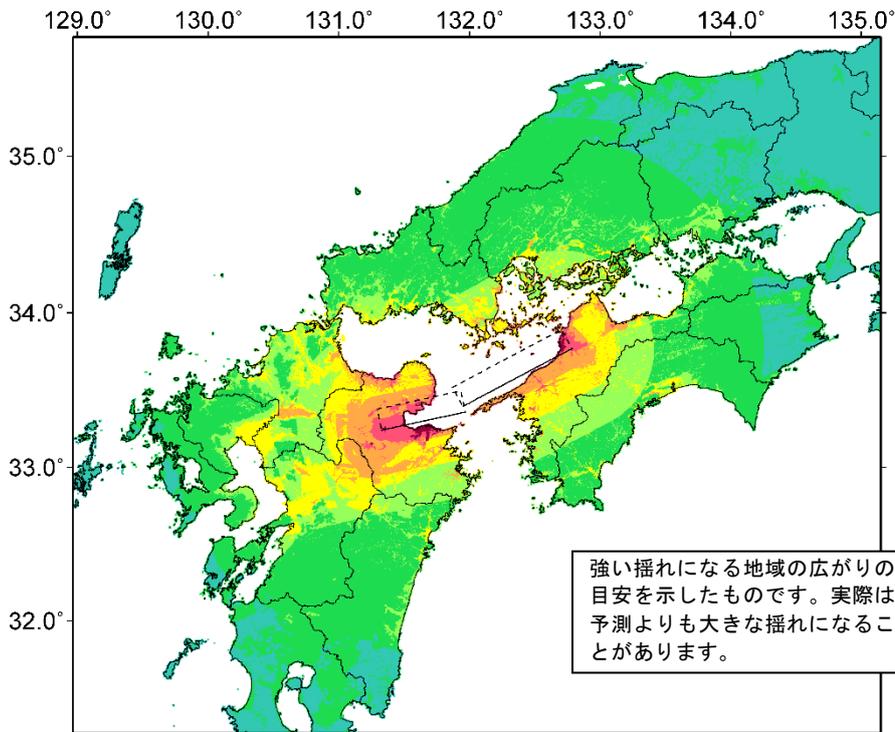
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑧－⑨同時活動】



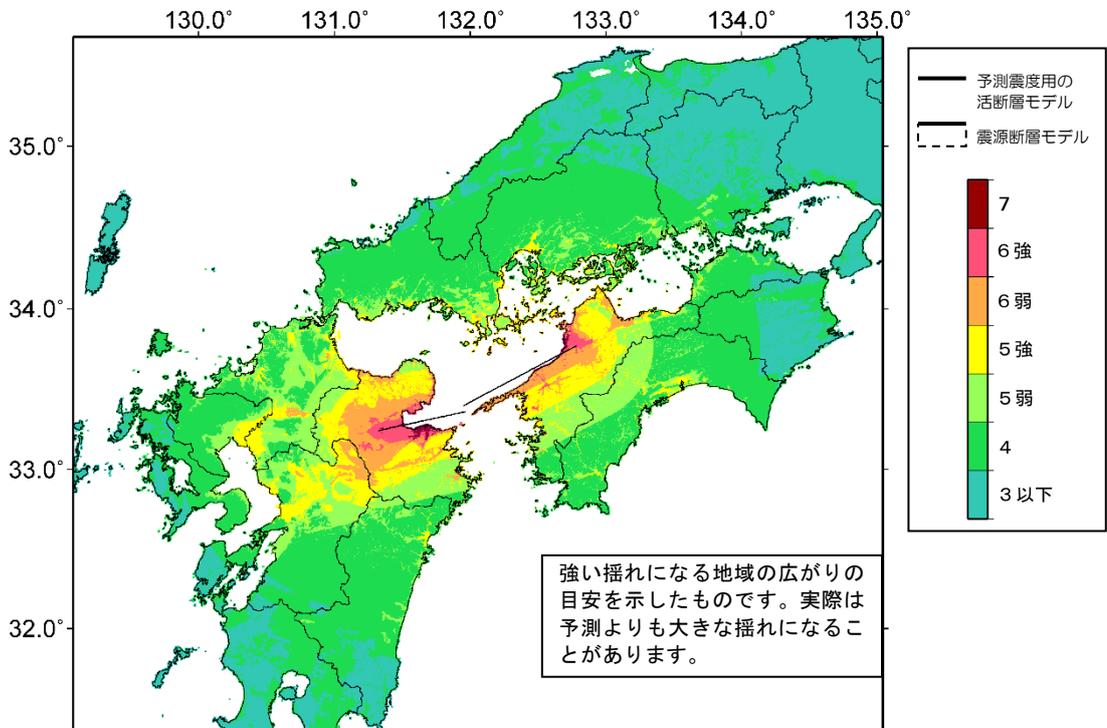
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑨-⑩同時活動】



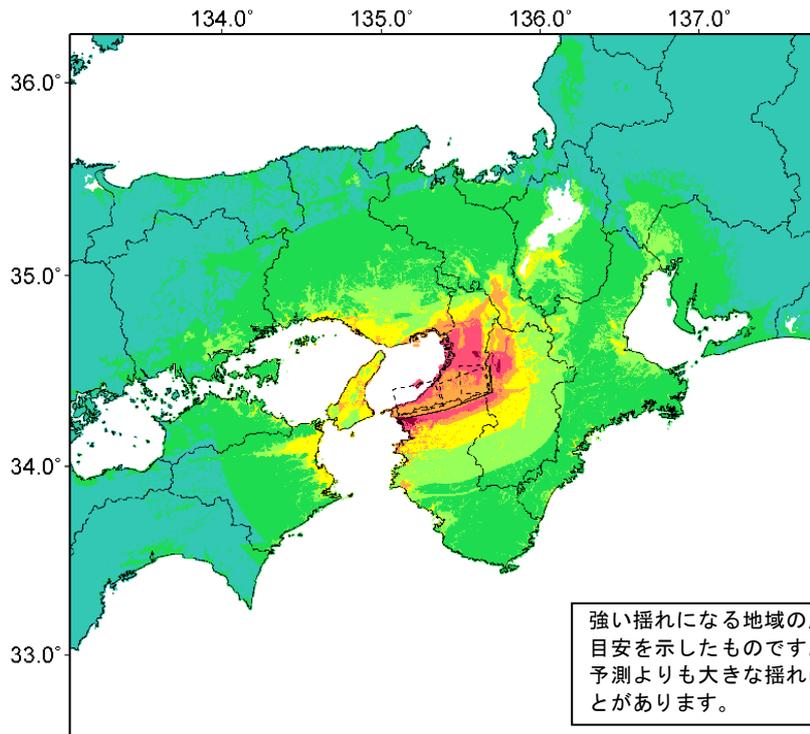
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑨-⑩同時活動】



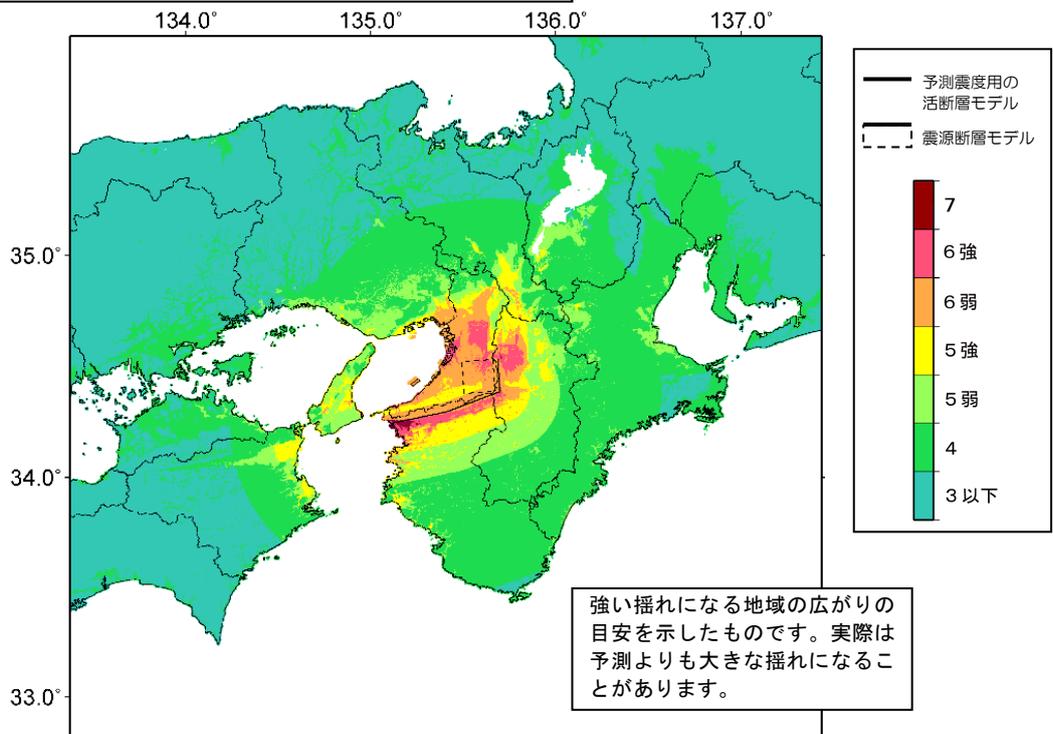
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
 震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間①－③同時活動】



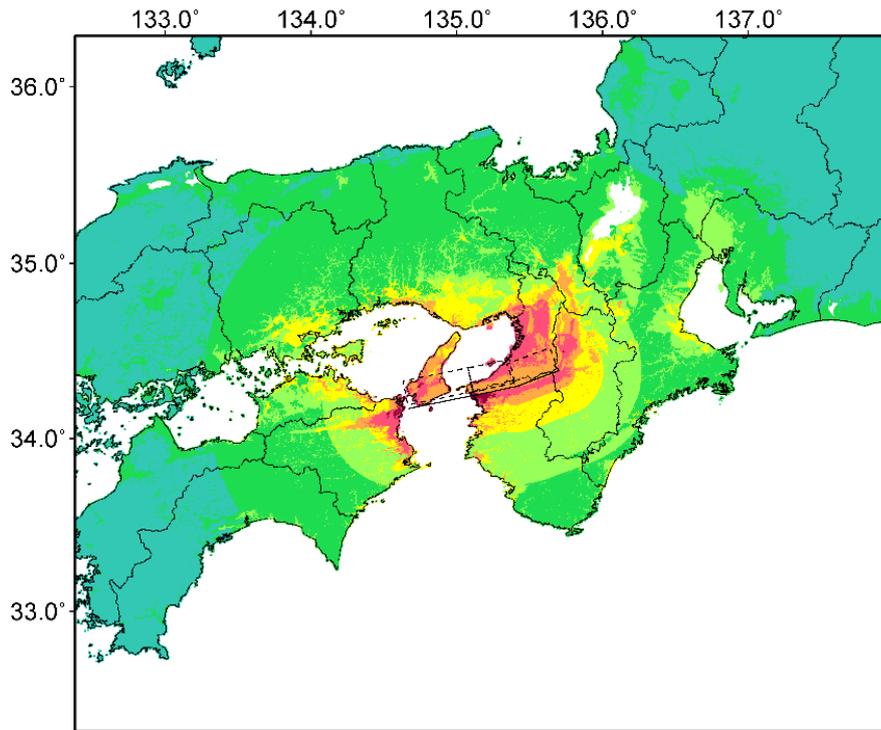
中央構造線断層帯（高角度）【区間①－③同時活動】



**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

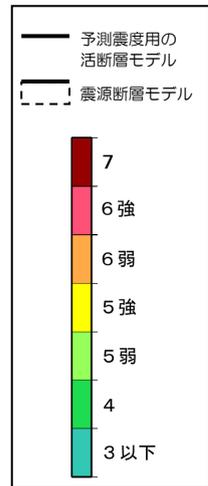
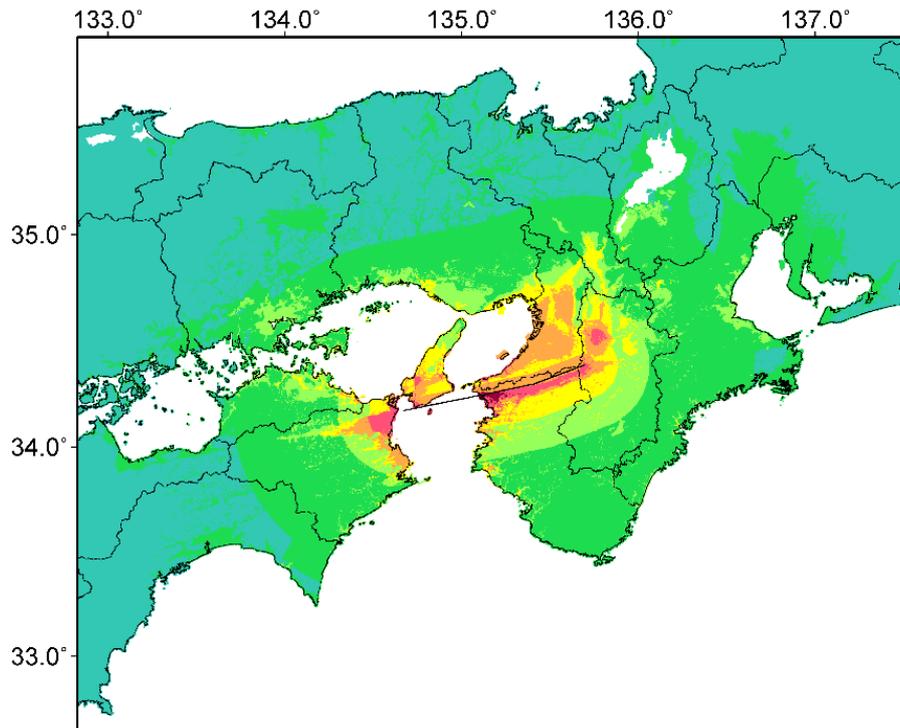
【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間②-④同時活動】



強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

中央構造線断層帯（高角度）【区間②-④同時活動】

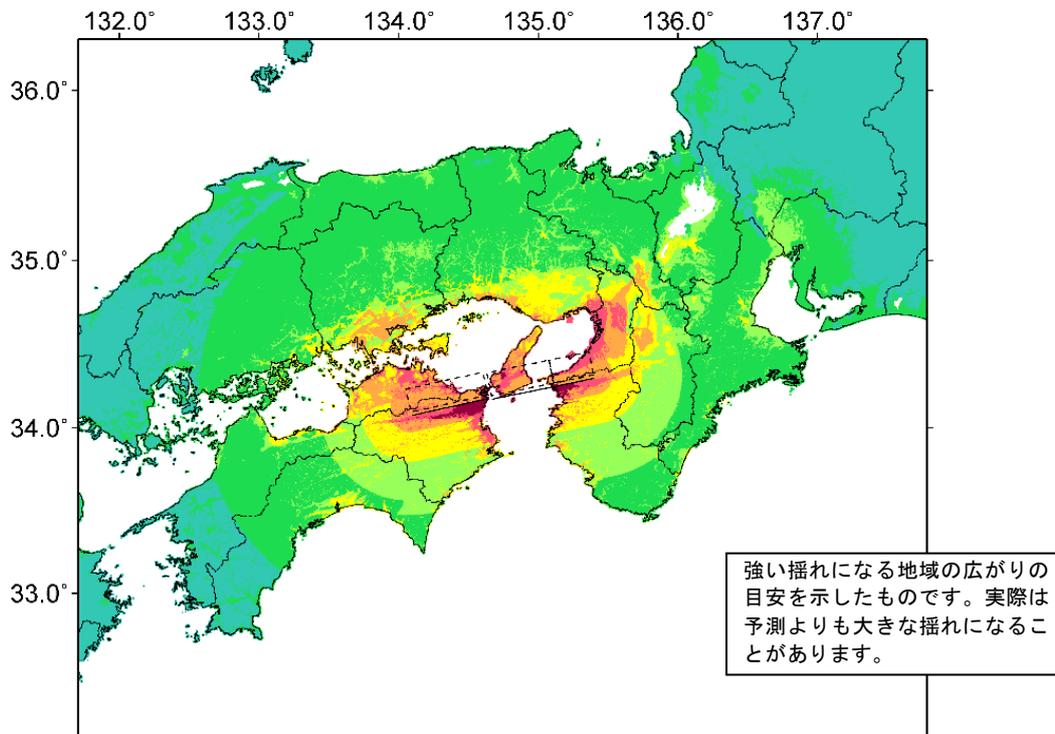


強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

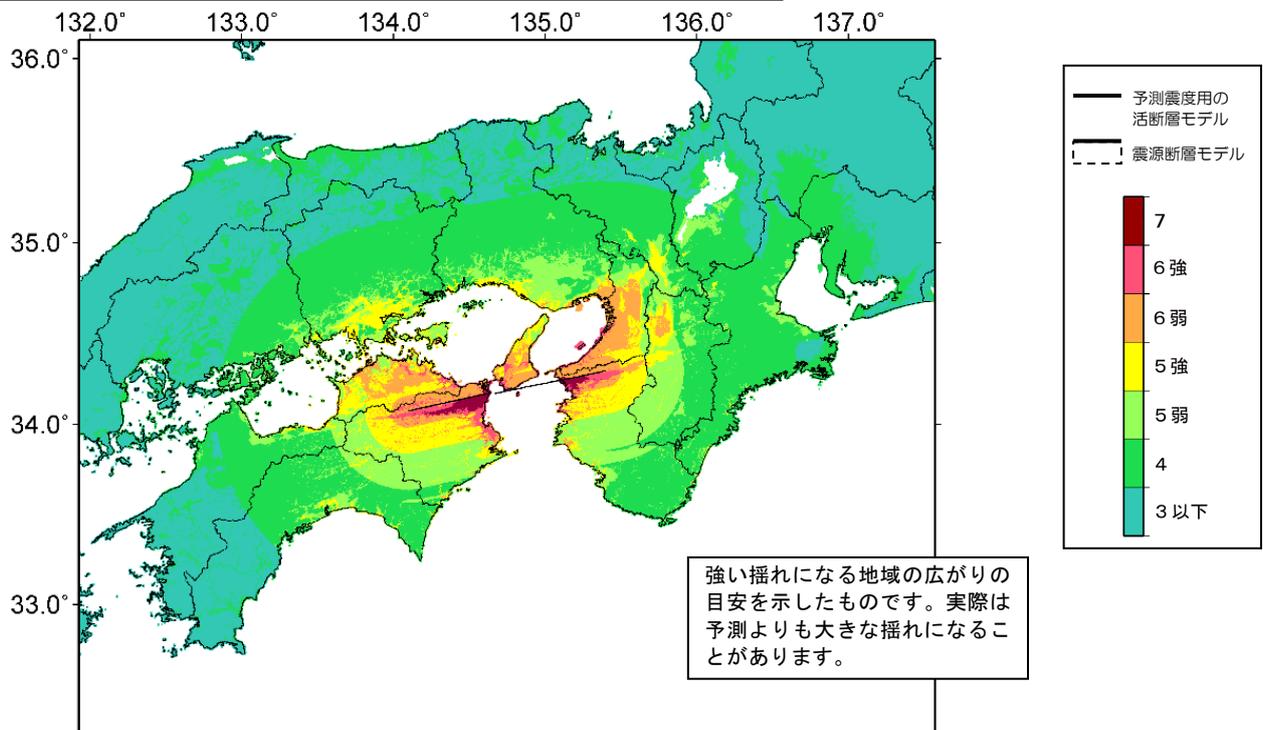
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間③-⑤同時活動】



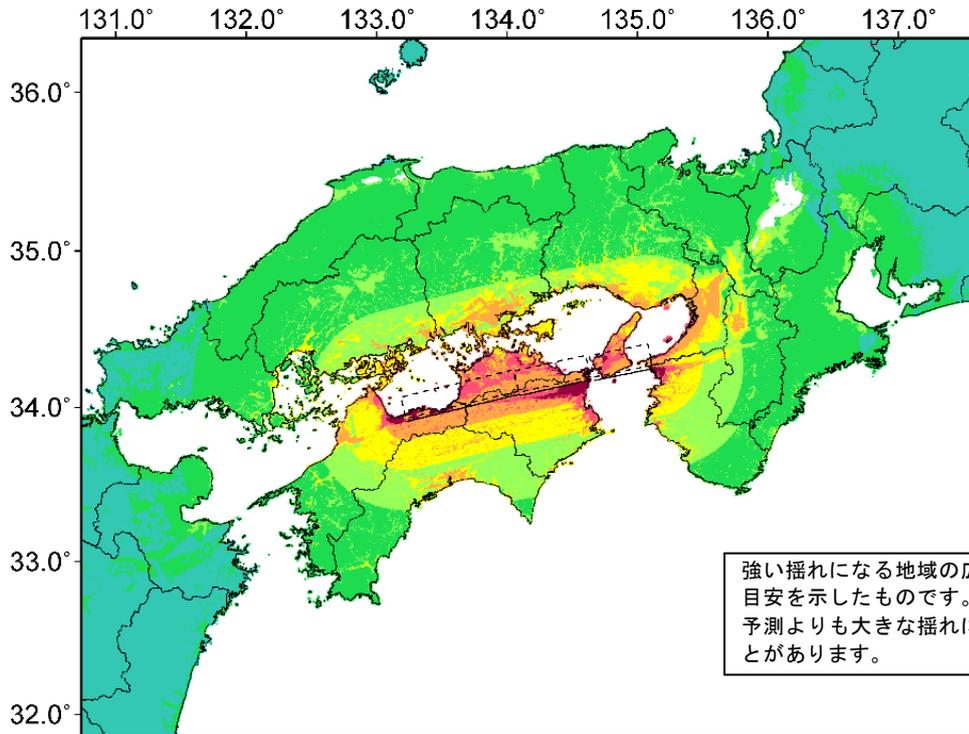
中央構造線断層帯（高角度）【区間③-⑤同時活動】



**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

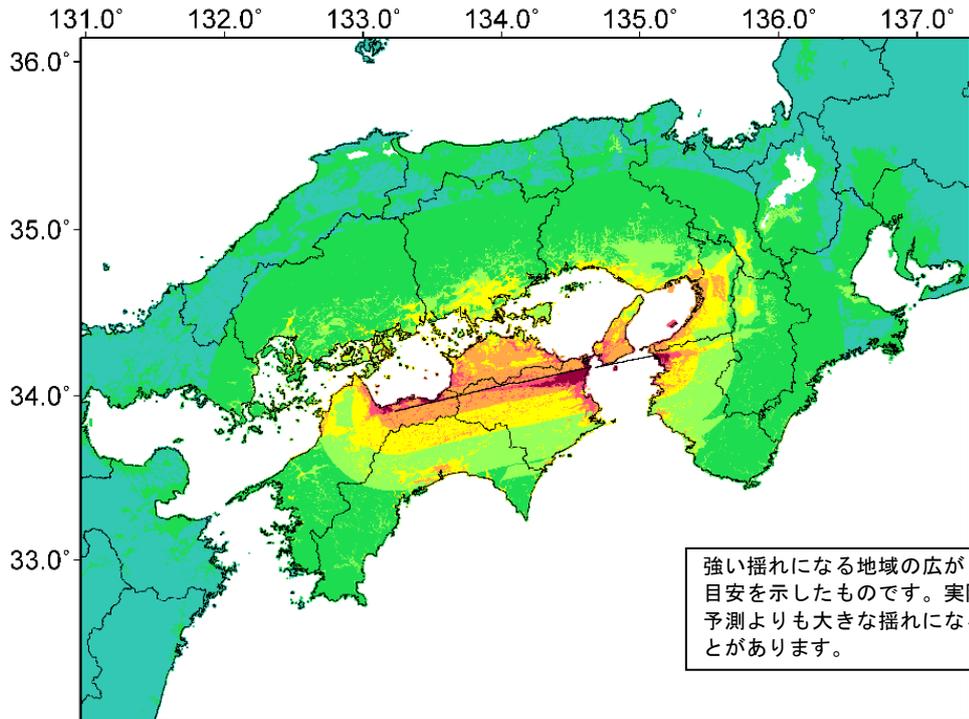
【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間④－⑥同時活動】

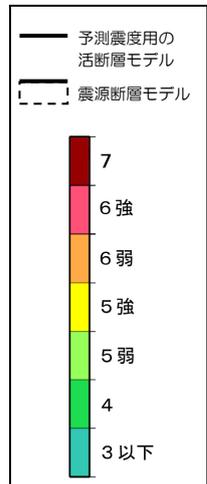


強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

中央構造線断層帯（高角度）【区間④－⑥同時活動】



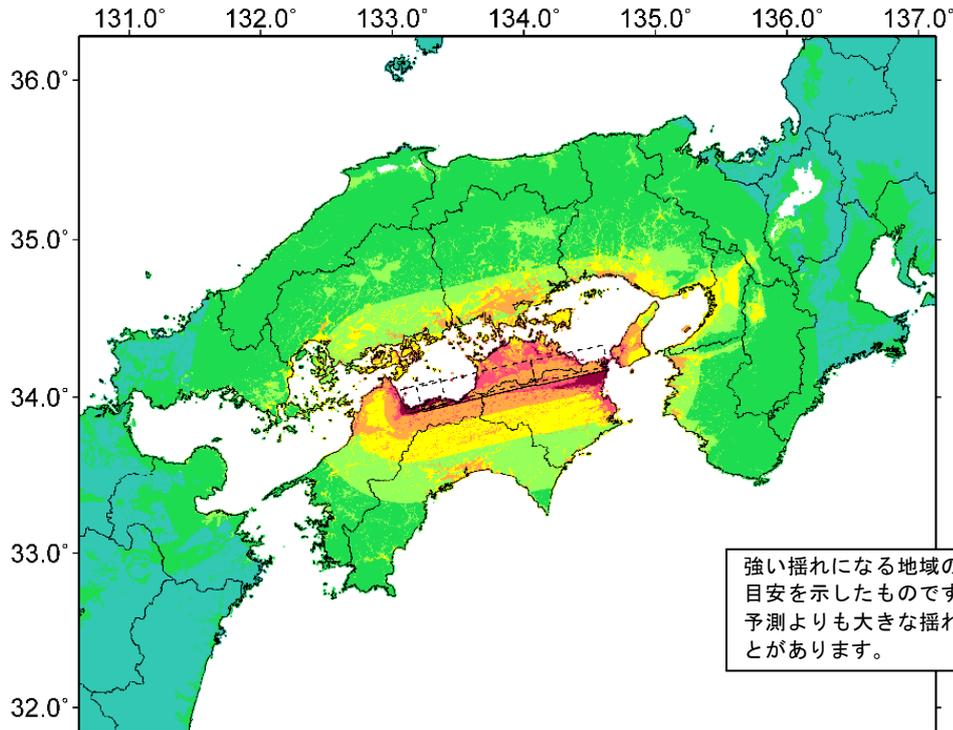
強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。



**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

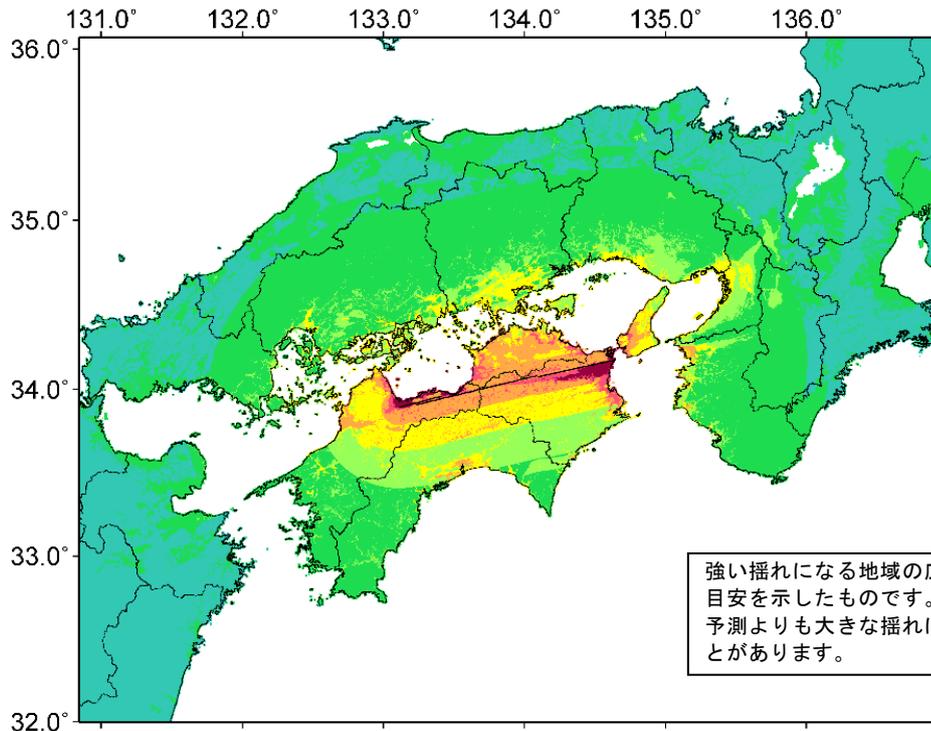
【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑤－⑦同時活動】

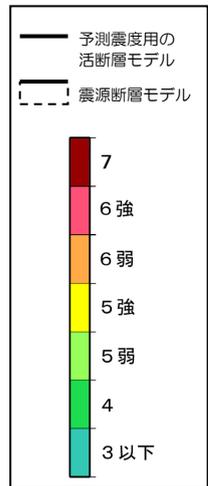


強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

中央構造線断層帯（高角度）【区間⑤－⑦同時活動】



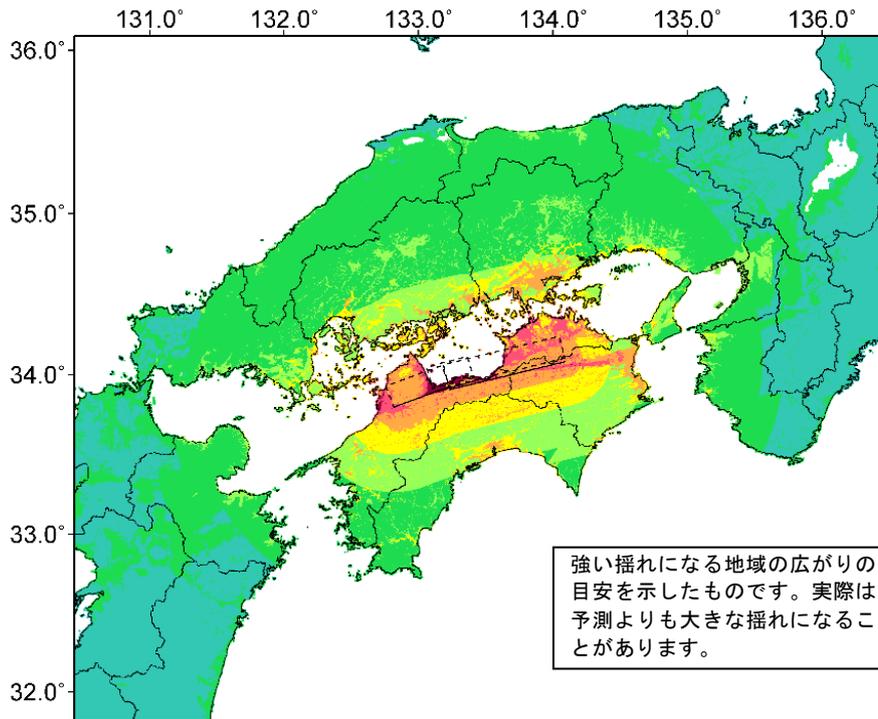
強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。



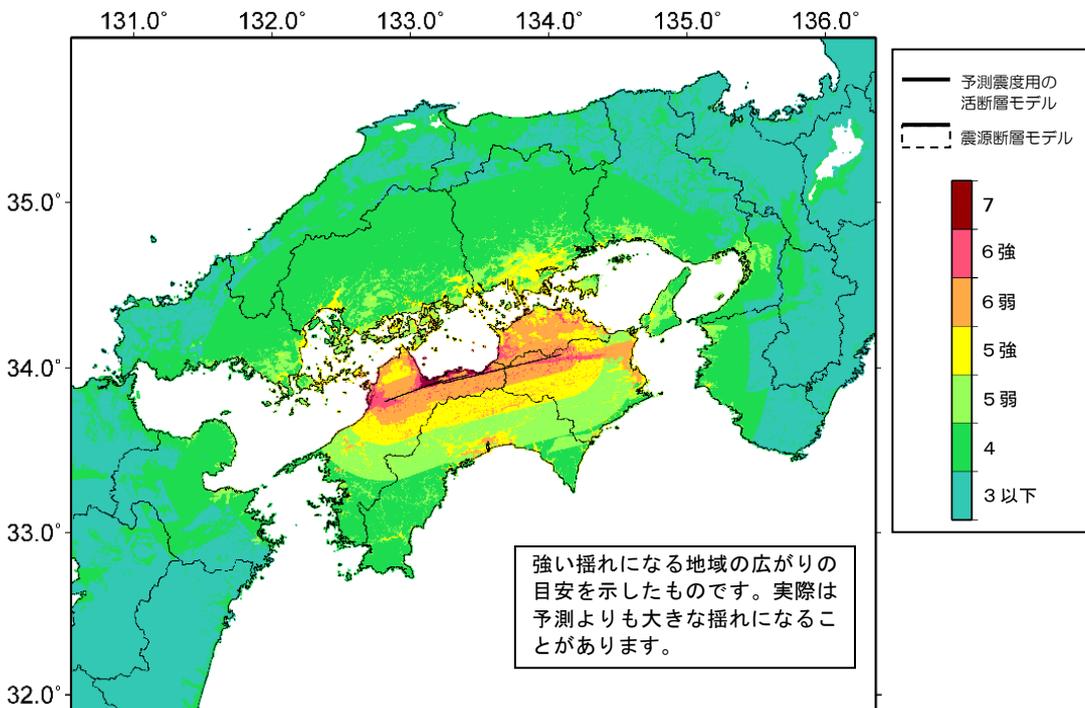
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑥－⑧同時活動】



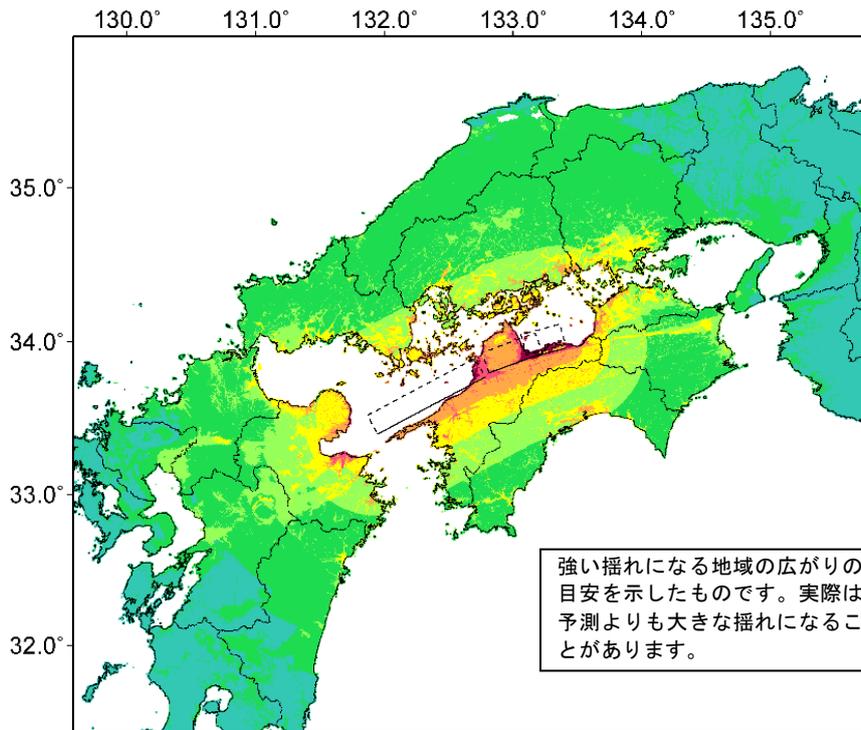
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑥－⑧同時活動】



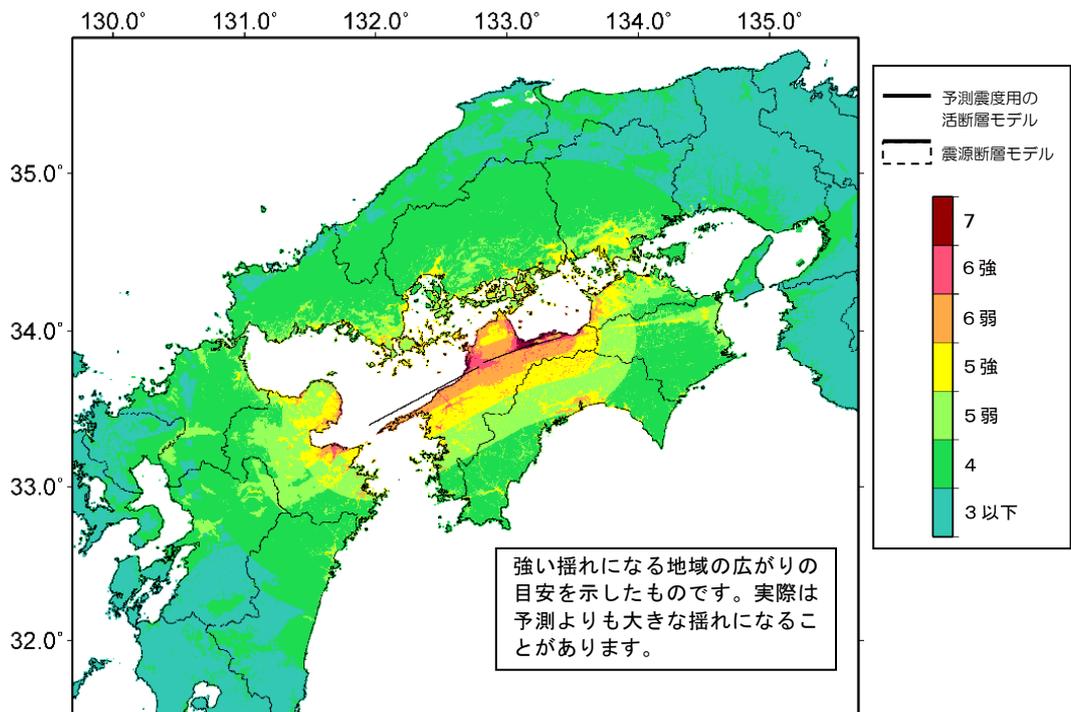
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑦-⑨同時活動】



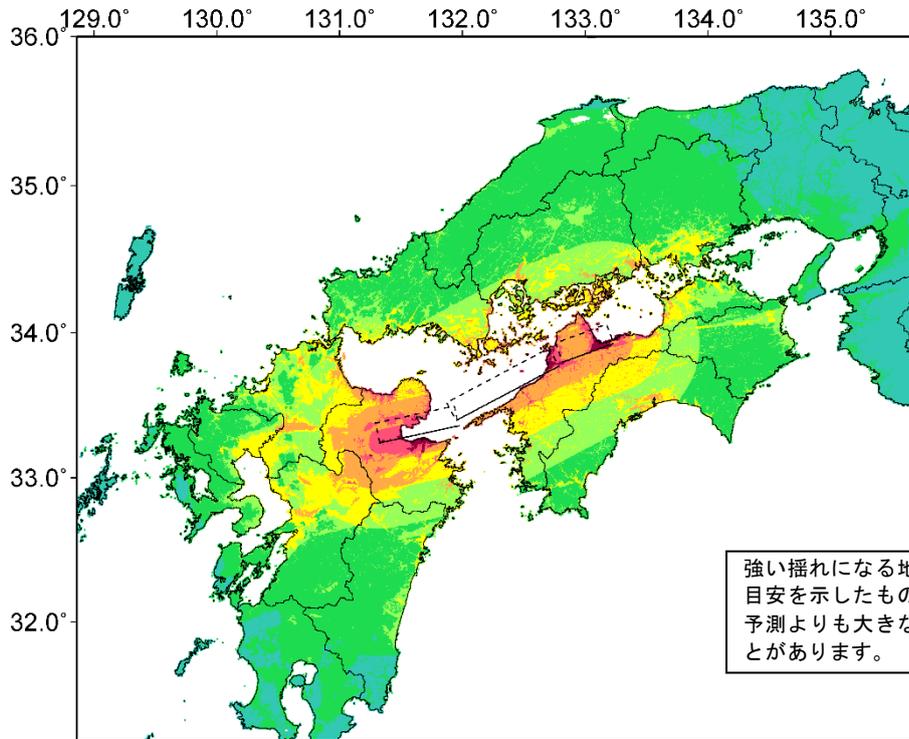
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑦-⑨同時活動】



**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

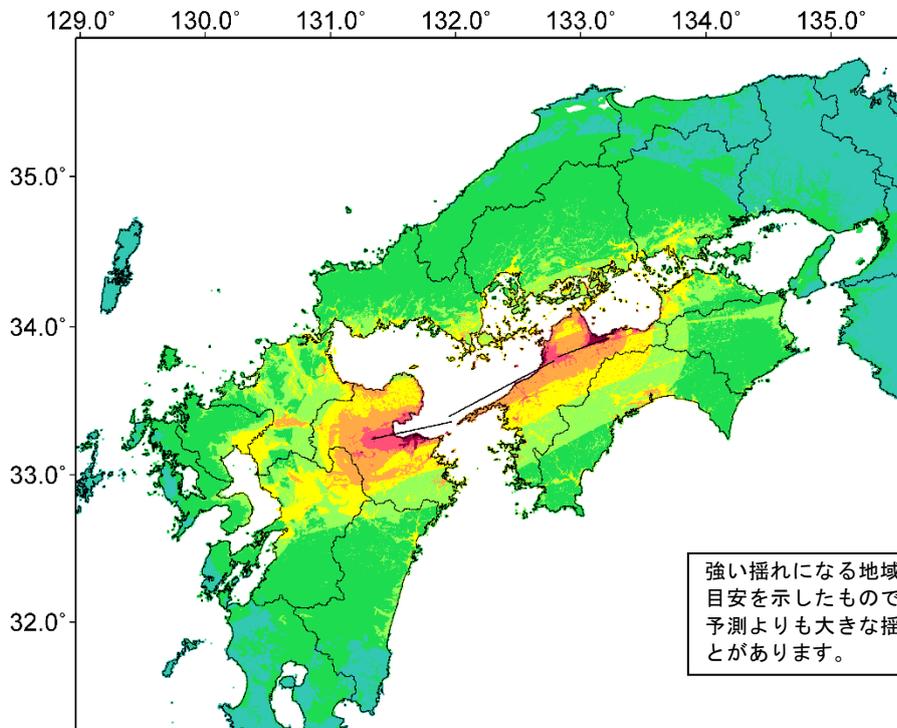
【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑧－⑩同時活動】

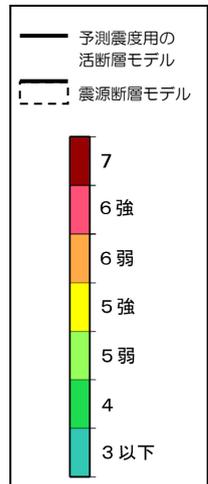


強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

中央構造線断層帯（高角度）【区間⑧－⑩同時活動】



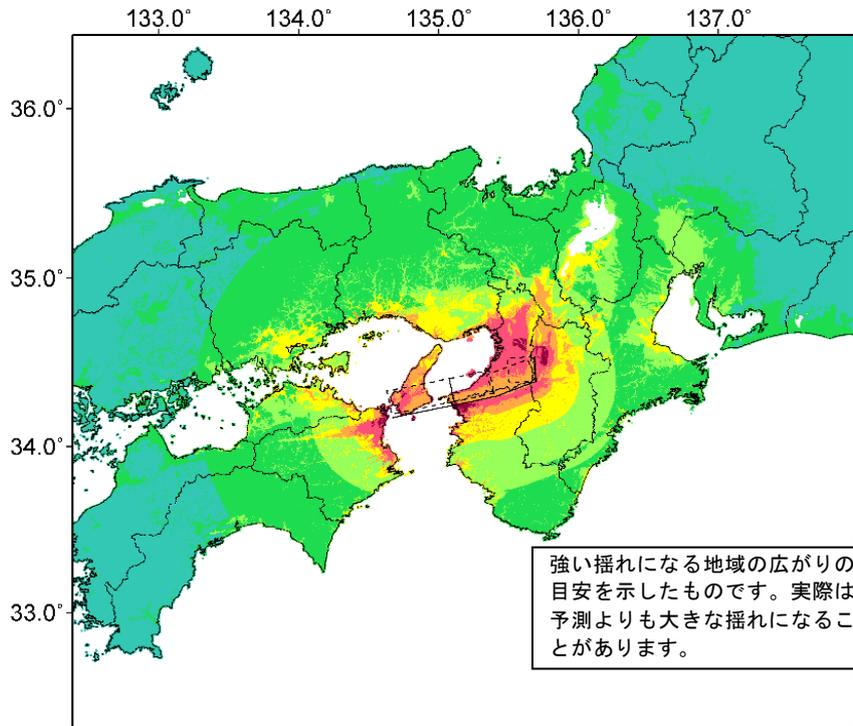
強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。



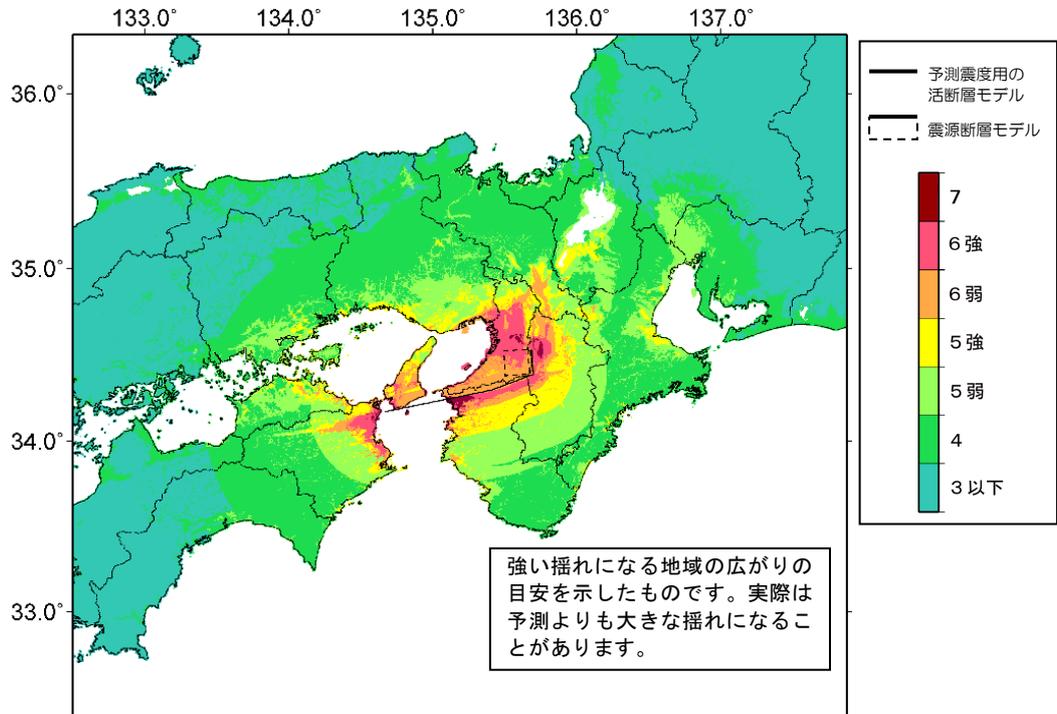
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間①－④同時活動】



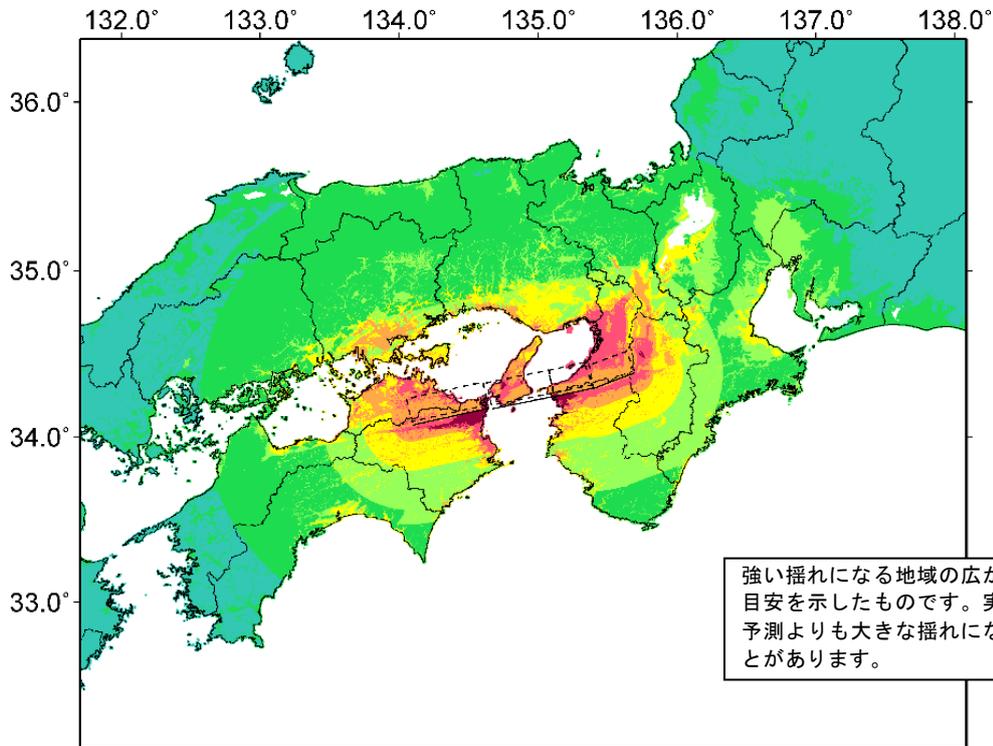
中央構造線断層帯（高角度）【区間①－④同時活動】



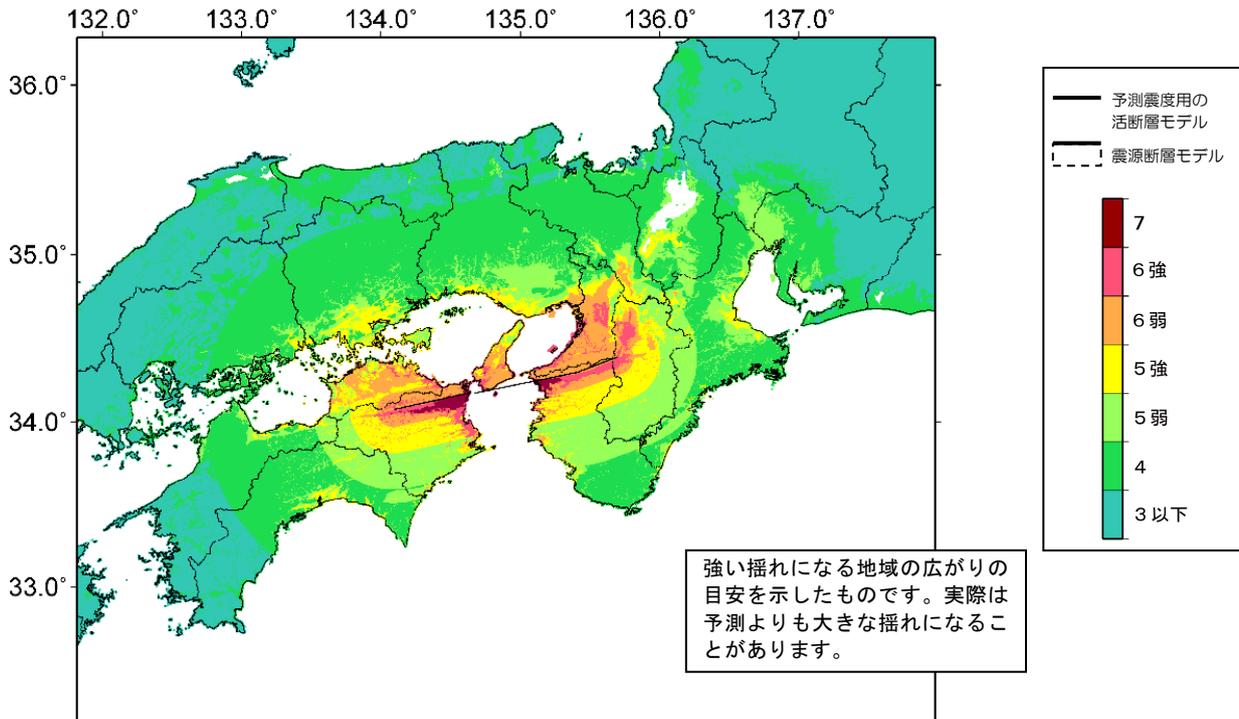
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間②-⑤同時活動】



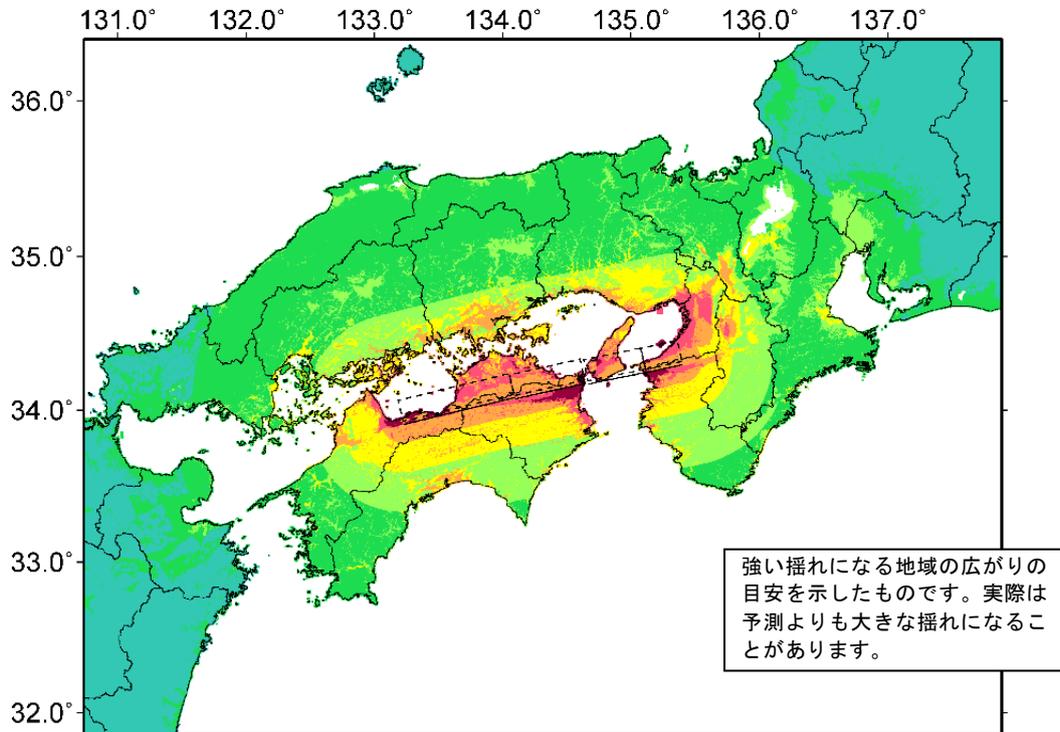
中央構造線断層帯（高角度）【区間②-⑤同時活動】



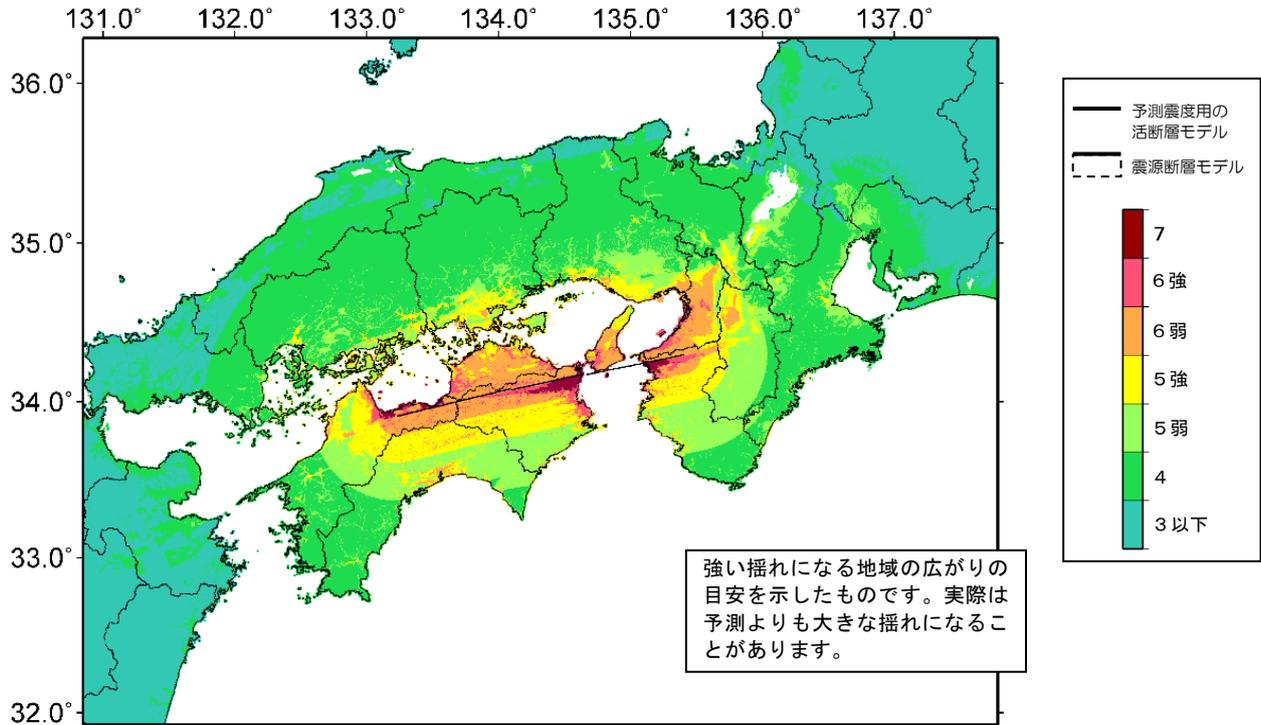
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間③－⑥同時活動】



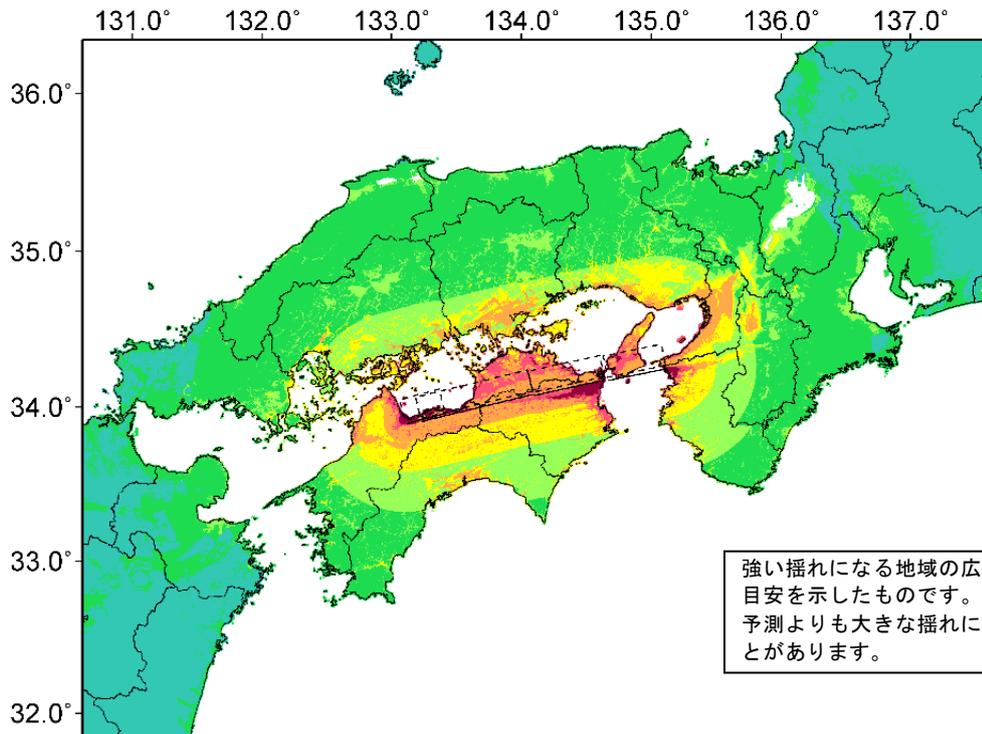
中央構造線断層帯（高角度）【区間③－⑥同時活動】



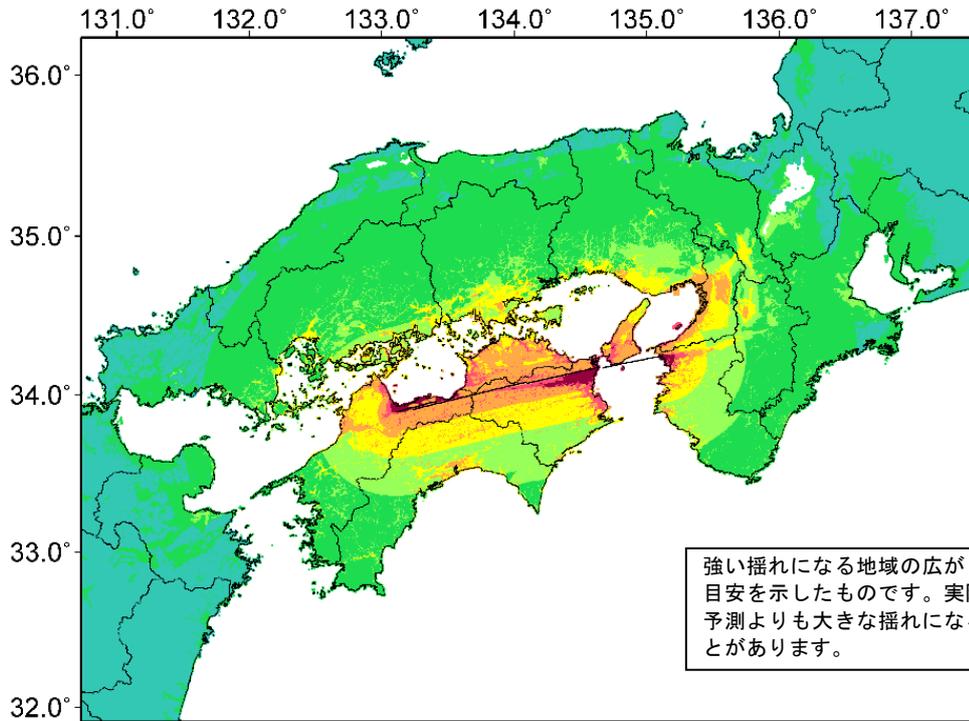
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間④－⑦同時活動】



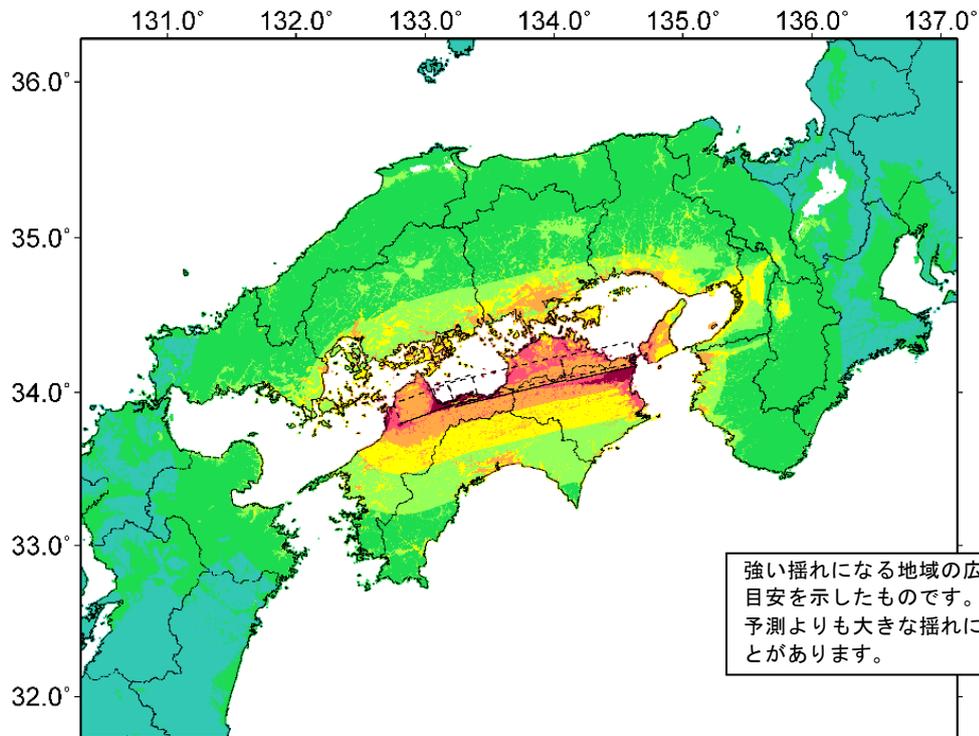
中央構造線断層帯（高角度）【区間④－⑦同時活動】



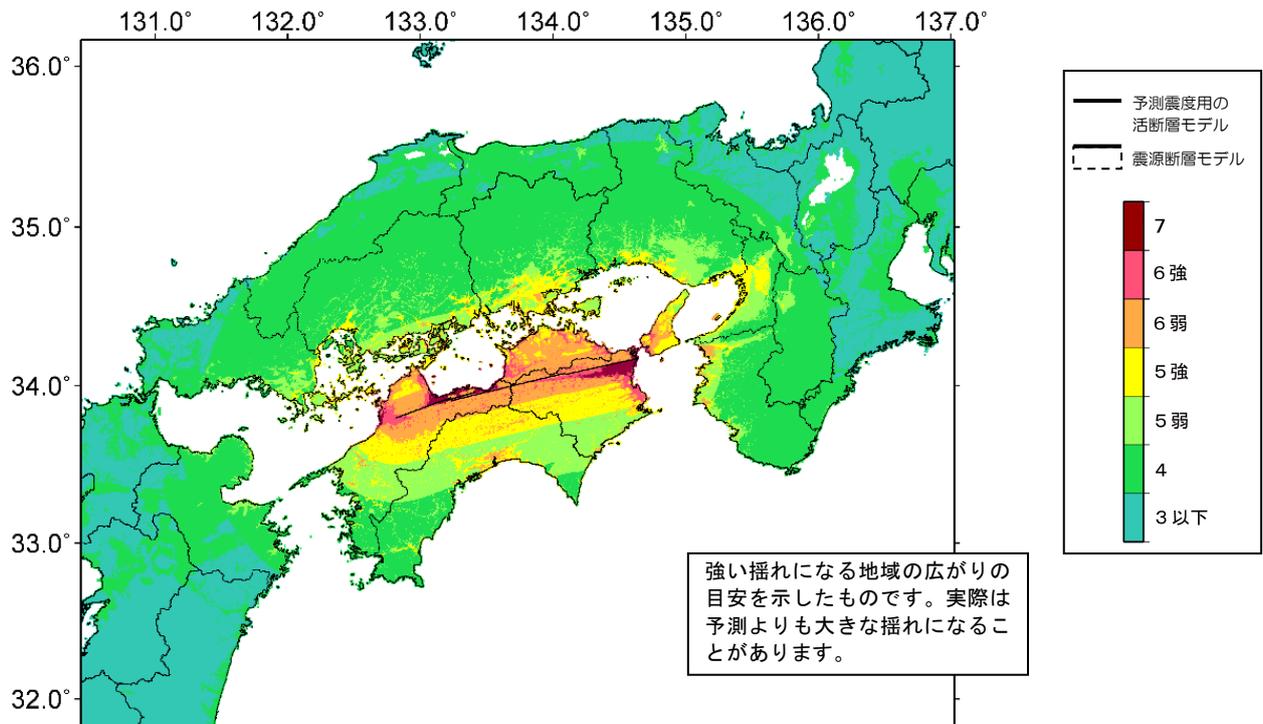
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑤－⑧同時活動】



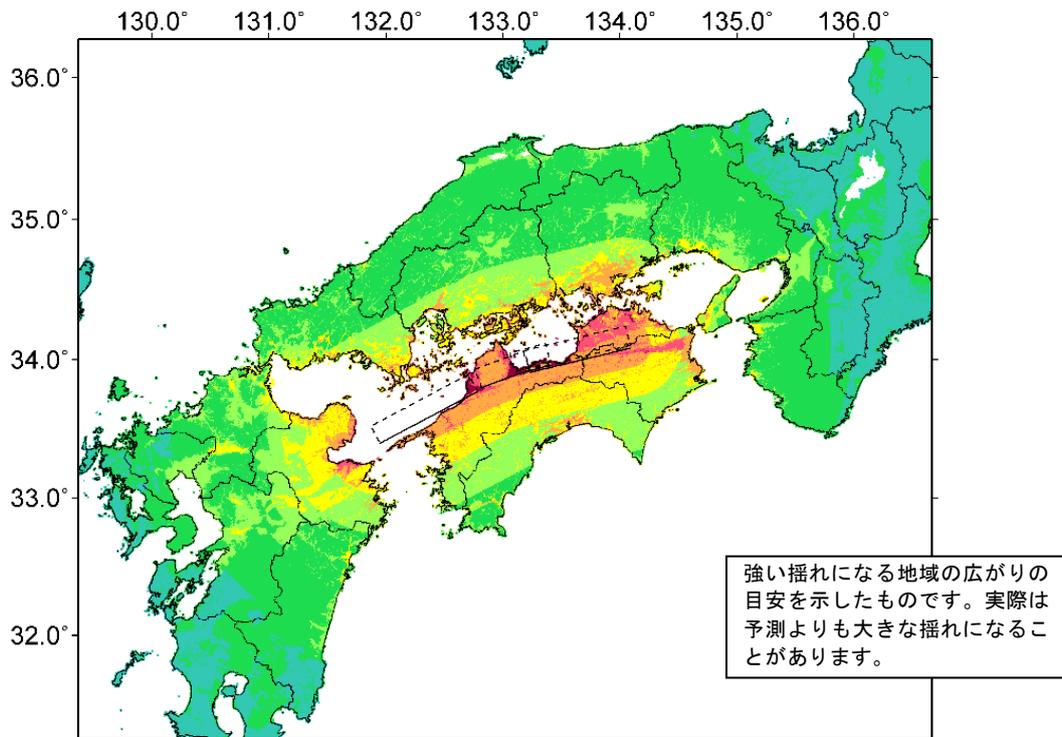
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑤－⑧同時活動】



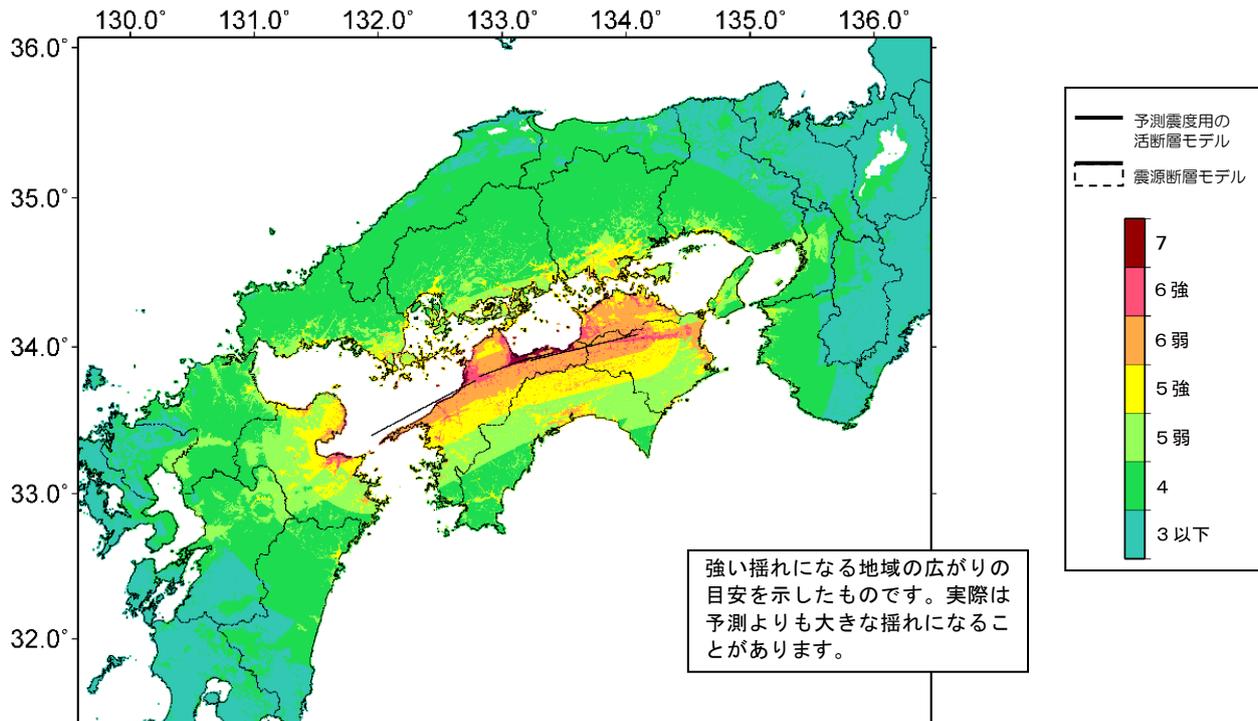
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑥-⑨同時活動】



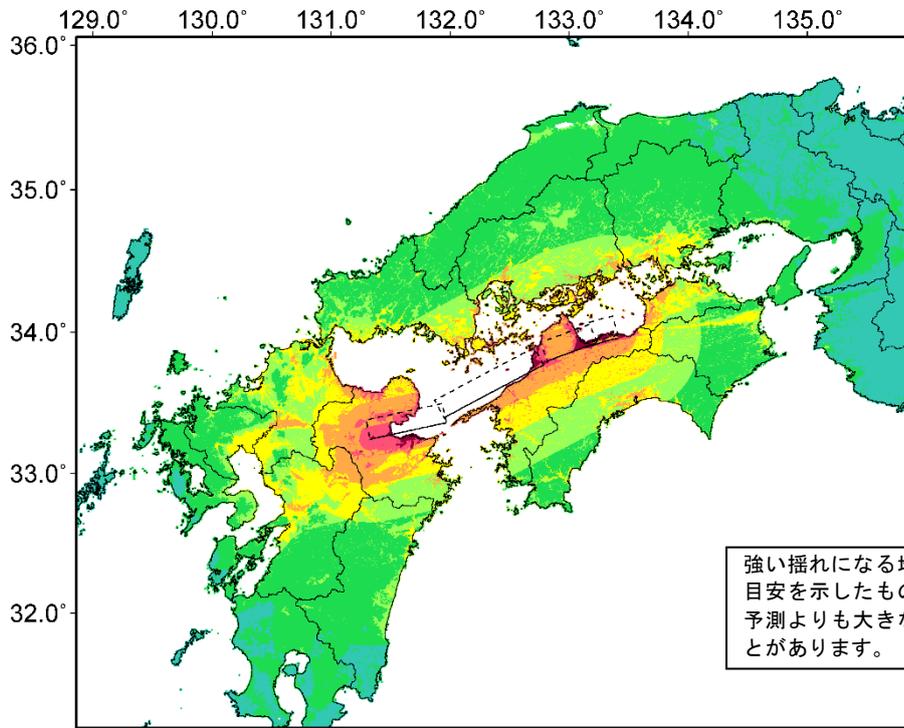
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑥-⑨同時活動】



**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

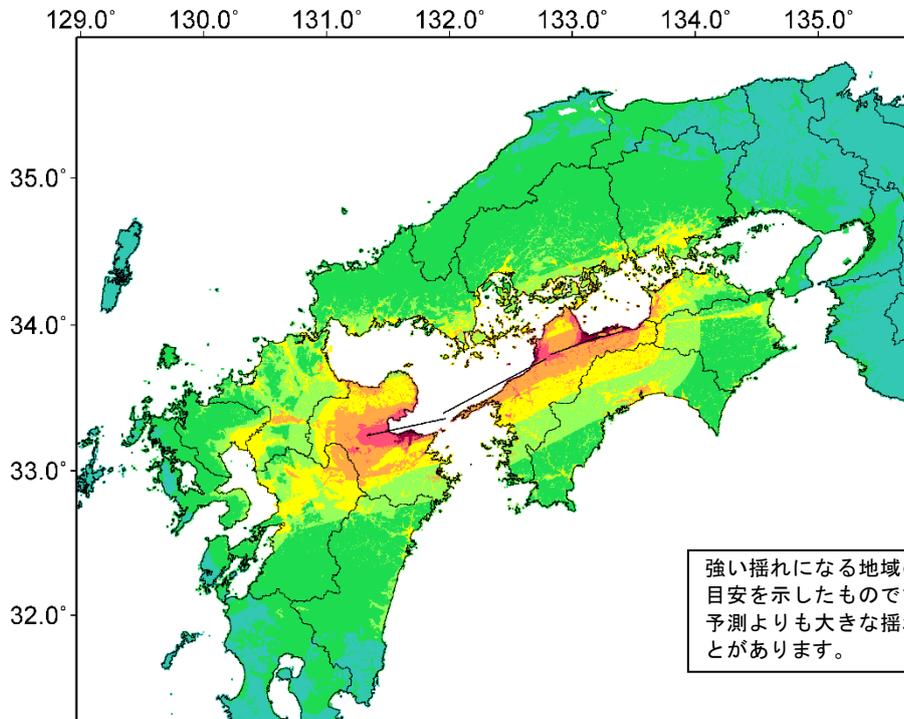
【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑦-⑩同時活動】

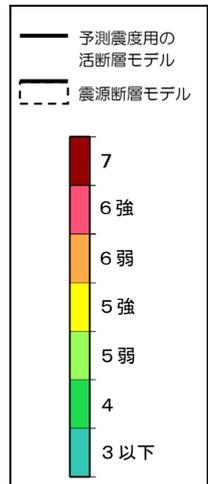


強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

中央構造線断層帯（高角度）【区間⑦-⑩同時活動】



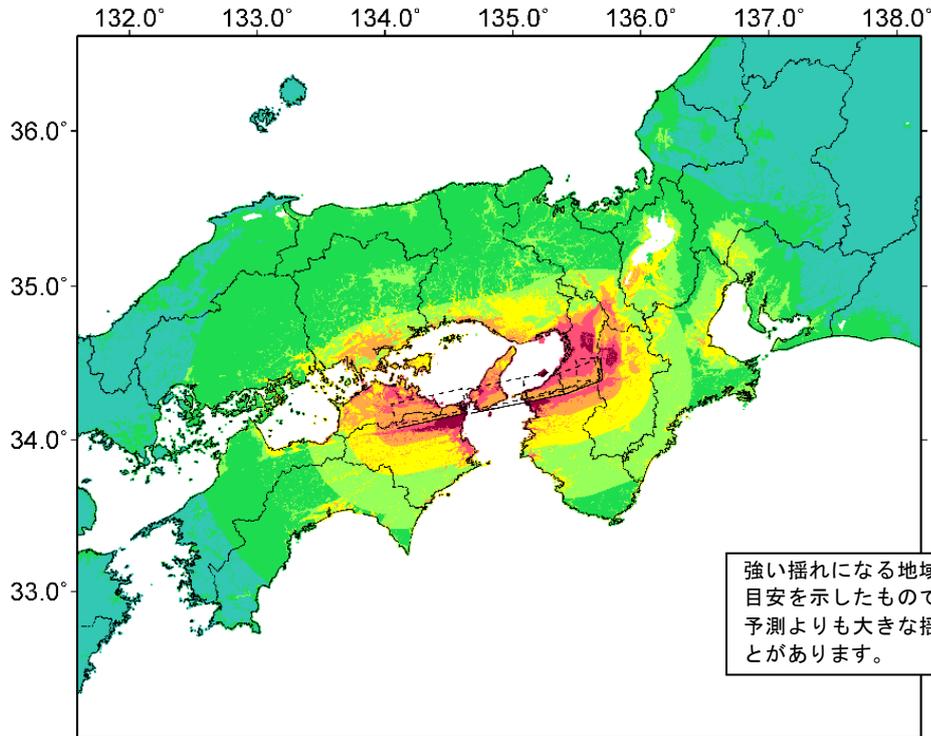
強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。



**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

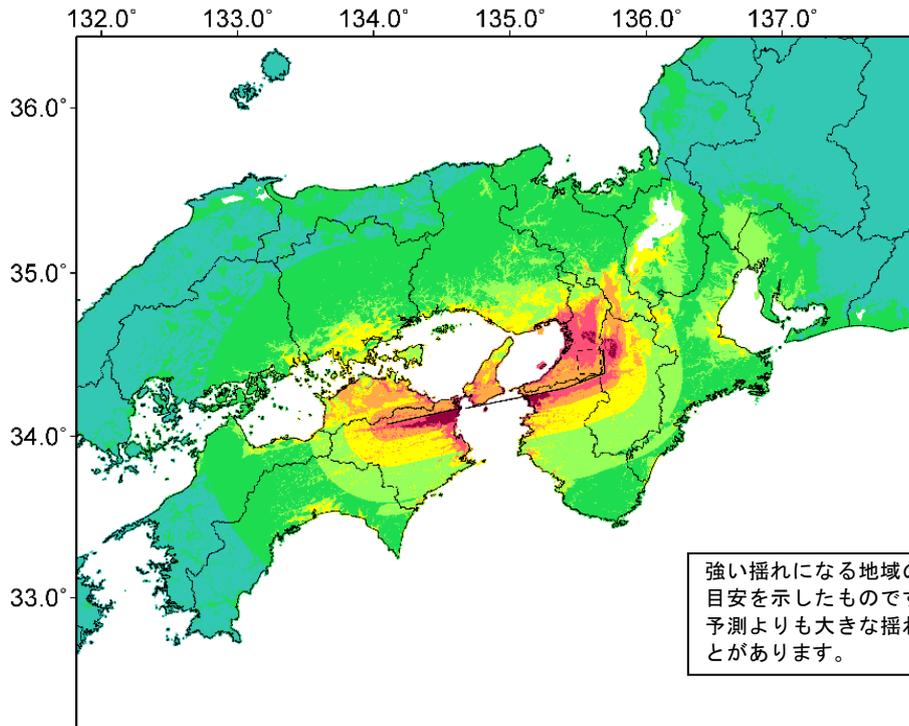
【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間①－⑤同時活動】

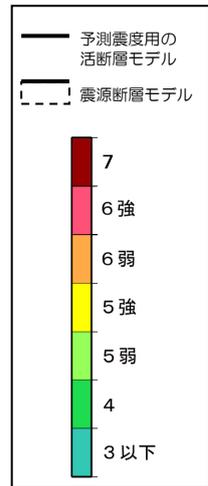


強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

中央構造線断層帯（高角度）【区間①－⑤同時活動】



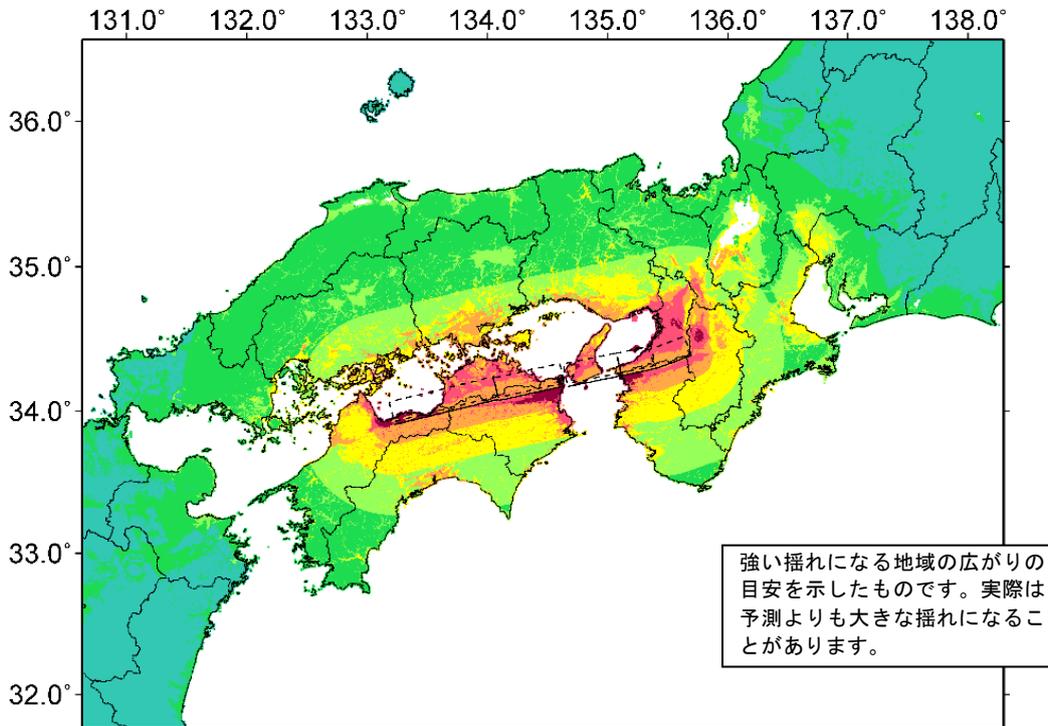
強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。



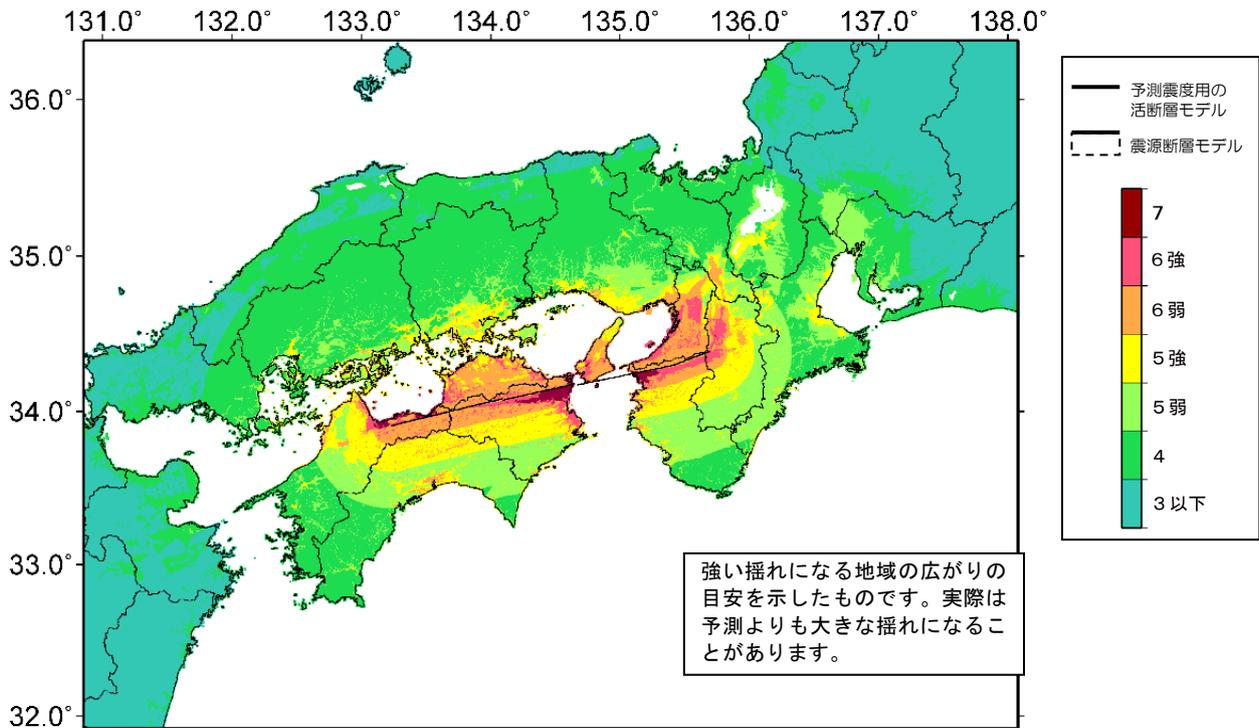
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間②-⑥同時活動】



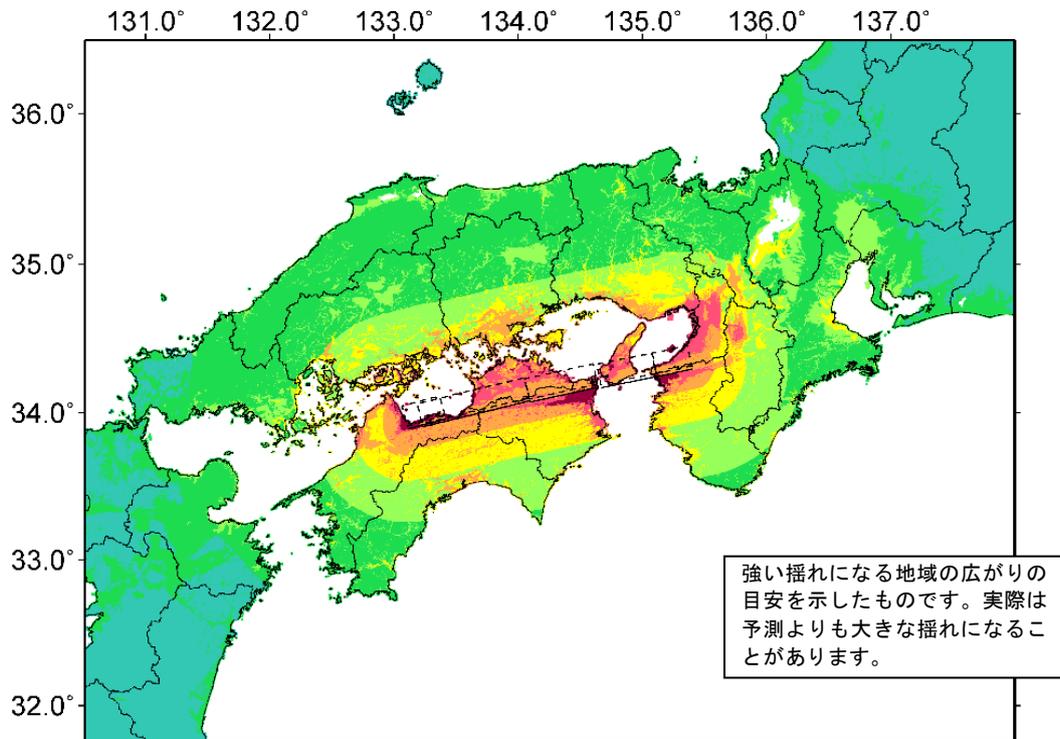
中央構造線断層帯（高角度）【区間②-⑥同時活動】



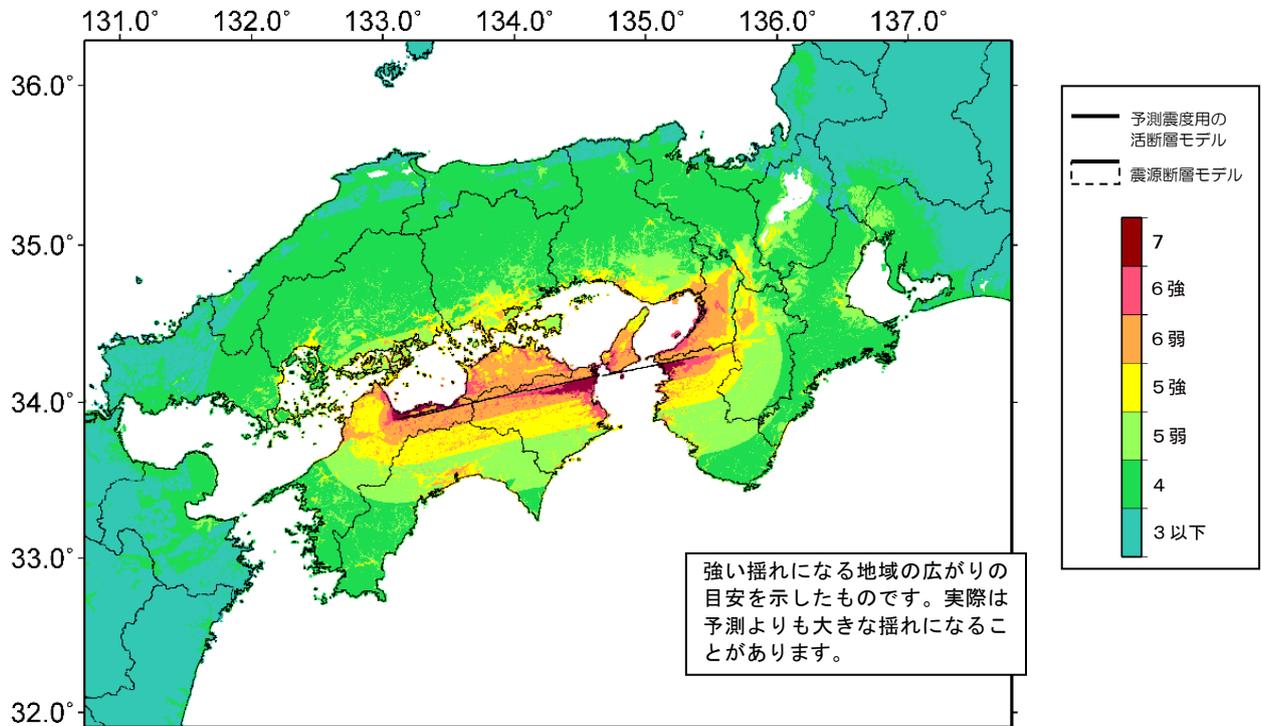
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
 震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間③-⑦同時活動】



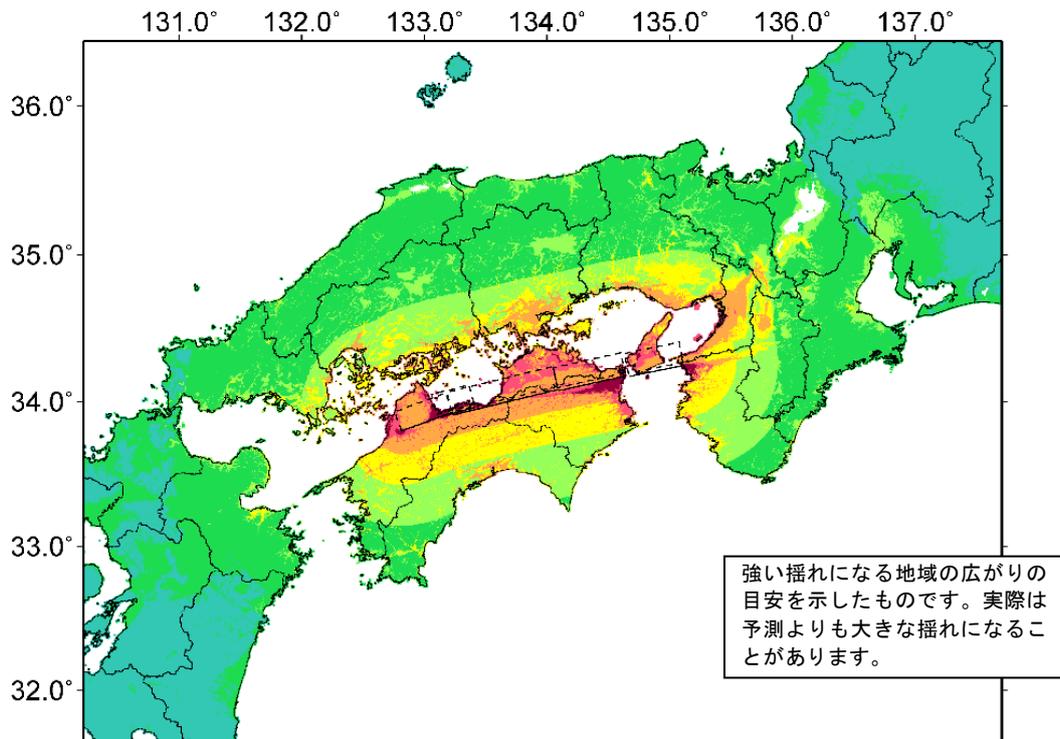
中央構造線断層帯（高角度）【区間③-⑦同時活動】



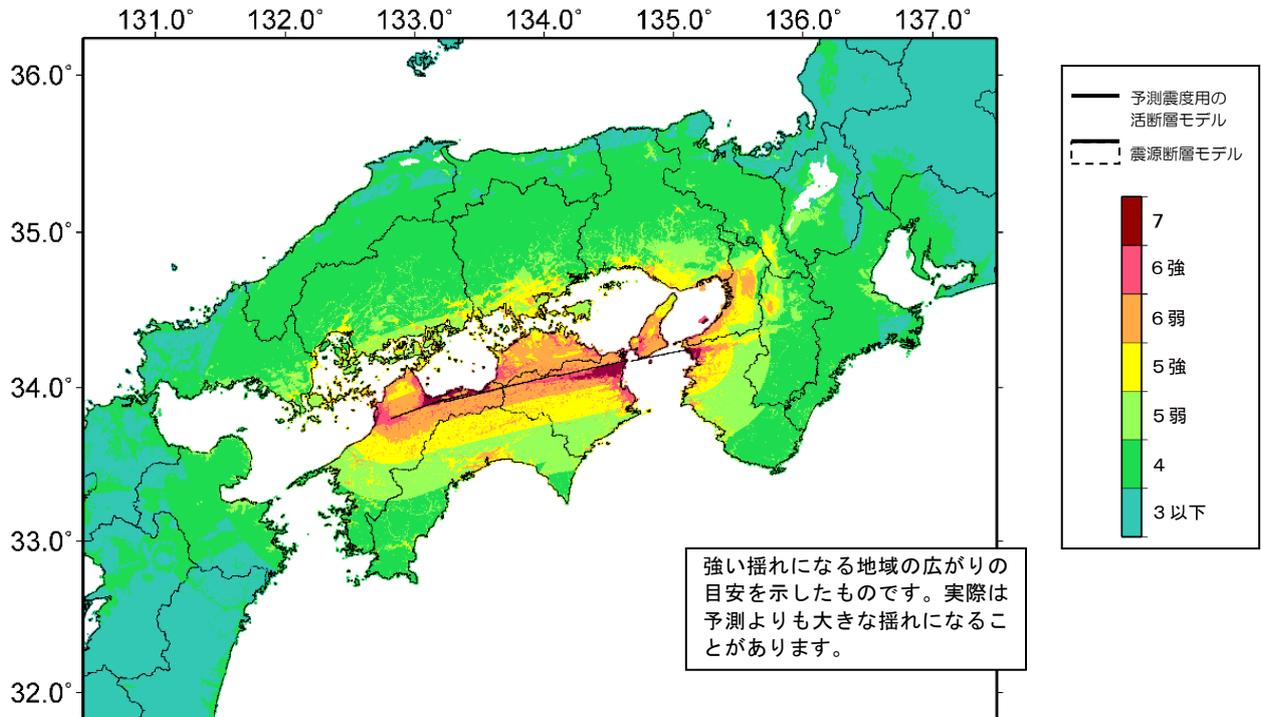
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間④－⑧同時活動】



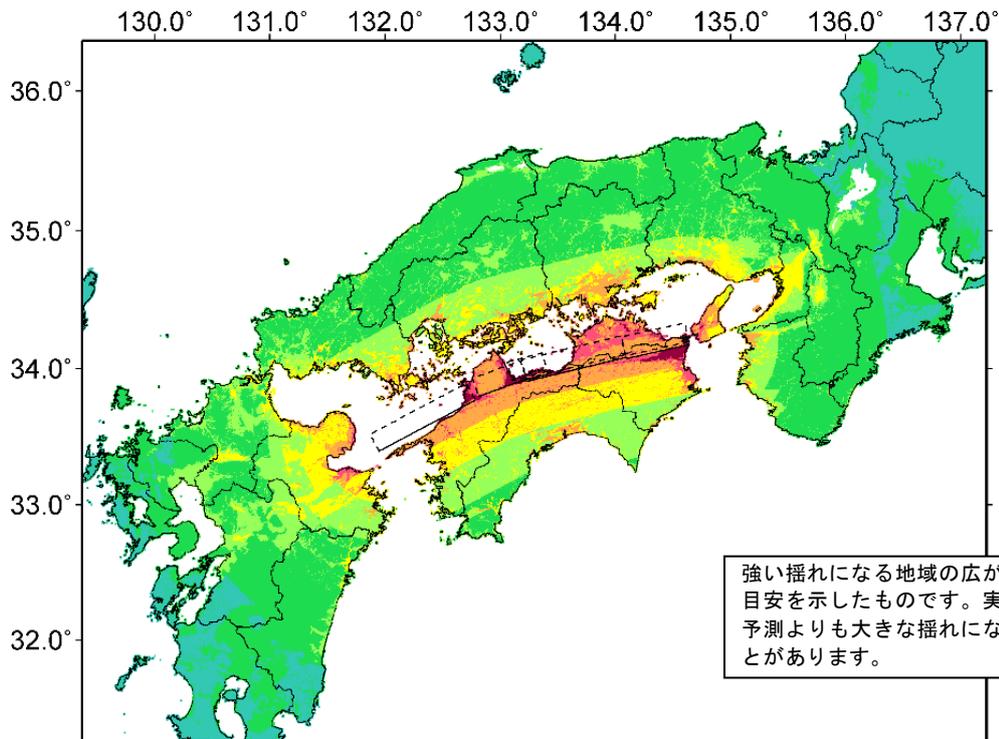
中央構造線断層帯（高角度）【区間④－⑧同時活動】



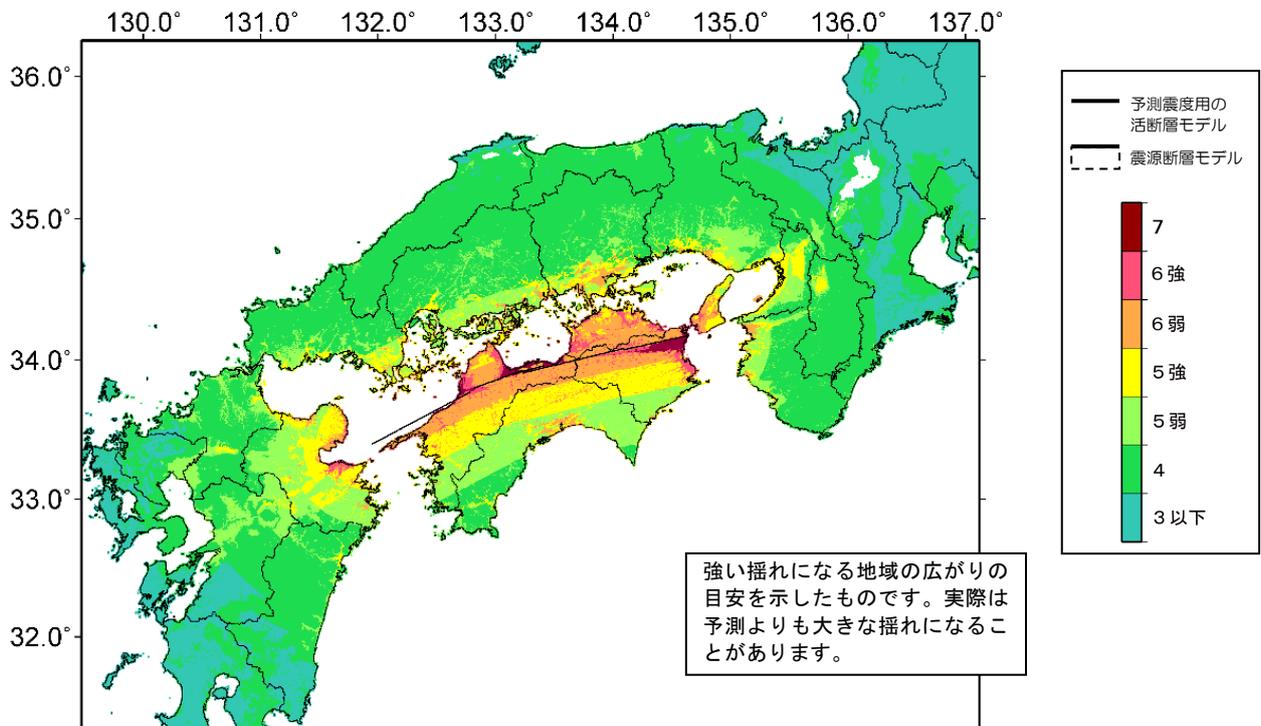
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
 震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑤-⑨同時活動】



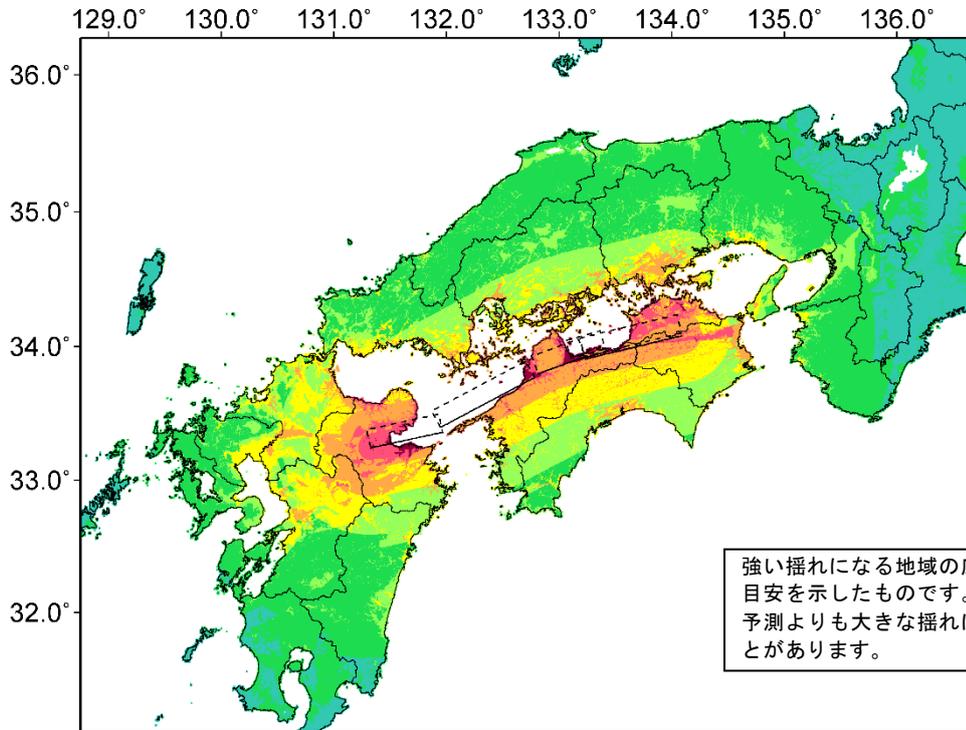
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑤-⑨同時活動】



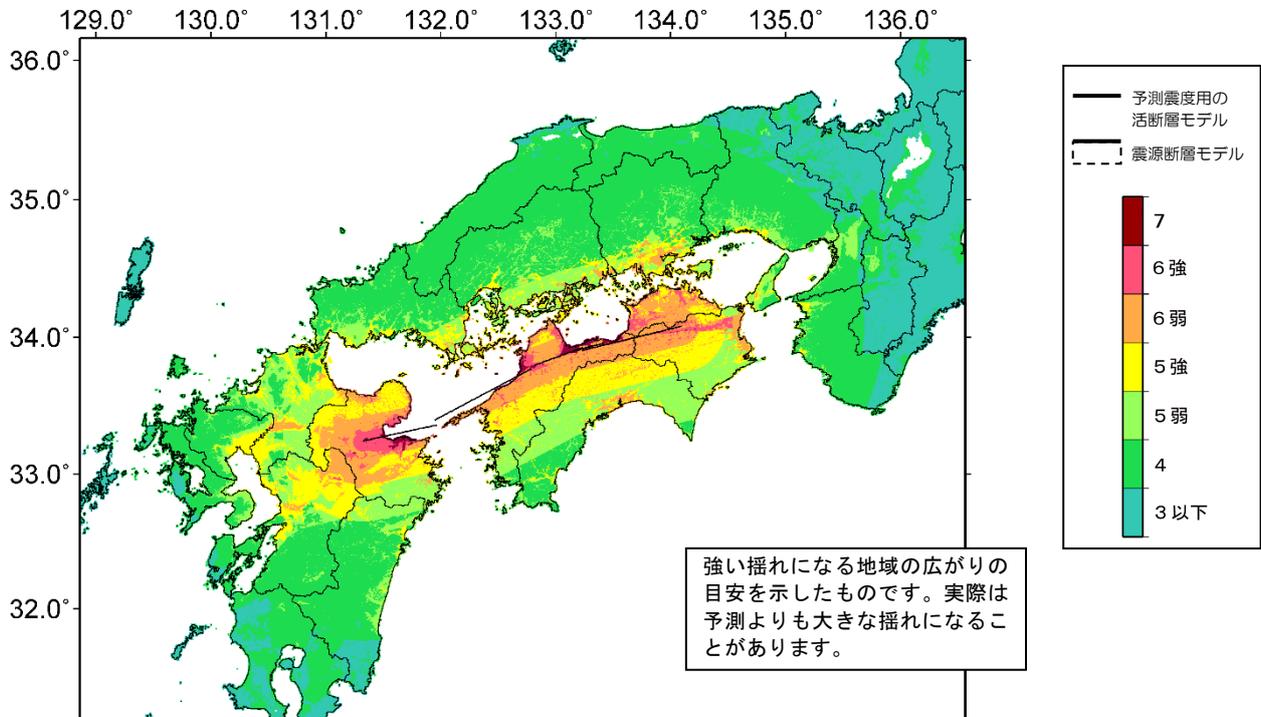
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
 震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑥-⑩同時活動】



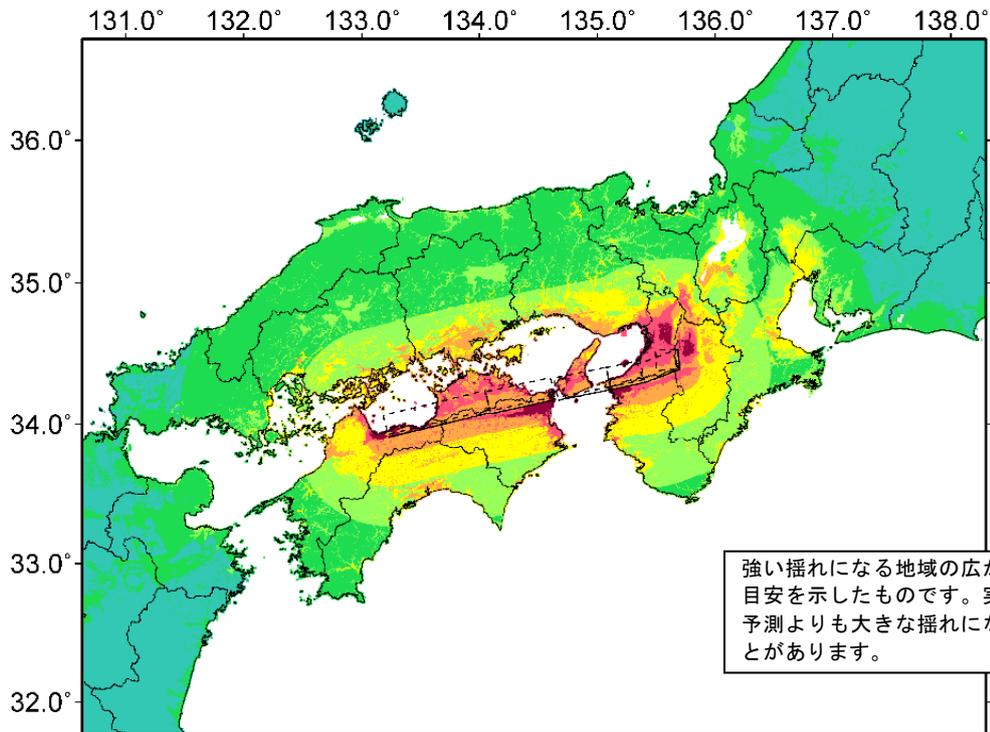
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑥-⑩同時活動】



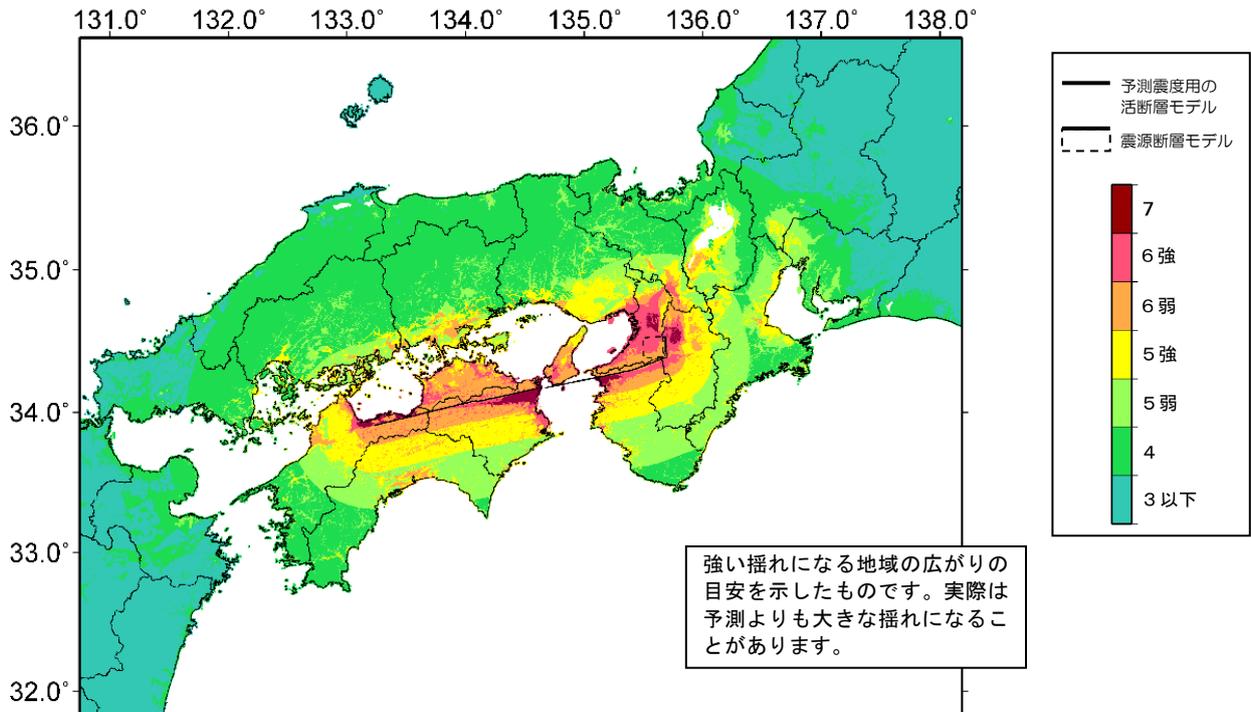
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間①－⑥同時活動】



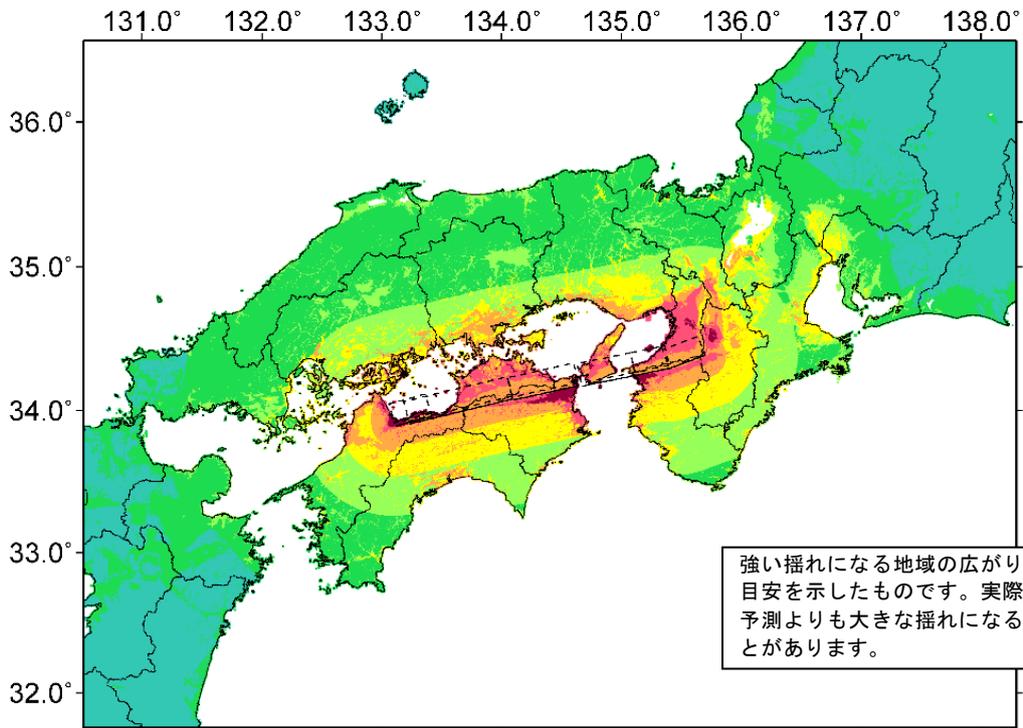
中央構造線断層帯（高角度）【区間①－⑥同時活動】



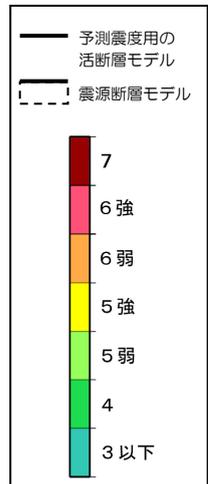
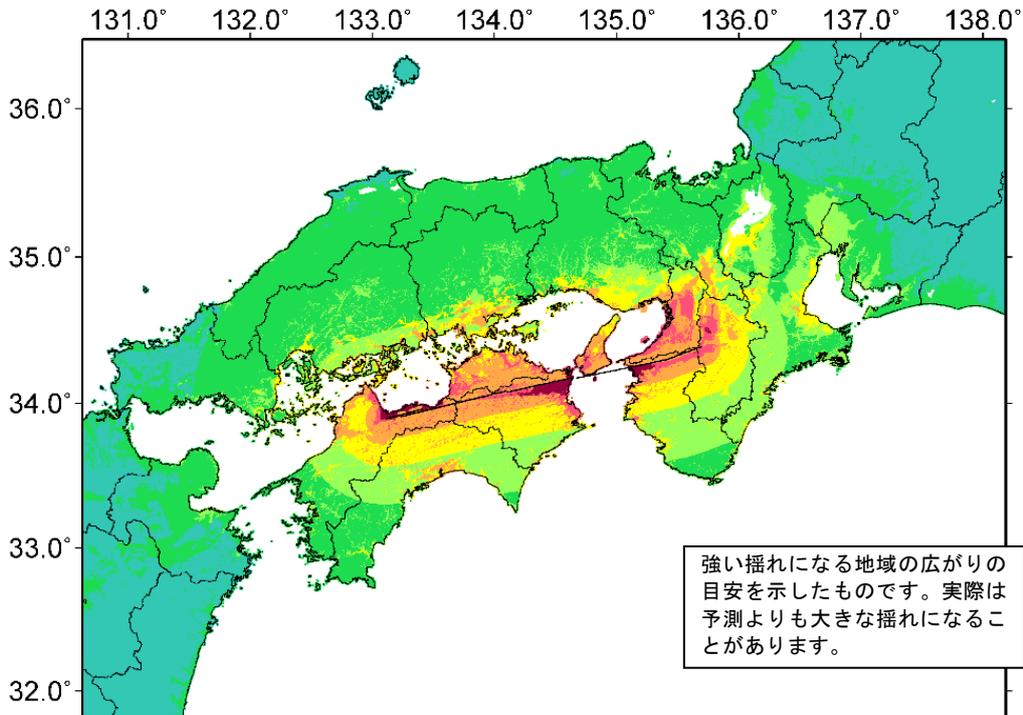
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間②-⑦同時活動】



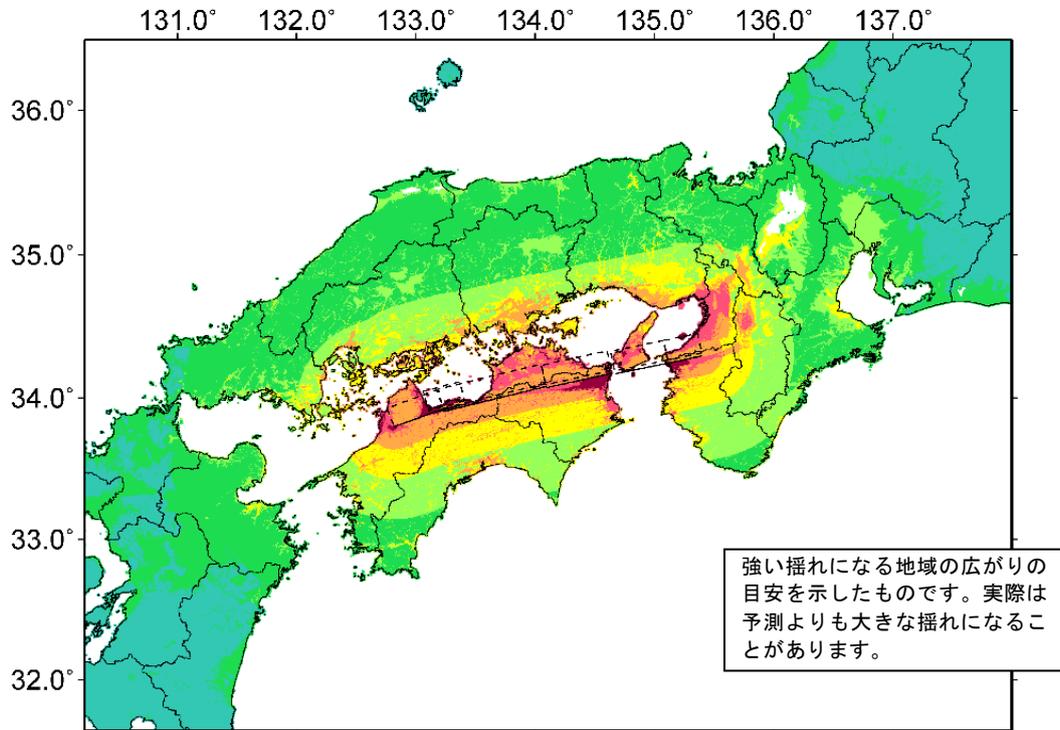
中央構造線断層帯（高角度）【区間②-⑦同時活動】



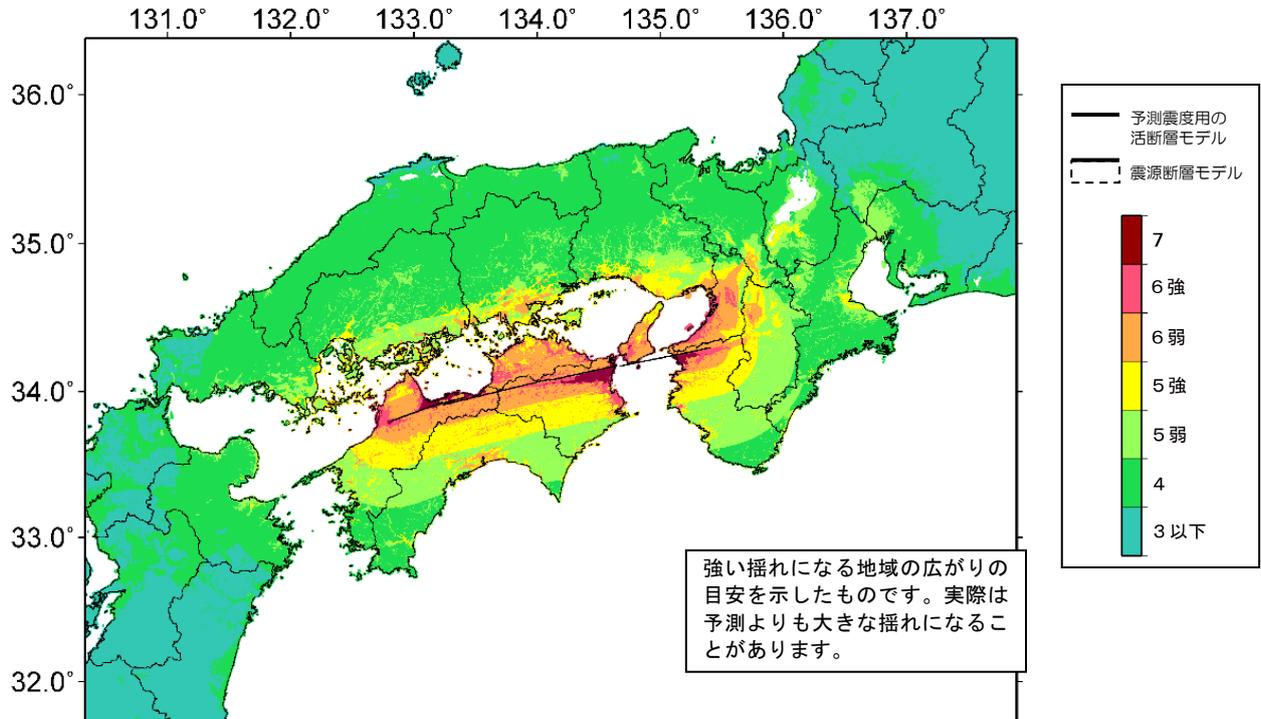
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間③－⑧同時活動】



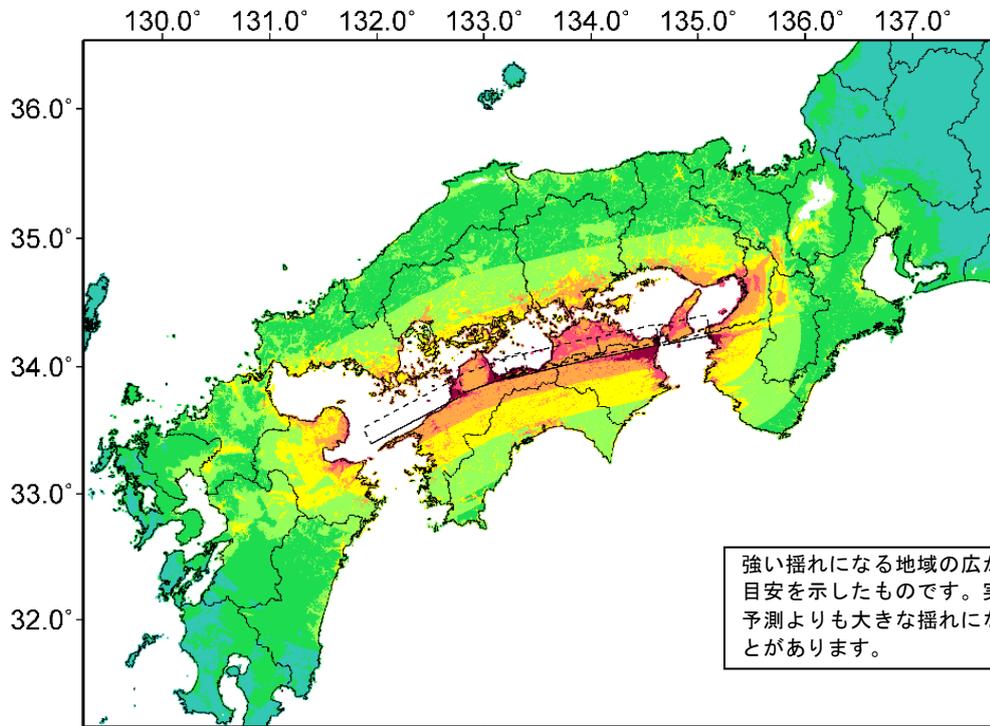
中央構造線断層帯（高角度）【区間③－⑧同時活動】



活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

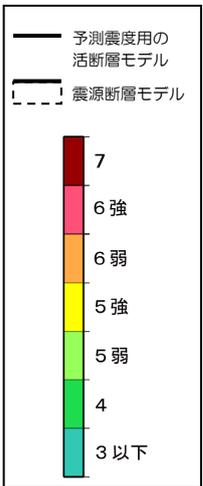
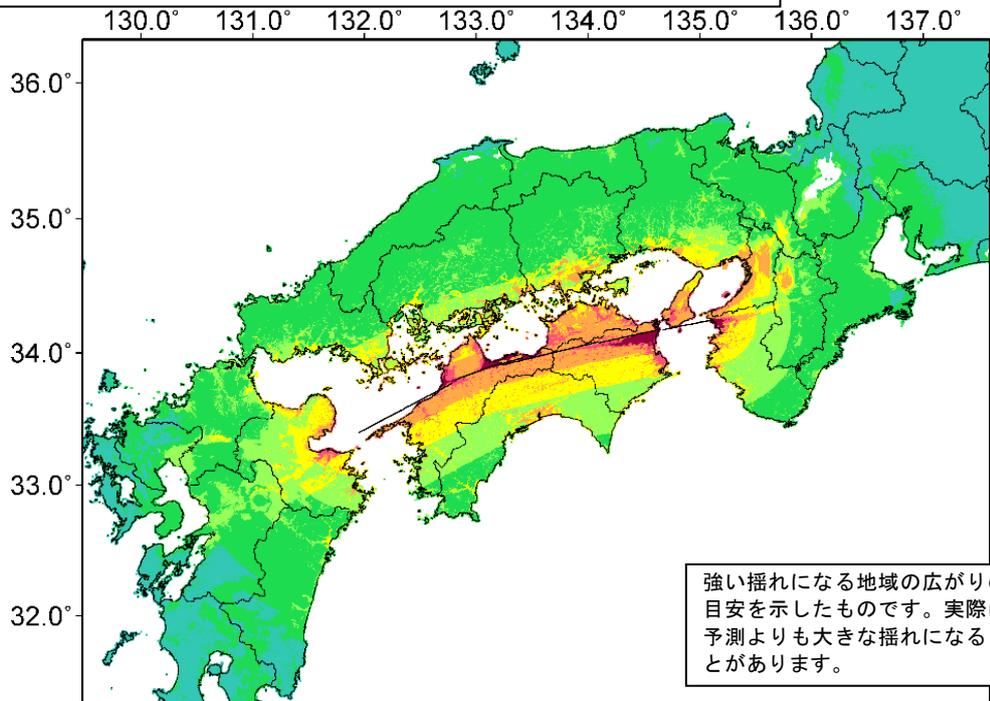
【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間④-⑨同時活動】



強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

中央構造線断層帯（高角度）【区間④-⑨同時活動】

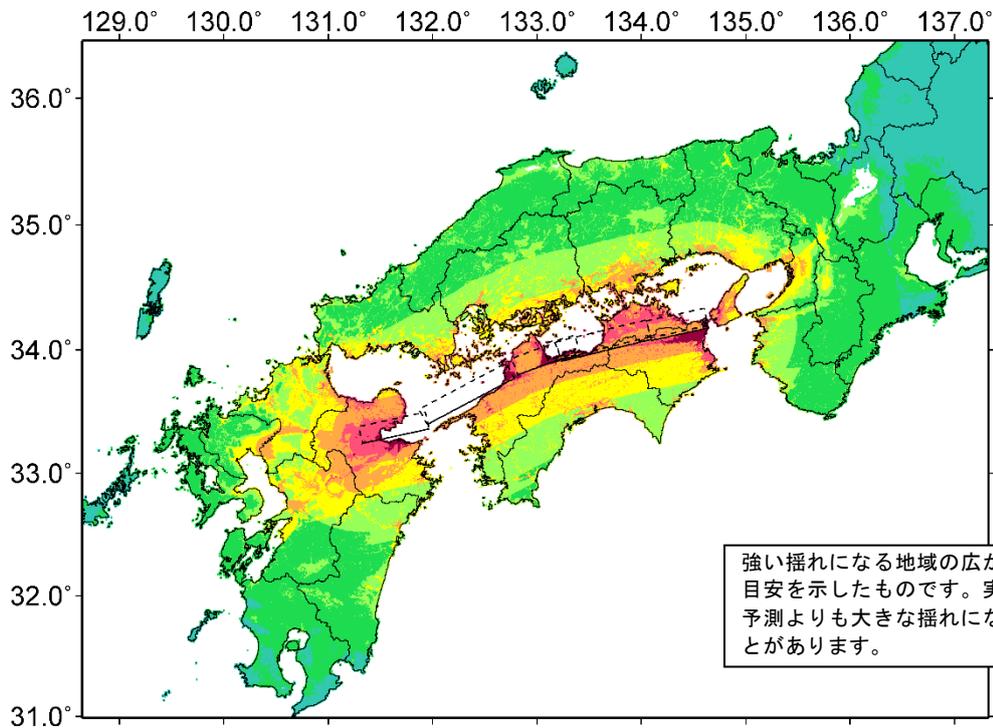


強い揺れになる地域の広がり  
の目安を示したものです。実際は  
予測よりも大きな揺れになる  
ことがあります。

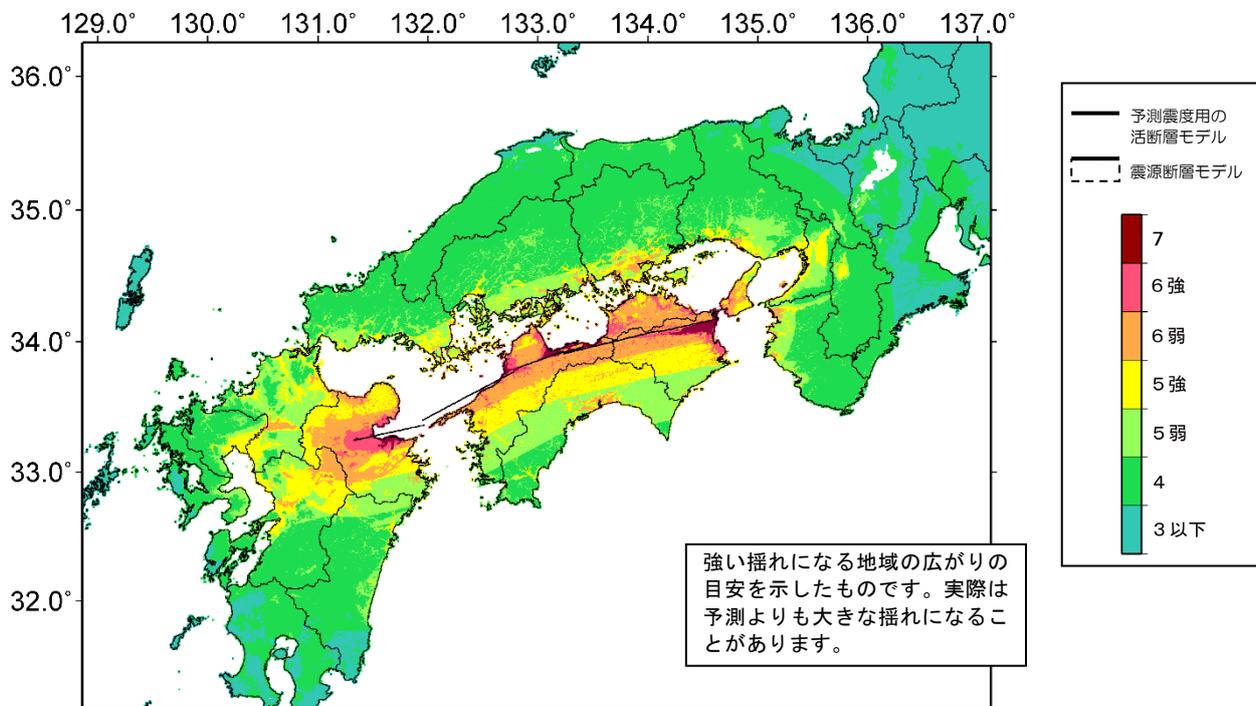
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間⑤－⑩同時活動】



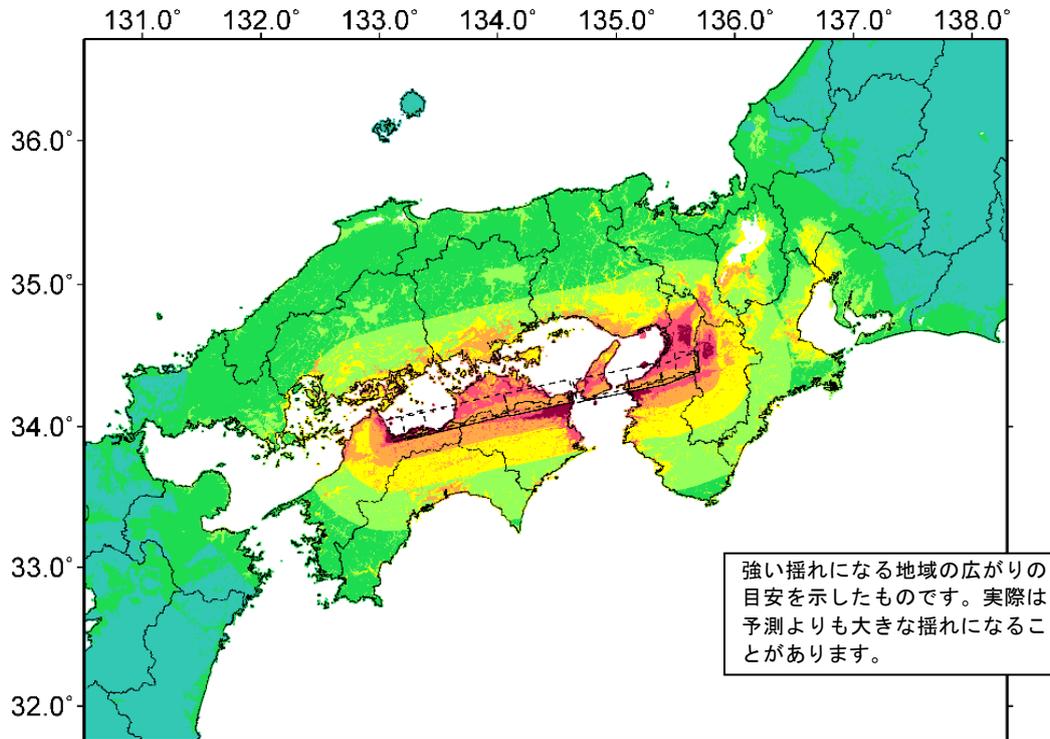
中央構造線断層帯（高角度）【区間⑤－⑩同時活動】



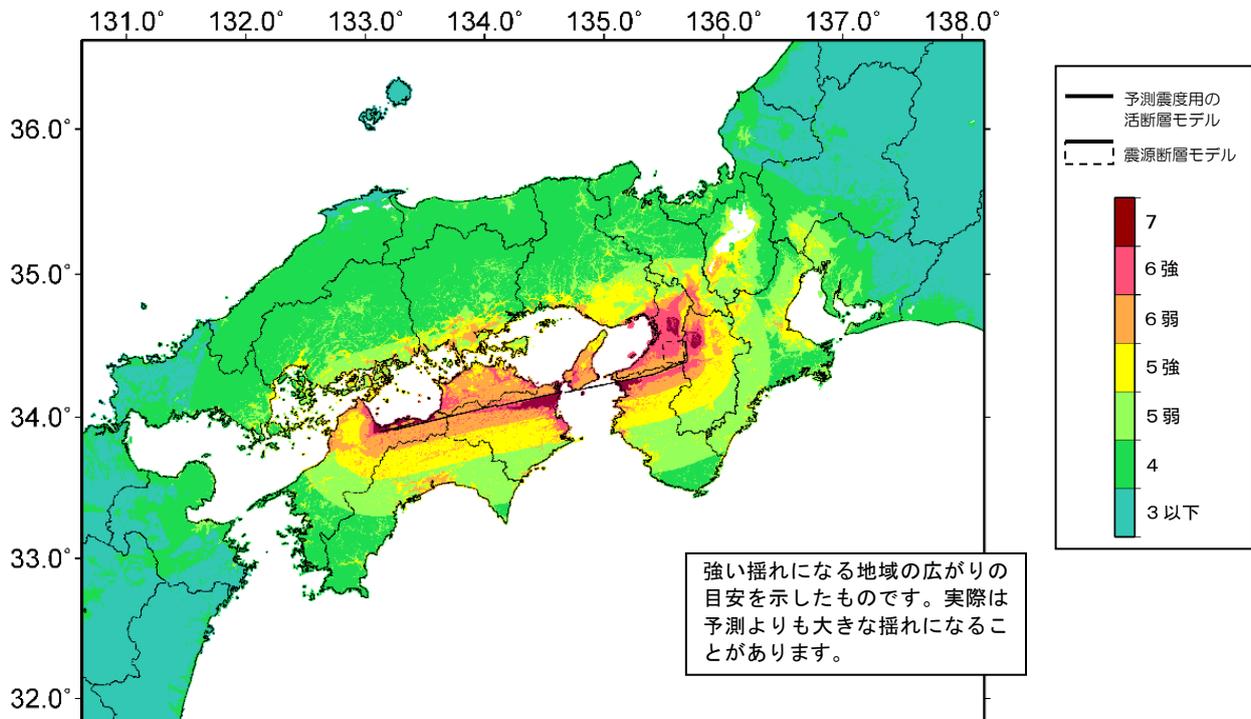
**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間①－⑦同時活動】



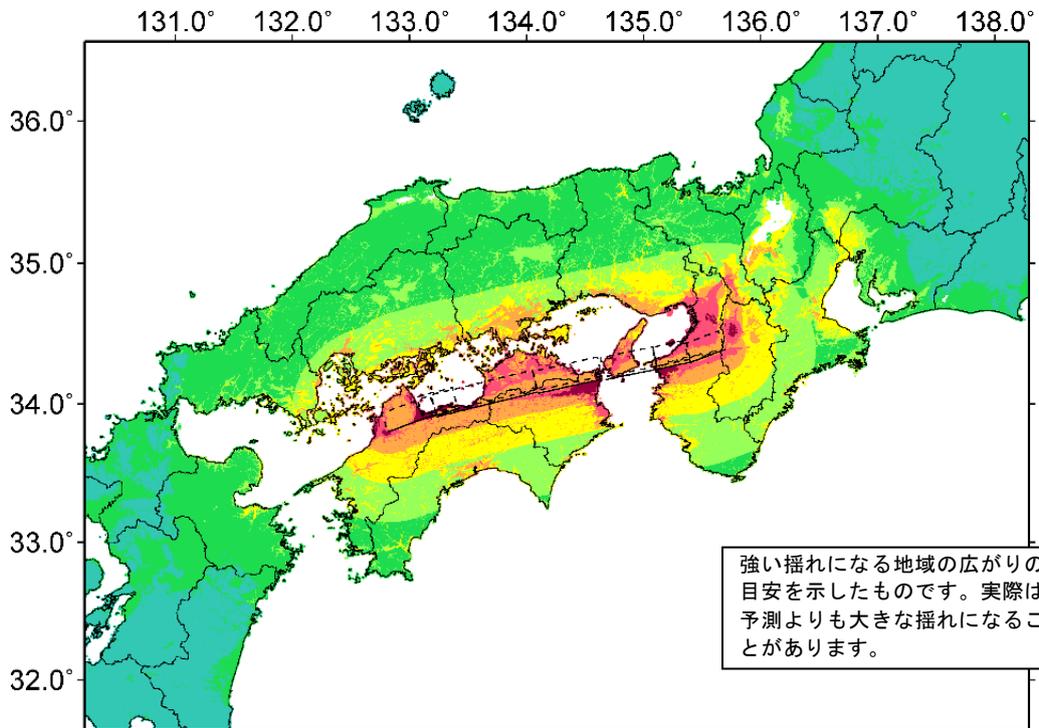
中央構造線断層帯（高角度）【区間①－⑦同時活動】



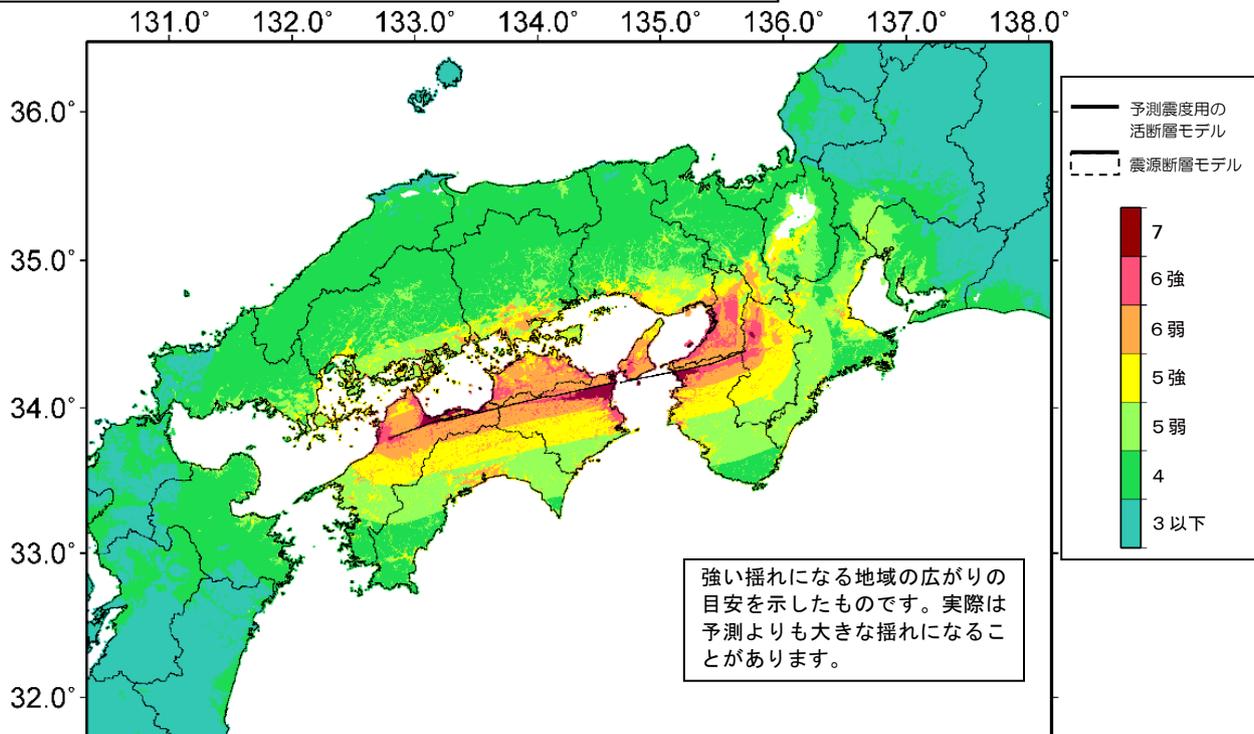
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間②-⑧同時活動】



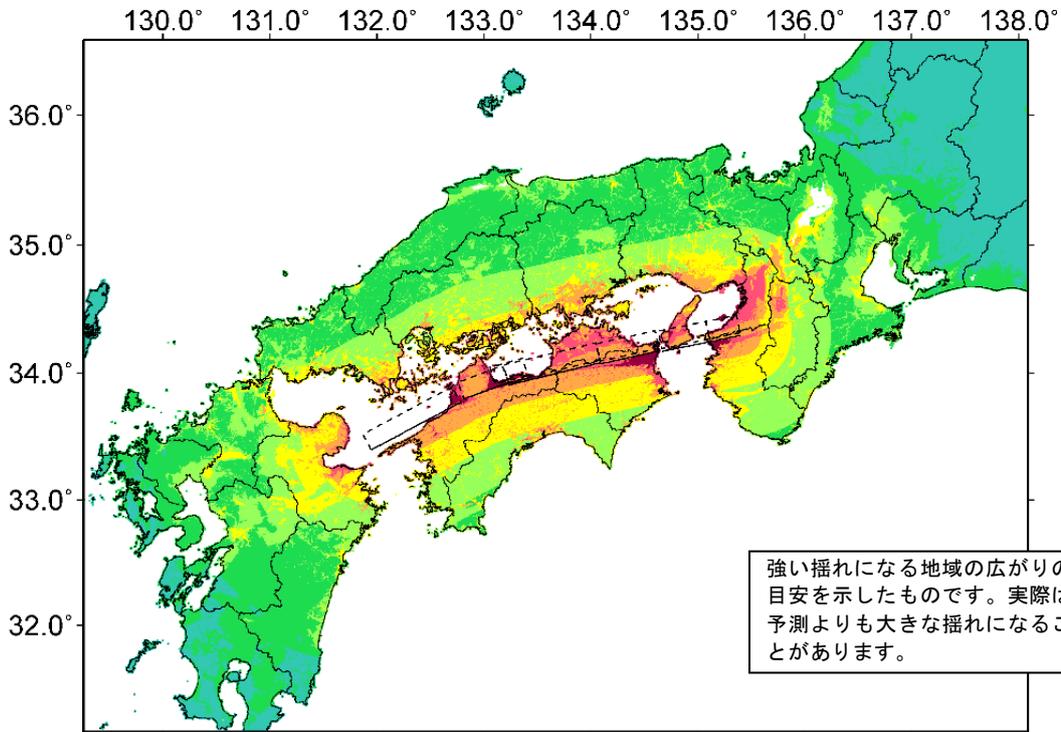
中央構造線断層帯（高角度）【区間②-⑧同時活動】



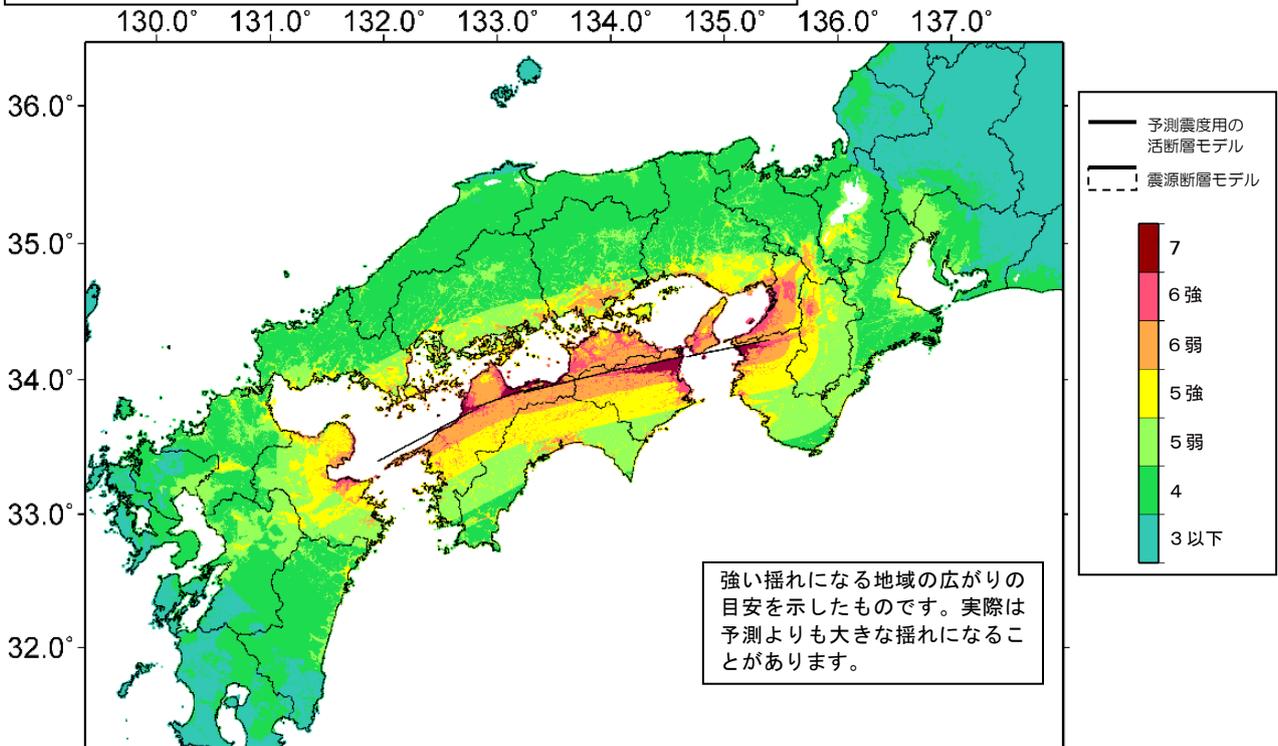
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
 震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間③-⑨同時活動】



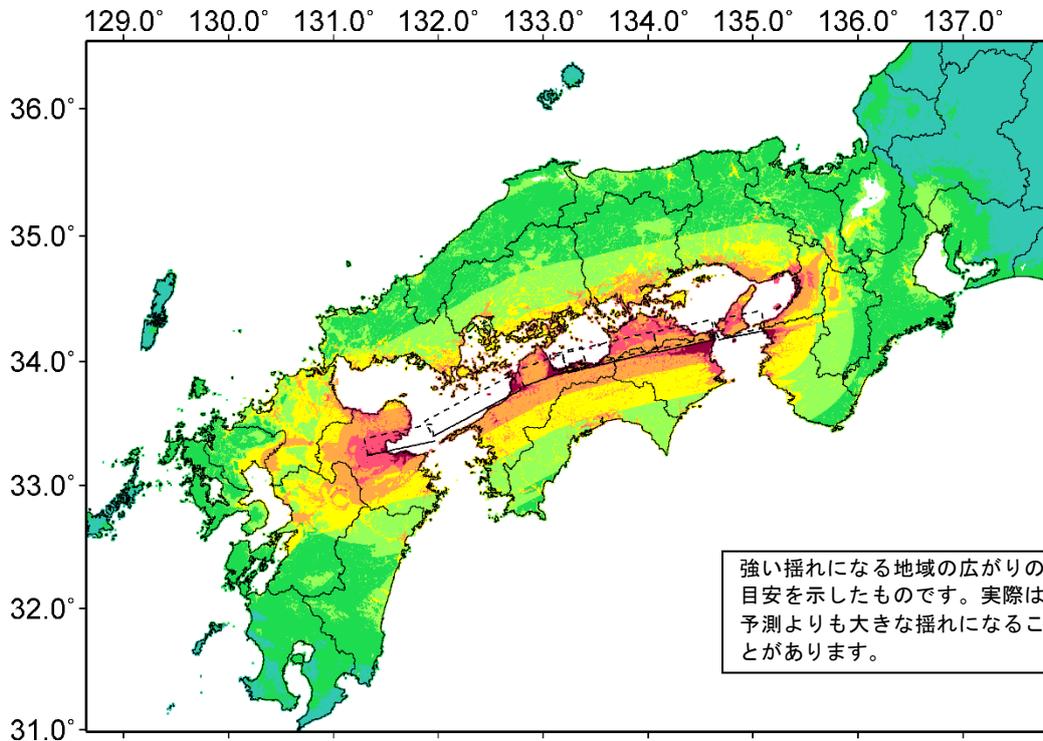
中央構造線断層帯（高角度）【区間③-⑨同時活動】



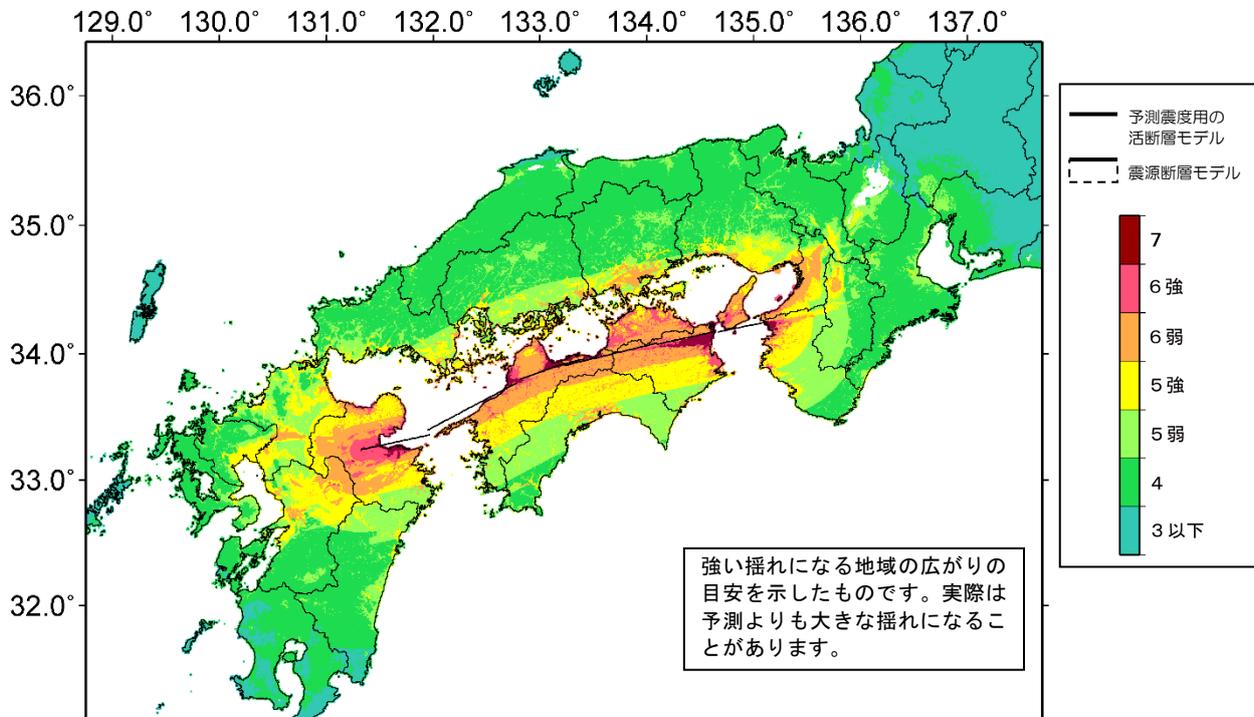
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間④-⑩同時活動】



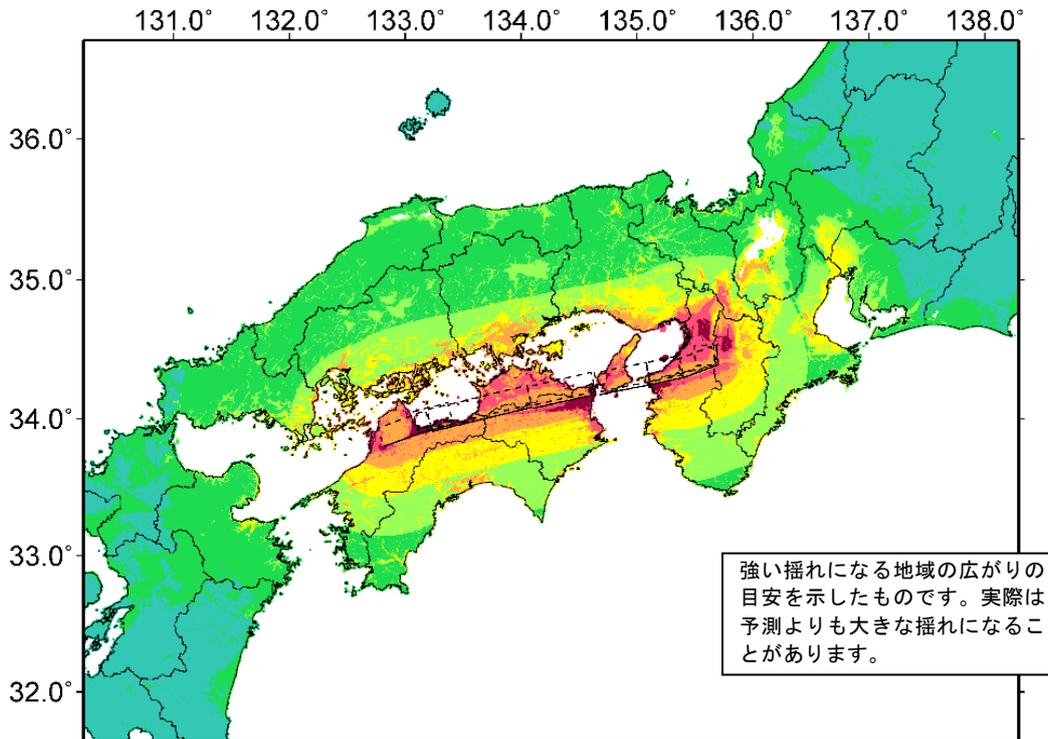
中央構造線断層帯（高角度）【区間④-⑩同時活動】



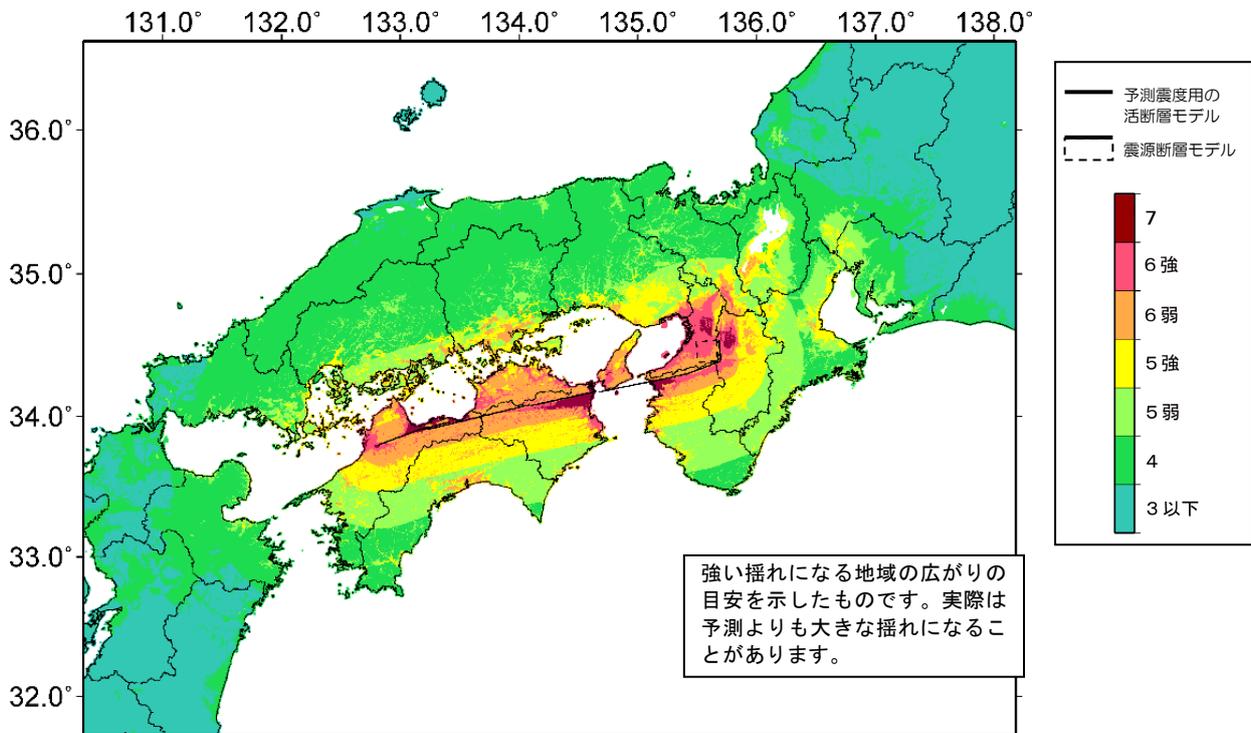
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間①－⑧同時活動】



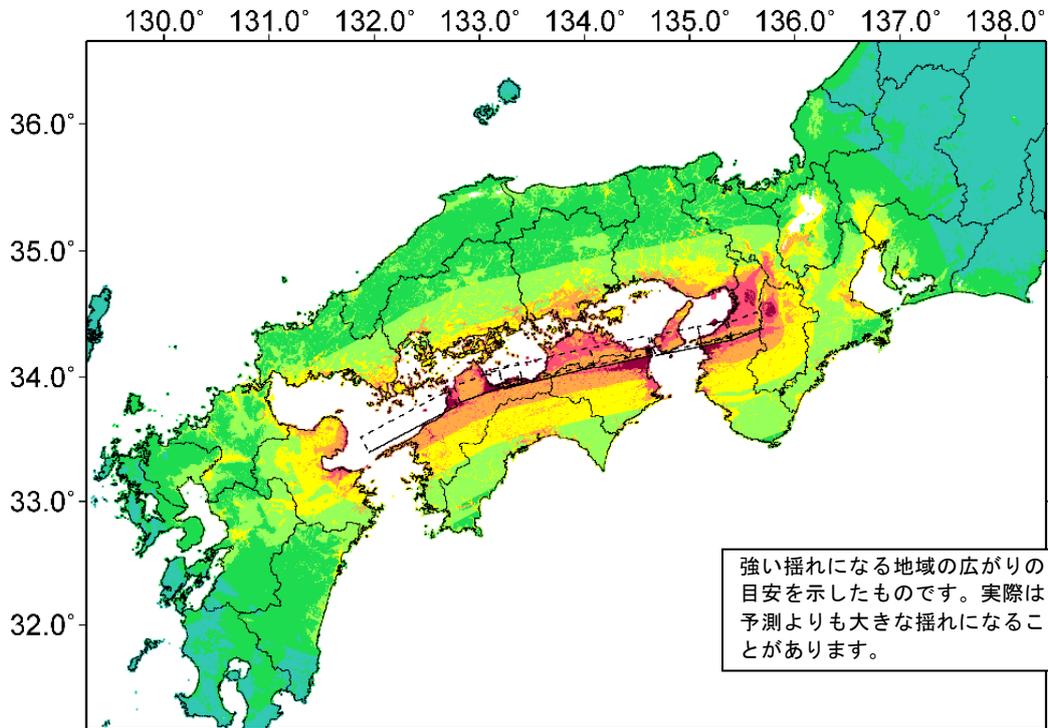
中央構造線断層帯（高角度）【区間①－⑧同時活動】



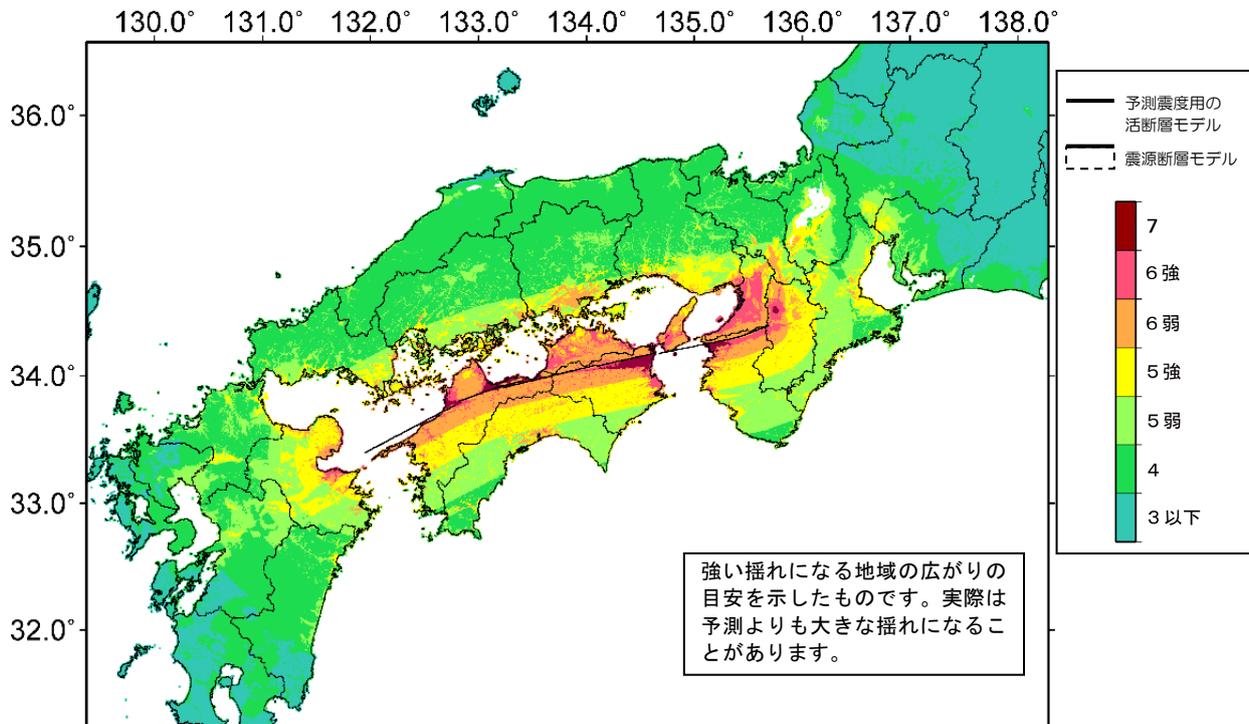
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間②-⑨同時活動】



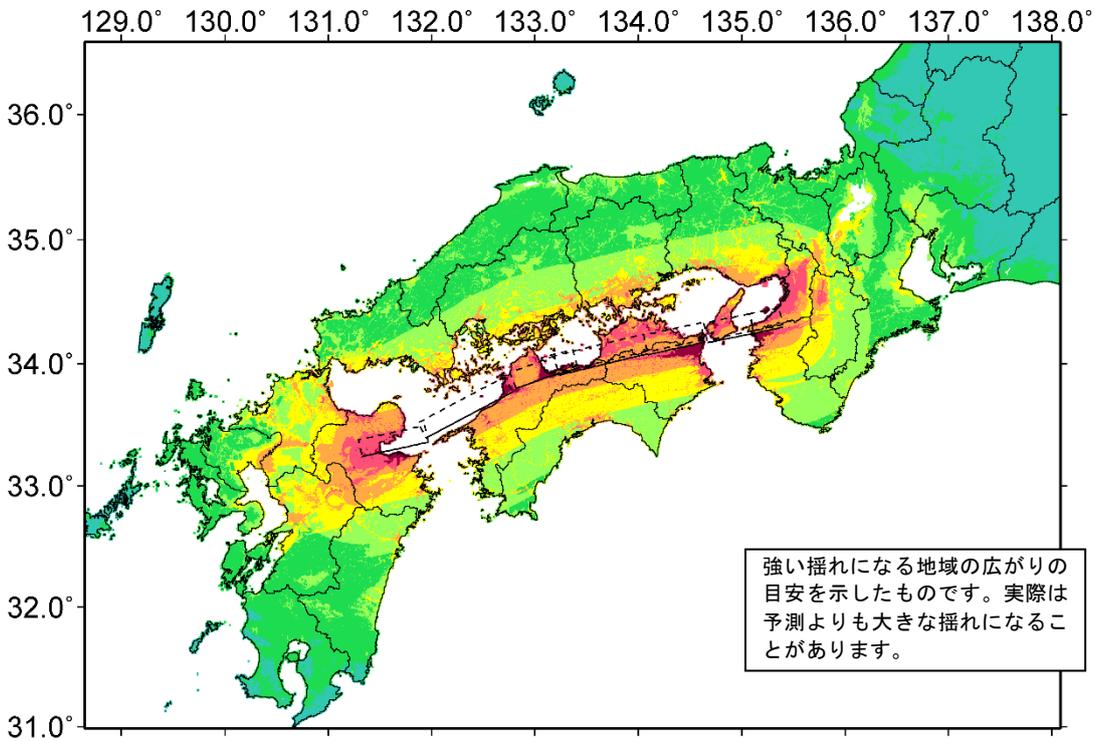
中央構造線断層帯（高角度）【区間②-⑨同時活動】



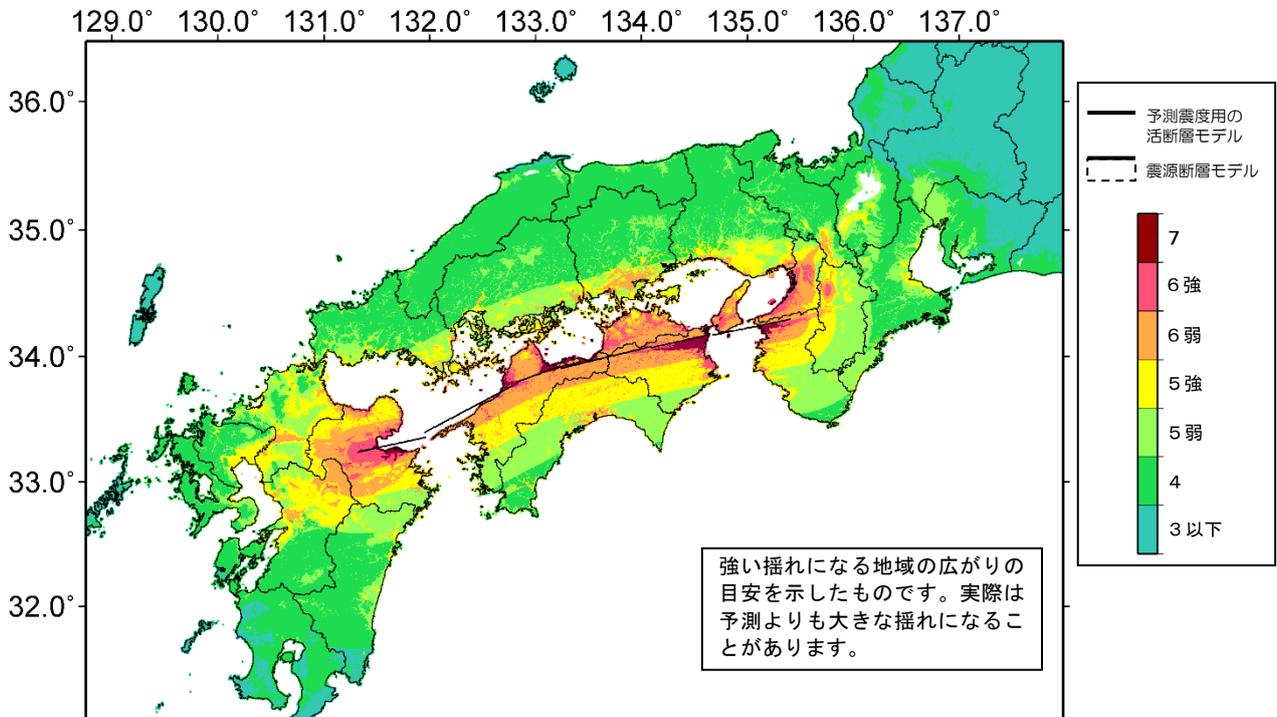
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間③-⑩同時活動】



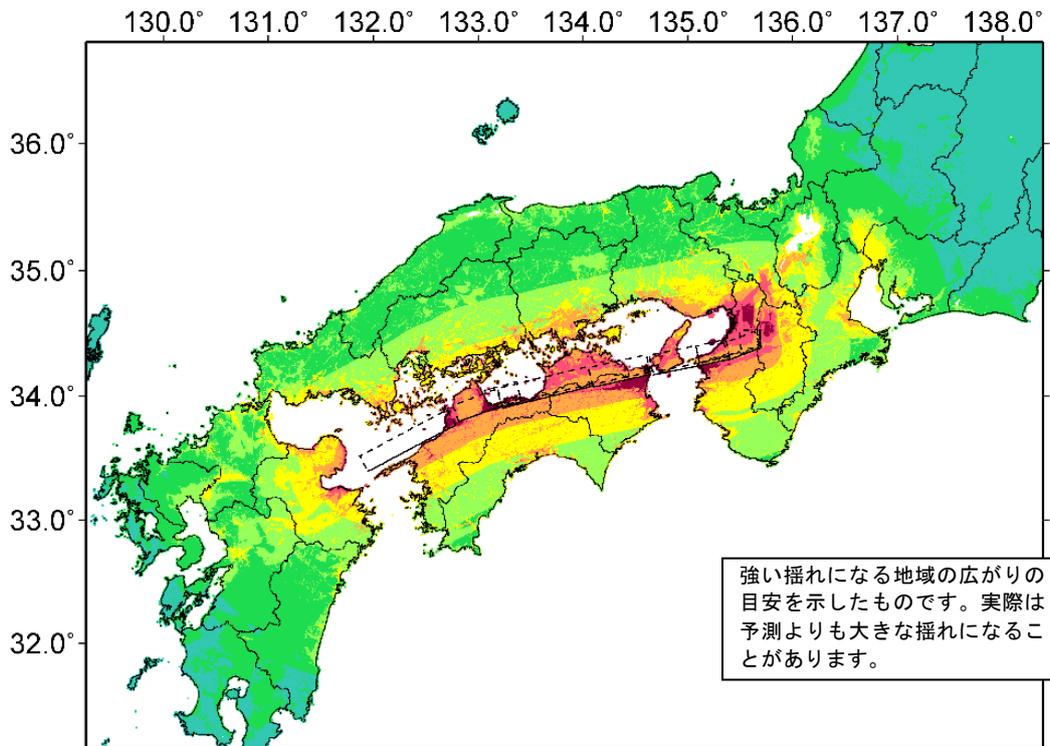
中央構造線断層帯（高角度）【区間③-⑩同時活動】



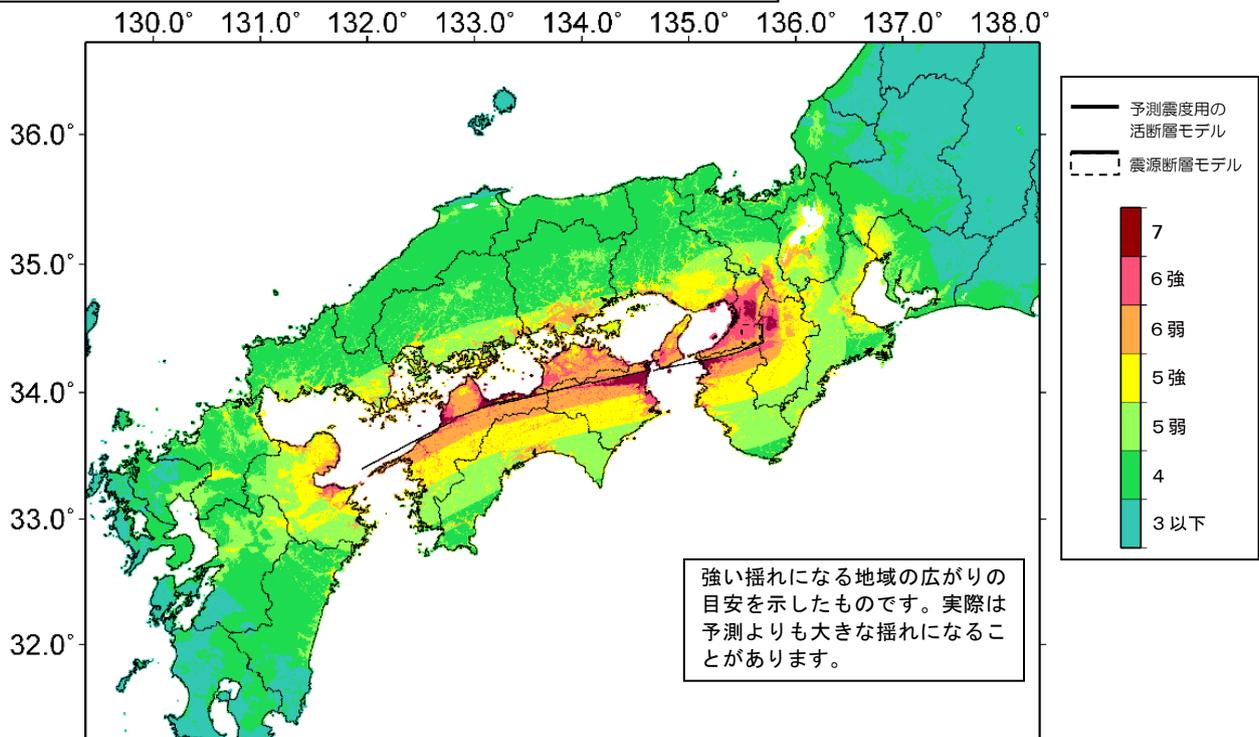
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間①－⑨同時活動】



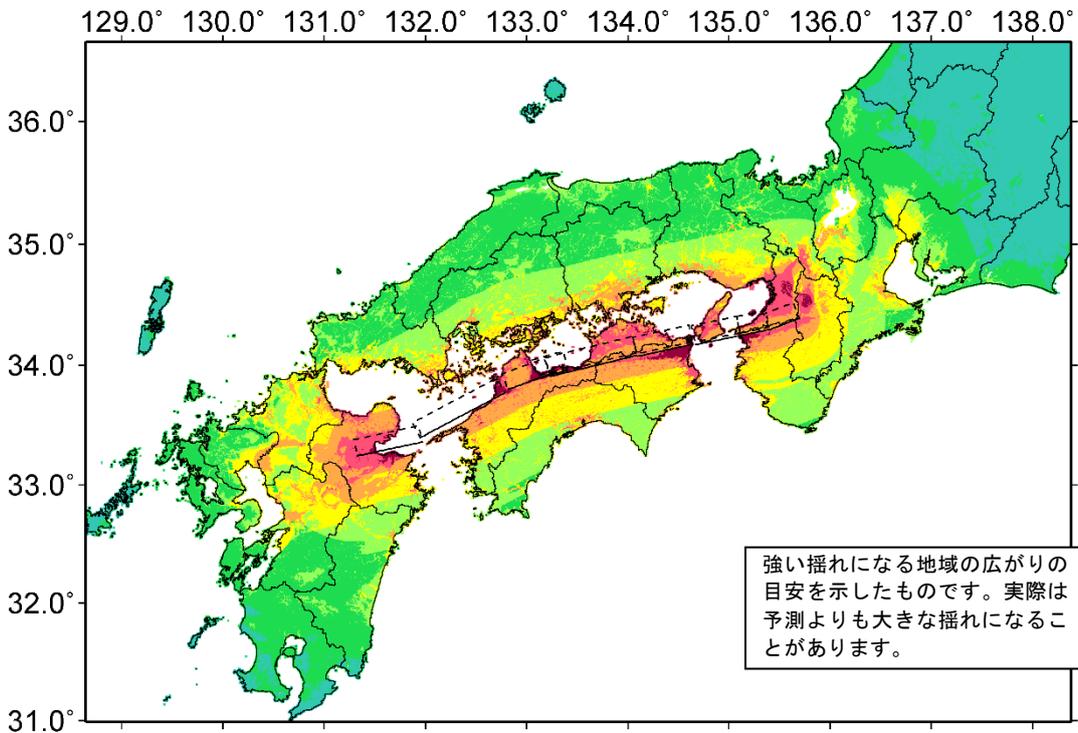
中央構造線断層帯（高角度）【区間①－⑨同時活動】



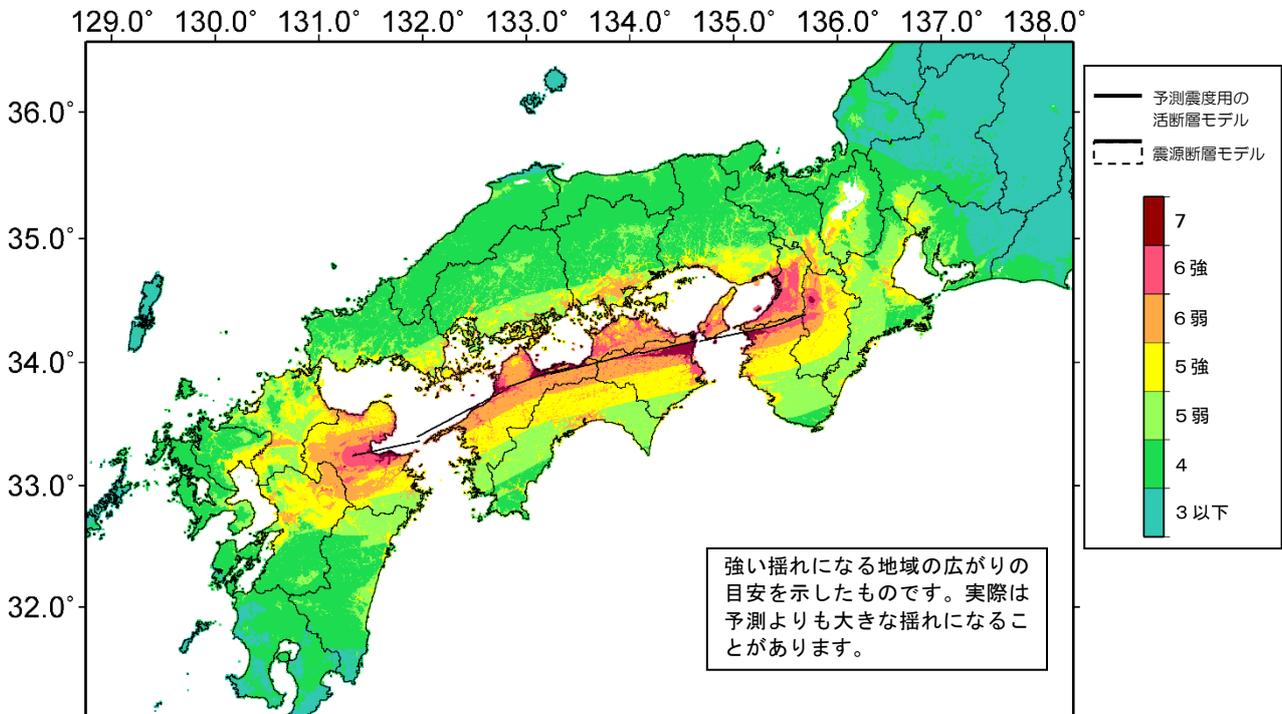
活断層モデル：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
震源断層モデル：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【区間②-⑩同時活動】



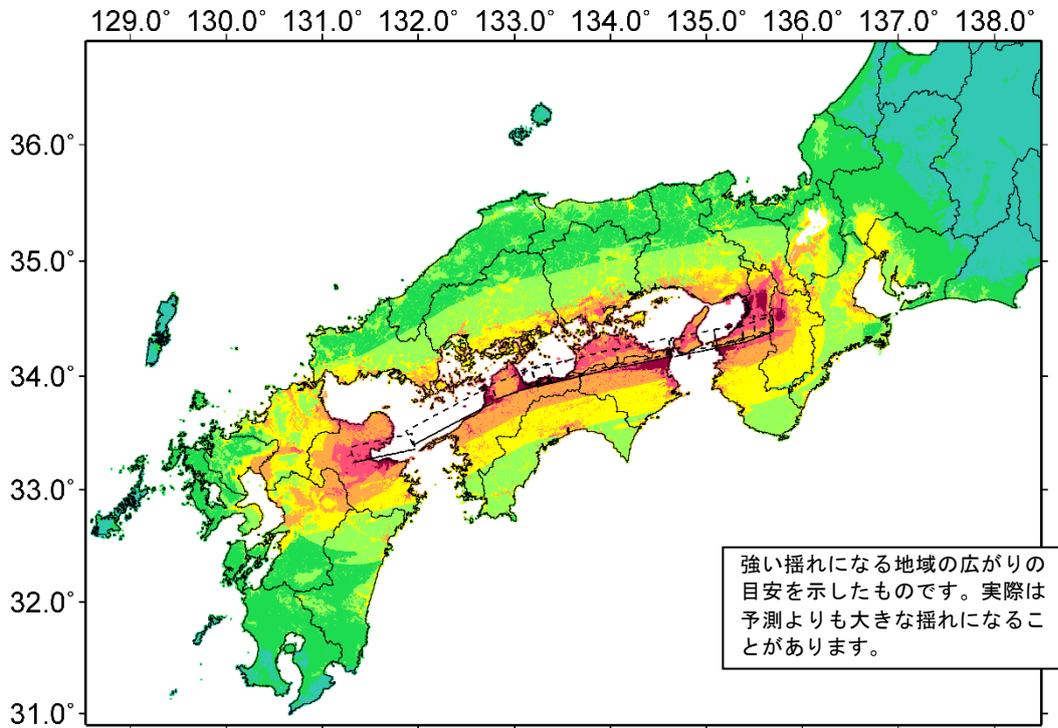
中央構造線断層帯（高角度）【区間②-⑩同時活動】



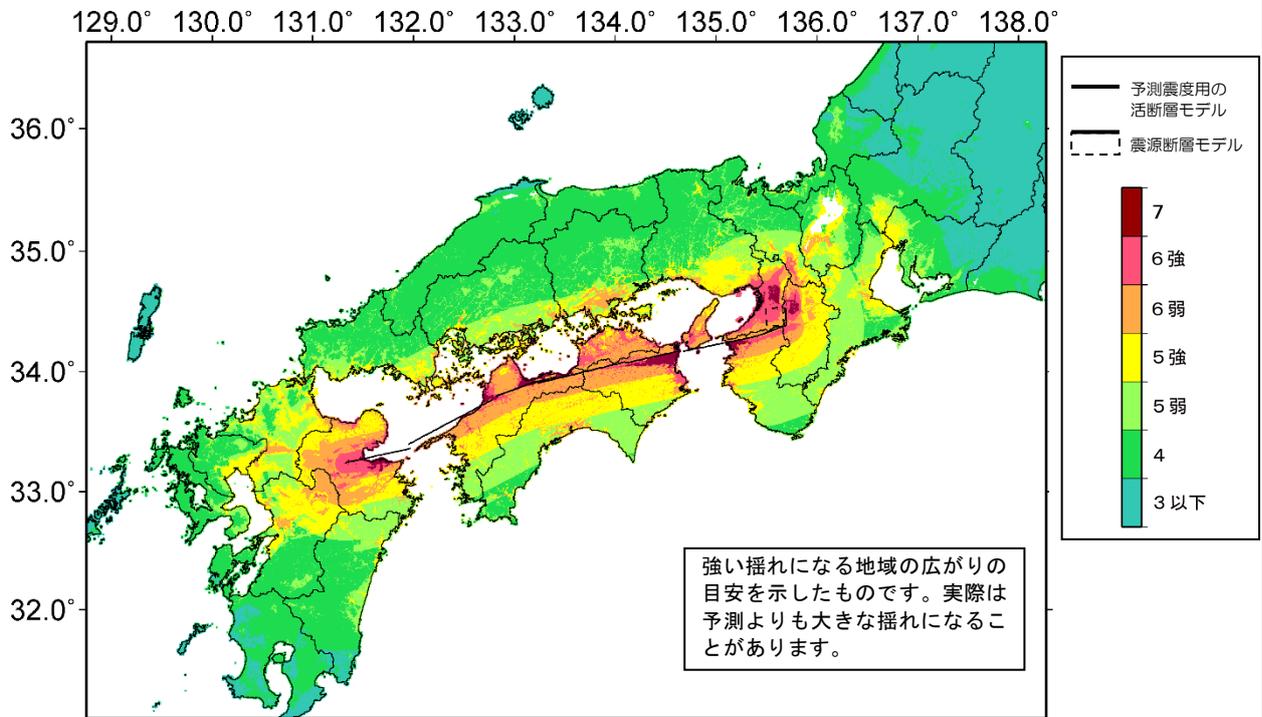
**活断層モデル** : 本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル** : 活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

【参考】中央構造線断層帯による予測震度分布（簡便法）

中央構造線断層帯（中角度）【全区間同時活動】



中央構造線断層帯（高角度）【全区間同時活動】



**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

## 解 説

中央構造線断層帯は、奈良県香芝（かしば）市から五條市、和歌山県和歌山市、淡路島の兵庫県南あわじ市の南方海域を経て、徳島県鳴門市から愛媛県伊予市まで四国北部をほぼ東西に横断し、伊予灘に達しています。断層はさらに西に延び、別府湾を経て大分県由布市に至ります。過去の活動時期や断層の形状等の違いなどから、全体が10の区間に分けられます。その10区間は、①金剛山地東縁区間、②五条谷区間、③根来区間、④紀淡海峡－鳴門海峡区間、⑤讃岐山脈南縁東部区間、⑥讃岐山脈南縁西部区間、⑦石鎚山脈北縁区間、⑧石鎚山脈北縁西部区間、⑨伊予灘区間、および⑩豊予海峡－由布院区間です。全体の長さは約444kmで、右横ずれを主体とする上下方向のずれも伴う断層帯ですが、断層帯の最東端の①金剛山地東縁区間は断層の西側が東側に対して相対的に隆起する逆断層で、断層帯の最西端の⑩豊予海峡－由布院区間では主として北側低下の正断層です。

中央構造線断層帯の全区間が一度に活動した場合、マグニチュード(M)8.0程度もしくはそれ以上の地震が発生する可能性があります。前頁までの図は、各区間が単独で活動した場合、隣接する区間が同時に活動した場合、および全区間が同時活動した場合に予測される、断層帯の周辺地域の震度分布を示しています。

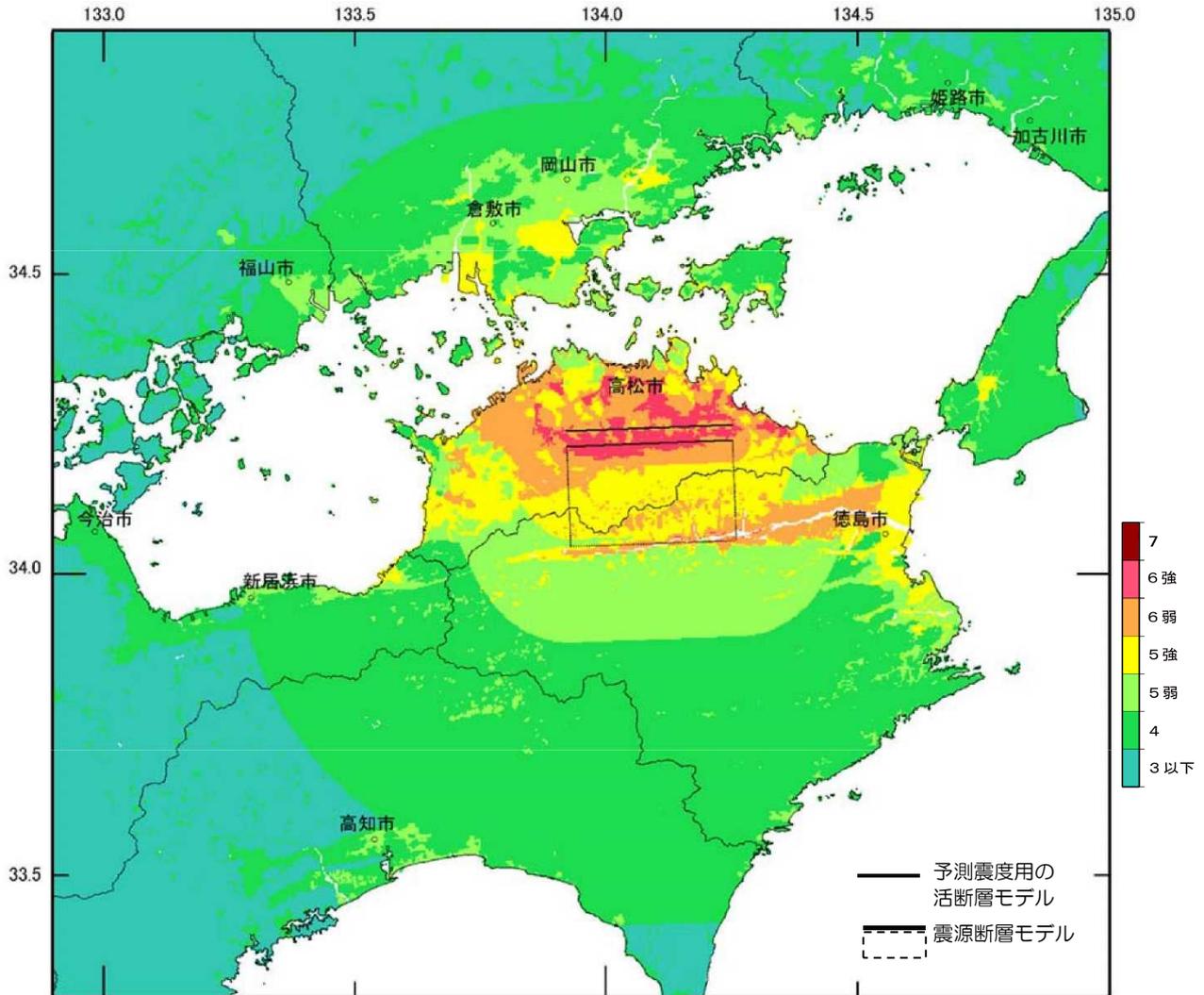
さらに、それぞれのケースに対して断層傾斜角が中角度の場合と高角度の場合とが計算されています。中角度と高角度の計算結果を比較すると、全体として中角度の場合の方が震度分布が大きくなっているように見えます。その理由として、断層面が傾斜することによって断層からの距離が短くなっている点、および断層面積の拡大により一般的に震源規模が大きくなっている点が挙げられます。後者の断層面積の拡大の解釈については、断層傾斜角が高角度の場合、断層が地震発生層を垂直に切るのに対して、中角度の場合は、断層が地震発生層を斜めに切ることにより、震源となる断層面積が大きくなると考えています。

なお、実際の揺れは、予測されたものよりも1～2ランク程度大きくなる場合があります。特に活断層の近傍では、震度6弱の場所においても、震度6強以上の揺れになることがあります。

【参考】長尾断層帯の地震による予測震度分布（簡便法）

長尾断層帯

強い揺れになる地域の広がりを目安を示したものです。実際は予測よりも大きな揺れになることがあります。



**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

解説

長尾断層帯は、香川県さぬき市から高松市香南町を経て綾歌郡綾川町に至る断層帯です。長さは約30kmで、概ね東西方向に延びており、断層の南側が北側に対して相対的に隆起する逆断層です。

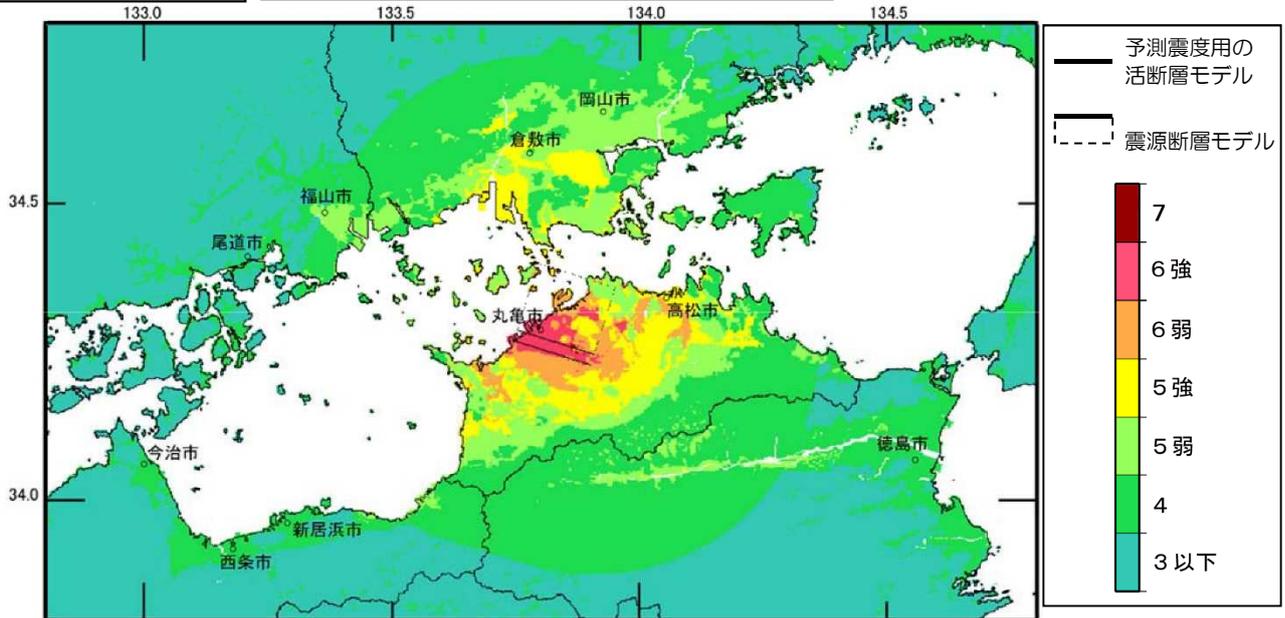
長尾断層帯が一度に活動した場合、マグニチュード (M) 7.3 程度の地震が発生する可能性があります。上の図は、そのような地震が発生した場合に予測される、断層帯の周辺地域の震度分布を示しています。

なお、実際の揺れは、予測されたものよりも1～2ランク程度大きくなる場合があります。特に活断層の近傍では、震度6弱の場所においても、震度6強以上の揺れになることがあります。

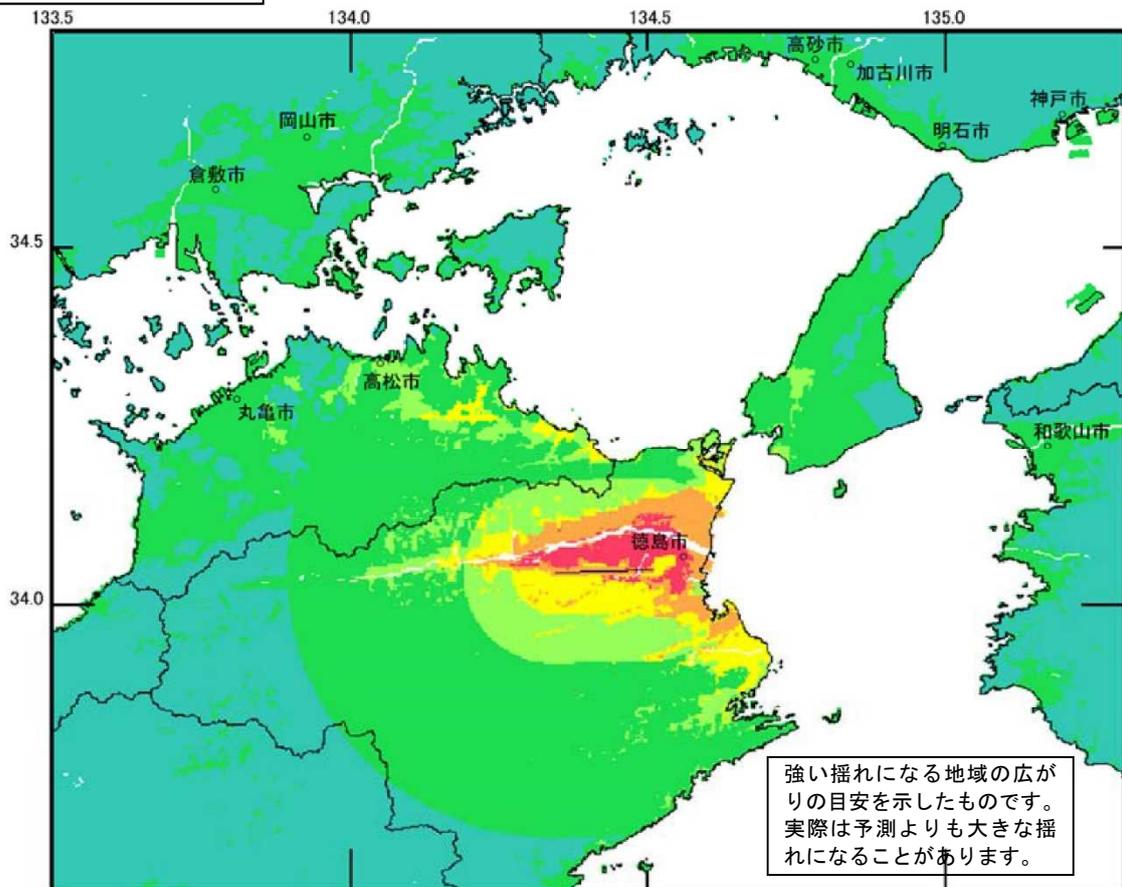
【参考】簡便評価した活断層の地震による予測震度分布（簡便法）

上法軍寺断層

強い揺れになる地域の広がりを目安を示したものです。  
実際は予測よりも大きな揺れになることがあります。



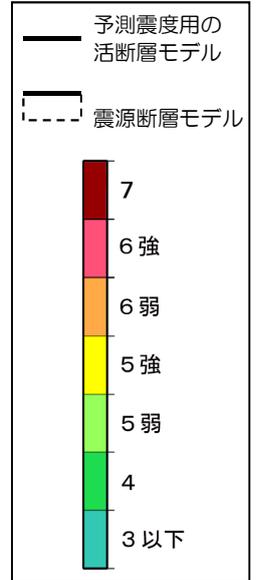
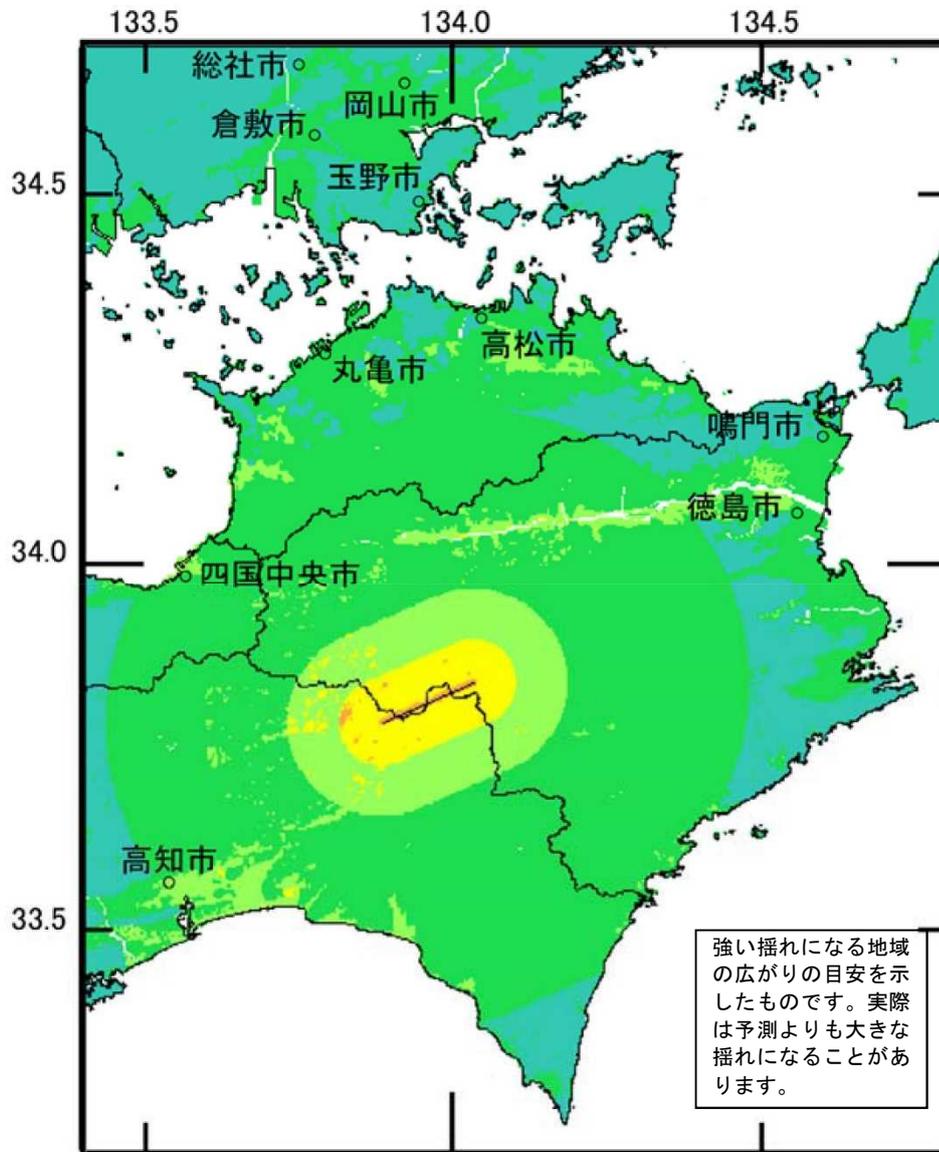
上浦一西月ノ宮断層



強い揺れになる地域の広がりを目安を示したものです。  
実際は予測よりも大きな揺れになることがあります。

**活断層モデル**：本断層帯の長期評価および地震動予測手法に基づいて地表の断層を直線でモデル化したものです。  
**震源断層モデル**：活断層モデルを地表トレースとする断層面上に設定した地震発生域を示しています。

網附森断層



## ○計算の前提について

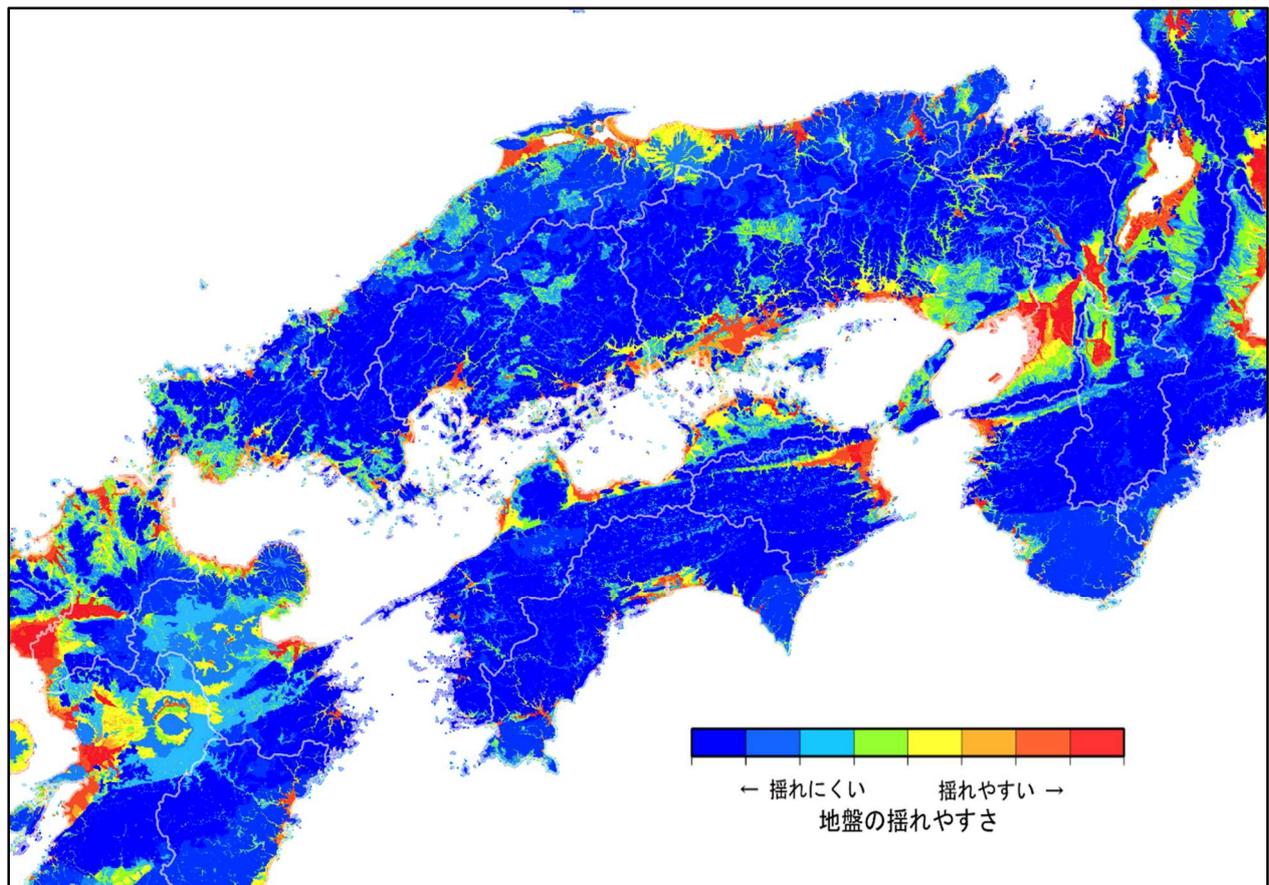
地震調査委員会で実施している強震動の計算には、地震の規模および断層からの距離を用いて震度を計算する方法（簡便法）と、震源断層の破壊過程や深部の地下構造などをモデル化して地震動を詳細に計算する方法（詳細法）があります（次頁参照）。

断層で発生する地震には様々なパターンがありますが、今回はそれらの平均的な揺れの程度を示すことを目的に、主に約 250m 四方毎の震度を簡便法で計算しました。個々の地点での震度ではなく、強い揺れになる地域の広がり具合などに着目してご利用下さい。

実際の揺れは、地震の発生の仕方や地盤の影響などにより、ここで予測されたものよりも1～2ランク程度、大きくなる場合がありますので、ご注意下さい。

## ○地盤の影響について

揺れの大きさは、地震の規模、断層からの距離に加え、地盤の軟らかさやその厚さなどによって大きく変わります。下の図は浅部地盤での揺れの増幅率で、暖色ほど揺れやすくなることを示しています。



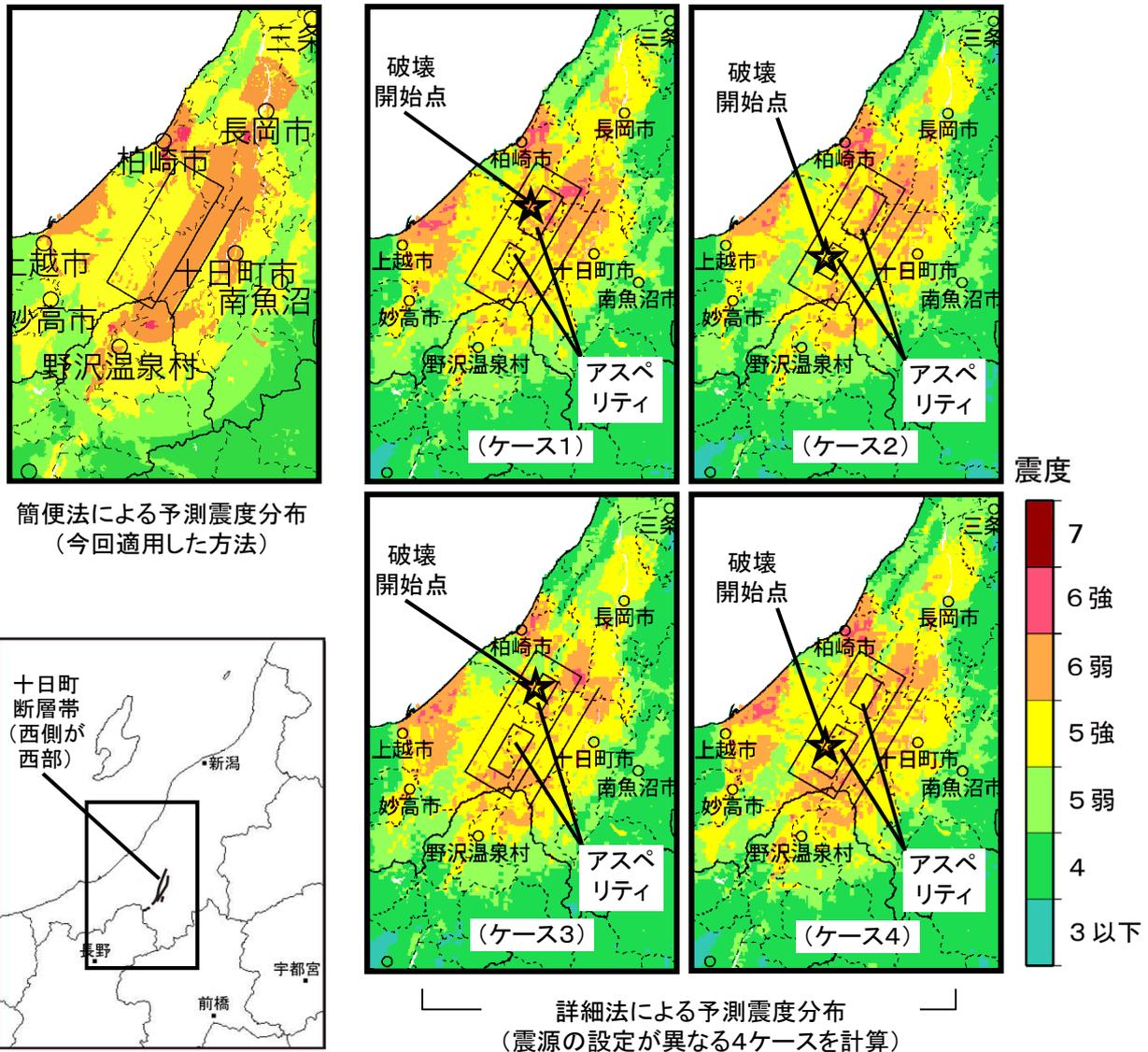
## 簡便法と詳細法による予測震度分布の計算結果の違いについて

### ～ 十日町断層帯西部の地震の例 ～

十日町断層帯西部の地震を想定した予測震度分布の例を以下に示します。

簡便法（左図）では、主に地震の規模と断層面からの距離および浅部地盤での揺れの増幅を考慮して計算を行っています。この方法による予測震度は、微細な様子を示すものではなく、震度分布の概要を表したものとと言えます。

これに対し、詳細法（右4枚の図）では、破壊が始まる場所や、強い地震波を出す領域（アスペリティ）の位置を仮定して、複雑な地盤構造を考慮した計算を行っています。この方法によれば、簡便法に比べて、より詳細に実際の地震の起こり方を想定した震度分布を予測することができます。



十日町断層帯西部での計算結果の表示範囲（地図の黒枠内）